

工 事 番 号							
設計年度	令和8年度	道路構造物補修工事（市道宮浦34号線外）  三原市 宮浦三丁目外					
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要				起 工 理 由			
施工内容 施工延長 L=83.0m 土工 一式 管渠工 L=83m 舗装工 A=129m <sup>2</sup> 区画線工 L=42m							

仕 様 書

# 特記仕様書

## 第1章 総則

### 第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市宮浦三丁目外 道路構造物補修工事（市道宮浦34号線外）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。

・ **土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）**

・ **特記仕様書（共通事項）（令和8年4月）広島県**

※ 土木工事共通仕様書、特記仕様書（共通事項）は「広島県の調達情報」に掲載している。

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>

・ その他関連規格類

### 第2節 配置技術者の兼務

本工事は、建設業法第26条第3項第2号の規定（専任特例2号）の適用を認めない。

### 第3節 中間検査

本工事は、中間検査の対象工事とし、実施については特記仕様書（共通事項）第1章 総則 第2節 中間検査に従うこと。

### 第4節 情報共有システム

本工事は、情報共有システムの対象であり、実施については土木工事共通仕様書1-1-1-26 施工管理「10. 工事情報共有化」に従うこと。

### 第5節 週休2日適用工事等

本工事は、週休2日適用工事等対象工事であり、三原市週休2日適用工事実施要領に従うこと。

### 第6節 熱中症対策に資する現場管理費の補正

本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事であり、実施については特記仕様書（共通事項）第1章 総則 第8節 熱中症対策に資する現場管理費の補正に従うこと。

### 第7節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

#### 1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

## 2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d0306/project/d0306/page\\_03060101credas1top.htm](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d0306/project/d0306/page_03060101credas1top.htm)

## 3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

## 4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

## 5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項  
ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。  
イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

## 6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

## 7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

## 8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

## 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
  - (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
  - (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
  - (4) 建設発生土の搬出量
  - (5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付  
受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 11 受領書の内容確認  
受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管  
受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 13 建設発生土の最終搬出先までの確認  
受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9（1）～（5）に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。
- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
  - (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
  - (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
  - (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

## 第2章 施工条件

### 第1節 工程

- 1 施工時期・時間の制限
 

施工内容	工事全般
時期	全工事期間
時間	調整による
施工方法・理由	工事に伴い通行止めが発生する場合は、地元への周知を徹底すること
  
- 2 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査
 

調査項目	地下埋設物
調査時期	工事施工前に試掘を行うこと。（支障物件が発見された場合は、監督職員と協議すること。設計変更の対象とする）
移設期間	別途協議

## 第2節 用地

- 1 現場の復旧  
原形復旧とする。

## 第3節 安全対策

- 1 交通誘導警備員・警戒船・保安要員  
作業期間中において、交通誘導警備員を3（人／日）配置するよう見込んでいる。

## 第4節 建設副産物

- 1 建設発生土（搬出） （建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地） （指定処分（A））

当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地に搬出するものとする。  
また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所 株式会社アヴァンセ沼田東町納所リサイクルプラント（三原市沼田東町納所409）

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

- 2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m<sup>2</sup>以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。  
ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

## 第5節 その他

- 1 工事中機資材の仮置き  
場所 現場内  
期間 全工期期間  
保管方法 受注者が責任を持って管理すること。なお、借地料等については受注者の負担とする。

## 第3章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項又は、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
道路構造物補修		式	1	レベル1
排水構造物工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
構造物取壊し工		式	1	レベル3
舗装版切断	【アスファルト舗装版】	式	1	レベル4
舗装版破砕	【アスファルト舗装版】	m2	82	レベル4
ヒューム管撤去		m	83	レベル4
殻運搬処理		m3	8	レベル4
管渠工		式	1	レベル3
鉄筋コンクリート台付管	【台付管 200 ~ 300】	m	83	レベル4
構造物取壊し工		式	1	レベル3
舗装版切断	【アスファルト舗装版】	式	1	レベル4
舗装版破砕	【アスファルト舗装版】	m2	131	レベル4
殻運搬処理		m3	6	レベル4
管渠土留工		式	1	レベル3
軽量鋼矢板土留	掘削深1.5m以下	式	1	レベル4
軽量鋼矢板土留	掘削深2.0m以下	式	1	レベル4

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
土留支保工		式	1	レベル4
土留材質料		式	1	レベル4
開削水替工		式	1	レベル3
開削水替		式	1	レベル4
舗装工		式	1	レベル2
アスファルト舗装工(仮舗装)		式	1	レベル3
下層路盤(車道・路肩部)	【RC-30】	m2	79	レベル4
下層路盤(歩道部)	【RC-30】	m2	3	レベル4
上層路盤(車道・路肩部)	【RM-30】	m2	79	レベル4
表層(車道・路肩部)	【再生密粒度13】	m2	79	レベル4
表層(歩道部)	【再生密粒度13】	m2	3	レベル4
アスファルト舗装工(本舗装)		式	1	レベル3
基層(車道・路肩部)	【再生粗粒度20】	m2	28	レベル4
表層(車道・路肩部)	【再生密粒度20】	m2	124	レベル4
表層(歩道部)	【再生細粒度13】	m2	5	レベル4
薄層カラー舗装工		式	1	レベル3
薄層カラー舗装	【RPN-501】	m2	1	レベル4
区画線工		式	1	レベル2

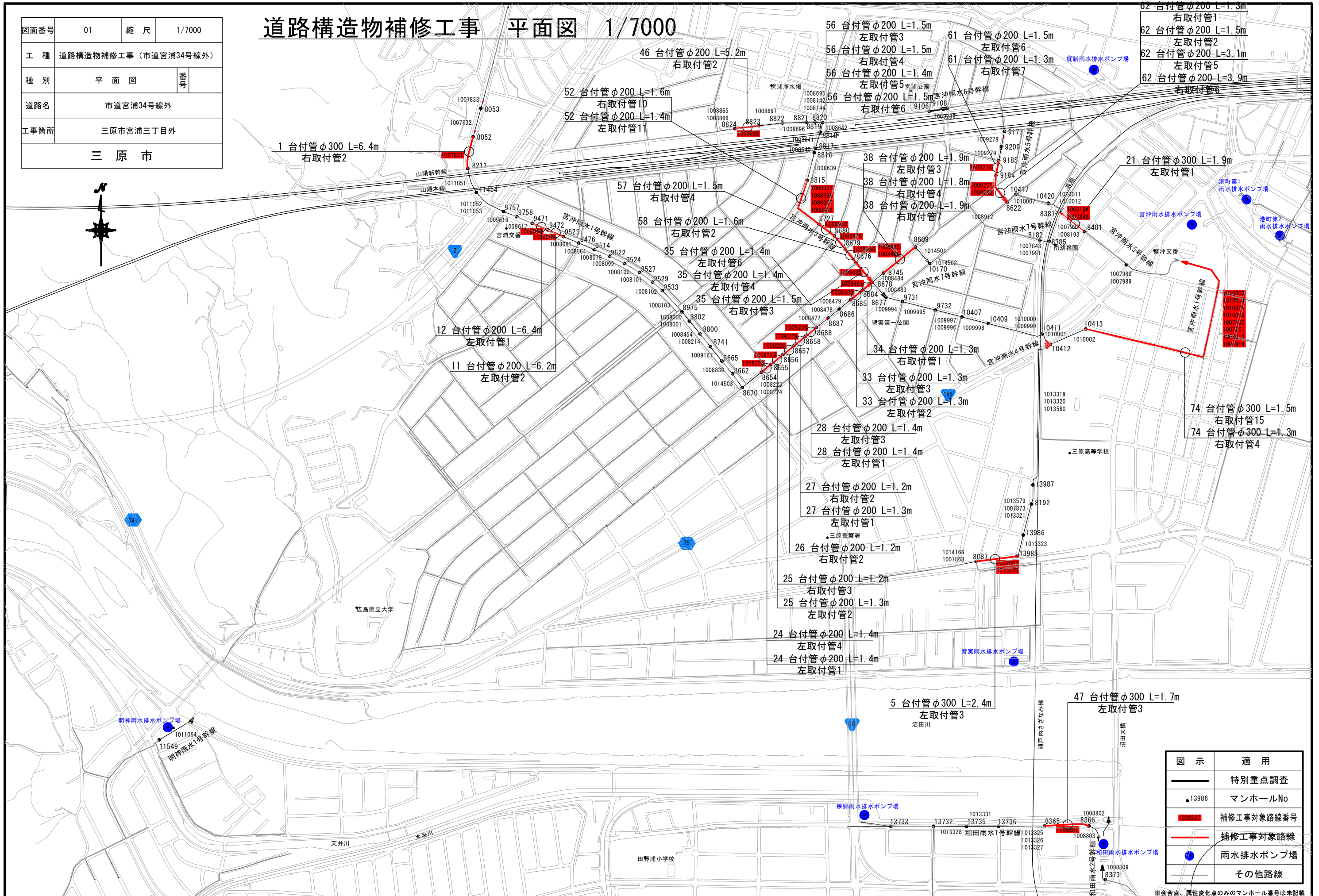
# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
区画線工		式	1	レベル3
溶融式区画線		m	42	レベル4
縁石工		式	1	レベル2
縁石工		式	1	レベル3
歩車道境界ブロック	【再利用設置】	m	2	レベル4
地先境界ブロック	【再利用設置】	m	1	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	104	レベル4
** 直接工事費 **				
運搬費				
運搬費		式	1	レベル2
運搬費		式	1	レベル3
仮設材運搬費		t	2.1	レベル4
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				



図面番号	01	縮尺	1/7000
工種	道路構造物補修工事(市道宮浦34号線外)		
種別	平面図	番号	
道路名	市道宮浦34号線外		
工事箇所	三原市宮浦三丁目外		
<b>三原市</b>			

# 道路構造物補修工事 平面図 1/7000



図示	適用
—	特別重点調査
● 13986	マンホールNo
1008227	補修工事対象路線番号
—	補修工事対象路線
●	雨水排水ポンプ場
—	その他路線

※念合点、属性変化点のみのマンホール番号は未記載

# 参 考 资 料

—道路構造物補修工事（市道宮浦34号線外）—

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 59 三原市 00-08.06.01(0)  1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート      As … アスファルト DT … ダンプトラック      BH … バックホウ CC … クローラクレーン      TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 13 道路維持工事 02 市街地(DID補正) 00 補正なし 09 閉所型・月単位 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路構造物補修					Y1E01 レベル1
排水構造物工	1	式			Y1E0109 レベル2
作業土工	1	式			Y1E010901 レベル3
床掘り(掘削) 【土砂】	1	式			Y1E01090101 レベル4
機械掘削工(バックホウ)	100	m3			SG1D0001002 00
埋戻し 【土砂】	100	m3			単第0 -0001 表 Y1E01090103 レベル4
機械投入埋戻工(バックホウ)	60	m3			SG1D0002003 00
土砂等運搬 【土砂】	60	m3			単第0 -0003 表 Y1E01090111 レベル4
	30	m3			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離12.0km以下(9.0km超)	30	m3			SPK25040002 00  単第0 -0005 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土受入費	30	m3			F0000000001 00
構造物取壊し工	1	式			Y1E011206 レベル3
舗装版切断 【アスファルト舗装版】	163	m			Y1E01120602 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	38	m			SPK25040307 00  単第0 -0006 表
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	125	m			SPK25040307 00  単第0 -0006 表
舗装版破碎 【アスファルト舗装版】	82	m2			Y1E01120603 レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	19	m2			SPK25040018 00  単第0 -0007 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版破碎積込(小規模土工)					SPK25040018 00
	63	m2			単第0 -0007 表
ヒューム管撤去					Y1E01120802レベル4
	83	m			
ヒューム管(B形管) 撤去 管径200mm					SPK25040091 00
	68	m			単第0 -0008 表
ヒューム管(B形管) 撤去 管径300mm					SPK25040091 00
	15	m			単第0 -0009 表
殻運搬処理					Y1E01120614レベル4
	8	m3			
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離4.5km以下(3.5km超)					SPK25040155 00
	6	m3			単第0 -0010 表
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離10.9km以下(8.0km超)					SPK25040155 00
	2	m3			単第0 -0011 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
アスファルト殻受入費					F000000004 00
	14	t			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート殻受入費 有筋	6	t			F0000000003 00
管渠工	1	式			Y1E010904 レベル3
鉄筋コンクリート台付管 【台付管 200 ~ 300】	83	m			Y1E01090404 レベル4
鉄筋コンクリート台付管 据付 管径200mm 台付鉄筋コンクリート管(バイコン管)	68	m			SPK25040098 00 単第0 -0012 表
鉄筋コンクリート台付管 据付 管径300mm 台付鉄筋コンクリート管(バイコン管)	15	m			SPK25040098 00 単第0 -0013 表
コンクリート 小型構造物 18-8-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	3	m3			SPK25040157 00 単第0 -0014 表
型枠 一般型枠 小型構造物	25	m2			SPK25040159 00 単第0 -0015 表
構造物取壊し工	1	式			Y1E011206 レベル3
舗装版切断 【アスファルト舗装版】	163	m			Y1E01120602 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	38	m			SPK25040307 00  単第0 -0006 表
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	125	m			SPK25040307 00  単第0 -0006 表
舗装版破碎 【アスファルト舗装版】	131	m2			Y1E01120603 レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	19	m2			SPK25040018 00  単第0 -0007 表
舗装版破碎積込(小規模土工)	10	m2			SPK25040018 00  単第0 -0007 表
舗装版破碎積込(小規模土工)	63	m2			SPK25040018 00  単第0 -0007 表
舗装版破碎積込(小規模土工)	37	m2			SPK25040018 00  単第0 -0007 表
舗装版破碎積込(小規模土工)	2	m2			SPK25040018 00  単第0 -0007 表
殻運搬処理	6	m3			Y1E01120614 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離4.5km以下(3.5km超)	6	m3			SPK25040155 00  単第0 -0010 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
アスファルト殻受入費	14	t			F000000004 00
管渠土留工	1	式			Y11010105 レベル3
軽量鋼矢板土留 掘削深1.5m以下	1	式			Y1101010503 レベル4
軽量鋼矢板建込工(両側分)	63	m			SG1D0033001 00  単第0 -0016 表
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	63	m			SG1D0033002 00  単第0 -0017 表
軽量鋼矢板土留 掘削深2.0m以下	1	式			Y1101010503 レベル4
軽量鋼矢板建込工(両側分)	20	m			SG1D0033001 00  単第0 -0018 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
軽量鋼矢板引抜工(両側分)					SG1D0033002 00
	20	m			単第0 -0019 表
土留支保工					Y1101010504レベル4
	1	式			
土留支保工(軽量金属支保工)					SG1D0033008 00
	83	m			単第0 -0020 表
土留支保工(軽量金属支保工)					SG1D0033008 00
	83	m			単第0 -0021 表
土留材質料					Y1101010506レベル4
	1	式			
軽量鋼矢板賃料					F0000000010 00
	1	式			
軽量金属支保工賃料					F0000000011 00
	1	式			
開削水替工					Y11010109 レベル3
	1	式			
開削水替					Y1101010901レベル4
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ポンプ運転工					SG1D0042001 00
	16	日			単第0 -0022 表
据付・撤去工					SG1D0042002 00
	41	現場			単第0 -0024 表
舗装工					Y1E0204 レベル2
	1	式			
アスファルト舗装工(仮舗装)					Y1E020404 レベル3
	1	式			
下層路盤(車道・路肩部) 【RC-30】					Y1E02040401 レベル4
	79	m2			
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚300mm 2層施工 RC-30					SPK25040235 00
	16	m2			単第0 -0025 表
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30					SPK25040235 00
	63	m2			単第0 -0026 表
下層路盤(歩道部) 【RC-30】					Y1E02040402 レベル4
	3	m2			
下層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30					SPK25040236 00
	3	m2			単第0 -0027 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上層路盤(車道・路肩部) 【RM-30】	79	m2			Y1E02040403 レベル4
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚170mm 2層施工	16	m2			SPK25040237 00 単第0 -0028 表
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚120mm 1層施工	63	m2			SPK25040237 00 単第0 -0029 表
表層(車道・路肩部) 【再生密粒度13】	79	m2			Y1E02040409 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	16	m2			SPK25040244 00 単第0 -0030 表
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	63	m2			SPK25040244 00 単第0 -0030 表
表層(歩道部) 【再生密粒度13】	3	m2			Y1E02040410 レベル4
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	3	m2			SPK25040247 00 単第0 -0031 表
アスファルト舗装工(本舗装)	1	式			Y1E020404 レベル3

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
基層(車道・路肩部) 【再生粗粒度20】	28	m2			Y1E02040405レベル4
基層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	26	m2			SPK25040242 00 単第0 -0032 表
基層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	2	m2			SPK25040242 00 単第0 -0032 表
表層(車道・路肩部) 【再生密粒度20】	124	m2			Y1E02040409レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	26	m2			SPK25040244 00 単第0 -0033 表
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	98	m2			SPK25040244 00 単第0 -0034 表
表層(歩道部) 【再生細粒度13】	5	m2			Y1E02040410レベル4
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	5	m2			SPK25040247 00 単第0 -0035 表
薄層カラー舗装工	1	式			Y1E020414 レベル3

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
薄層カラー舗装 【RPN-501】	1	m2			Y1E02041405レベル4
樹脂系すべり止め舗装工 RPN-501 [規]100m2未満	1	m2			SS000219 00 単第0 -0036 表
区画線工	1	式			Y1E0210 レベル2
区画線工	1	式			Y1E021001 レベル3
溶融式区画線	42	m			Y1E02100101レベル4
区画線設置(溶融式) 実線_15cm	37	m			SDT00001 00 単第0 -0037 表
区画線設置(溶融式) 実線_45cm	2	m			SDT00001 00 単第0 -0038 表
区画線設置(溶融式) 矢印・記号・文字_15cm換算	3	m			SDT00001 00 単第0 -0039 表
縁石工	1	式			Y1E0206 レベル2

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
縁石工					Y1E020603 レベル3
	1	式			
歩車道境界ブロック 【再利用設置】					Y1E02060301 レベル4
	2	m			
歩車道境界ブロック撤去 再利用					SPK25040292 00
	2	m			単第0 -0040 表
歩車道境界ブロック 各種(600mm以下,50kg未満) 再利用設置 RC-40 養生工有り					SPK25040290 00
	2	m			単第0 -0041 表
地先境界ブロック 【再利用設置】					Y1E02060302 レベル4
	1	m			
地先境界ブロック撤去 再利用					SPK25040293 00
	1	m			単第0 -0042 表
地先境界ブロック 各種(600mm以下,50kg未満) 再利用設置 RC-40					SPK25040291 00
	1	m			単第0 -0043 表
仮設工					Y1E0115 レベル2
	1	式			
交通管理工					Y1E011521 レベル3
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員					Y1E01152101 レベル4
	104	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	104	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004
運搬費					YZZ04 レベル2
	1	式			
運搬費					YZZ04001 レベル3
	1	式			
仮設材運搬費					YZZ04001004 レベル4
	2.1	t			
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 2km 製品長 12m以内					S1000007 00
	1	式			単第0 -0044 表
共通仮設費率分					Z0019

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理费率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					







# 施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0003 表

頁0 -0019

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	7.6	時間			単第0-0002 表
タンバ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.28m3			C=6 材料別途		

# 施工単価表

タンパ締固め

SPK25040021

単第0 -0004 表

機械構成比: 1.17% 労務構成比: 97.16% 材料構成比: 1.67% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,658.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	1.17%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.21%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.95%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.67%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

# 施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0005 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離12.0km以下(9.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 26.52% 労務構成比:

61.90%

材料構成比: 11.58%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,431.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=44 距離12.0km以下(9.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=2 DID区間有り		

# 施工単価表

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0006 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.05%

労務構成比:

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

700.44000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	10.24%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009





# 施工単価表

ヒューム管(B形管)

SPK25040091

単第0 -0008 表

撤去 管径200mm

1 m 当り

機械構成比: 7.14% 労務構成比: 88.14% 材料構成比: 4.72% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 3,137.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t 排2,3,2011,2014	6.38%		バックホウ(クローラ型)(後方超小旋回型) クレーン機能付 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t		KTPC00067 KTPT00067
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	36.47%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	18.41%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	14.81%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	9.01%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.22%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009



# 施工単価表

ヒューム管(B形管)

SPK25040091

単第0 -0009 表

撤去 管径300mm

1 m 当り  
標準単価: 3,137.90000

機械構成比: 7.14% 労務構成比: 88.14% 材料構成比: 4.72% 市場単価構成比: 0.00%

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t 排2,3,2011,2014	6.38%		バックホウ(クローラ型)(後方超小旋回型) クレーン機能付 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t		KTPC00067 KTPT00067
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	36.47%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	18.41%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	14.81%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	9.01%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.22%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009



# 施工単価表

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比: 20.25% 労務構成比:

SPK25040155

DID区間有り 運搬距離4.5km以下(3.5km超)

71.03% 材料構成比: 8.72% 市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0010 表

1  
標準単価:

m3 当り  
4,319.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=20 運搬距離4.5km以下(3.5km超)		

# 施工単価表

殻運搬

SPK25040155

単第0 -0011 表

Co(鉄筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離10.9km以下(8.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 40.77% 労務構成比:

44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,527.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 Co(鉄筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=44 運搬距離10.9km以下(8.0km超)		

# 施工単価表

頁0 -0031

鉄筋コンクリート台付管

SPK25040098

単第0 -0012 表

据付 管径200mm

台付鉄筋コンクリート管(バイコン管)

1

m 当り

機械構成比: 5.30%

労務構成比:

28.35%

材料構成比: 66.35%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

12,785.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付き・排1 山積0.45/平積0.35m3,吊能力2.9t	4.31%		バックホウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付き・排1 山積0.45/平積0.35m3,吊能力2.9t		MTPC00063 MTPT00063
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	8.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	7.94%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.84%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	2.21%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
台付鉄筋コンクリート管(バイコン台付管) 呼び径200,長1000 参考質量106kg	63.97%		鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径300mm×長さ2,000mm		TTPCD0198 TTPT00134
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.94%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

頁0 -0033

鉄筋コンクリート台付管

SPK25040098

単第0 -0013 表

据付 管径300mm

台付鉄筋コンクリート管(バイコン管)

1 m 当り

機械構成比: 5.30% 労務構成比:

28.35% 材料構成比: 66.35%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 12,785.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付き・排1 山積0.45/平積0.35m3,吊能力2.9t	4.31%		バックホウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付き・排1 山積0.45/平積0.35m3,吊能力2.9t		MTPC00063 MTPT00063
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	8.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	7.94%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.84%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	2.21%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
台付鉄筋コンクリート管(バイコン台付管) <JSWASA-9>,呼び径300BZ,長2000 参考質量390kg	63.97%		鉄筋コンクリート台付管(バイコン台付管) 管径300mm×長さ2,000mm		TTPC00134 TTPT00134
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.94%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

頁0 -0035

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0014 表

小型構造物 18-8-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.42%

労務構成比:

37.14%

材料構成比:

59.44%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

37,478.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.23%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	10.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	9.81%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.24%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	57.74%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.61%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

型枠

SPK25040159

単第0 -0015 表

一般型枠

小型構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

9,147.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.28%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.86%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

# 施工単価表

軽量鋼矢板建込工(両側分)

SG1D0033001

単第0 -0016 表

頁0 -0038

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.7	人			
特殊作業員	1.7	人			
普通作業員	5.1	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	11.0	時間			単第0-0002 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 山積0.28m3			B=1 掘削深	1.5m以下	

# 施工単価表

軽量鋼矢板引抜工(両側分)

SG1D0033002

単第0 -0017 表

頁0 -0039

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.9	人			
特殊作業員	0.9	人			
普通作業員	2.7	人			
<作>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊,オペレータ付	0.9	日			
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 TC4.9t吊			B=1 掘削深	1.5m以下	

# 施工単価表

軽量鋼矢板建込工(両側分)

SG1D0033001

単第0 -0018 表

頁0 -0040

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.0	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	6.0	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	11.6	時間			単第0-0002 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 山積0.28m3			B=2 掘削深	2.0m以下	

# 施工単価表

軽量鋼矢板引抜工(両側分)

SG1D0033002

単第0 -0019 表

頁0 -0041

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.9	人			
特殊作業員	0.9	人			
普通作業員	2.7	人			
<作>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊,オペレータ付	1.0	日			
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 TC4.9t吊			B=2 掘削深	2.0m以下	











# 施工単価表

頁0 -0047

下層路盤(車道・路肩部)

SPK25040235

単第0 -0025 表

全仕上り厚300mm 2層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比: 6.54%

労務構成比:

20.94%

材料構成比: 72.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,261.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	4.52%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.56%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.56%		<賃>タイヤローラ 質量13~14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	9.23%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	3.36%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	3.00%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	2.46%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)

SPK25040235

単第0 -0025 表

全仕上り厚300mm 2層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比: 6.54% 労務構成比: 20.94%

材料構成比: 72.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,261.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシャー 30~0mm	70.53%		クラッシャー 40~0mm [標準数量]全仕上り厚250mm		TTPCD0018 TTPT00347
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	1.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=300 D=1 全仕上り厚(mm) -(全ての費用)			B=3 RC-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):300.000(mm)					

# 施工単価表

頁0 -0049

下層路盤(車道・路肩部)

SPK25040235

単第0 -0026 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比: 5.72% 労務構成比: 18.33%

材料構成比: 75.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,289.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	3.95%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.49%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.49%		<賃>タイヤローラ 質量13~14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	8.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	2.95%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.63%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	2.16%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)

SPK25040235

単第0 -0026 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比: 5.72%

労務構成比:

18.33%

材料構成比: 75.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,289.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシャー 30~0mm	74.21%		クラッシャー 40~0mm [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPCD0018 TTPT00346
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	1.50%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 D=1 全仕上り厚(mm) -(全ての費用)			B=3 RC-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

# 施工単価表

頁0 -0051

下層路盤(歩道部)

SPK25040236

単第0 -0027 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比: 5.00% 労務構成比:

75.15%

材料構成比: 19.85%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

857.31000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m3	2.99%		小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m3		MTPC00169 MTPT00169
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.78%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	27.03%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	15.84%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	15.70%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.01%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 30~0mm	17.77%		再生クラッシャーラン RC-40 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPCD0018 TTPT00352

# 施工単価表

下層路盤(歩道部)

SPK25040236

単第0 -0027 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比: 5.00%

労務構成比:

75.15%

材料構成比:

19.85%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

857.31000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	1.99%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 D=1 全仕上り厚(mm) -(全ての費用)			B=3 RC-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

# 施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0028 表

RM-30

全仕上り厚170mm 2層施工

1

m2 当り

機械構成比: 13.80%

労務構成比:

44.18%

材料構成比:

42.02%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,074.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	9.53%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	1.19%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	1.18%		<賃>タイヤローラ 質量13~14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	19.50%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	7.09%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	6.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	5.19%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0028 表

RM-30

全仕上り厚170mm 2層施工

1

m2 当り

機械構成比: 13.80%

労務構成比: 44.18%

材料構成比: 42.02%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,074.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30~0mm	37.83%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚200mm		TTPC00010 TTPT00358
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	3.62%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 H=1 RM-30 -(全ての費用)			E=170 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):170.000(mm)					

# 施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0029 表

RM-30

全仕上り厚120mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 11.57%

労務構成比:

37.08%

材料構成比:

51.35%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

637.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	7.99%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	1.00%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.99%		<賃>タイヤローラ 質量13~14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	16.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	5.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	4.37%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0029 表

RM-30

全仕上り厚120mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 11.57%

労務構成比: 37.08%

材料構成比: 51.35%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

637.83000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30~0mm	47.84%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	3.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 H=1 RM-30 -(全ての費用)			E=120 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):120.000(mm)					

# 施工単価表

頁0 -0057

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0030 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.43% 労務構成比:

44.02%

材料構成比: 55.55%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,638.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.26%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.15%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	21.44%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	15.40%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	55.32%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.18%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

# 施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0030 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.43% 労務構成比: 44.02%

材料構成比: 55.55%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,638.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	0.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=7 再生密粒度アスファルト混合物(13) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=30 1層当り平均仕上り厚(mm) E=5 瀝青材料無し H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

# 施工単価表

表層(歩道部)

SPK25040247

単第0 -0031 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.48% 労務構成比:

52.76%

材料構成比: 46.76%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,994.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.35%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.10%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	22.73%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	20.37%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.21%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	46.58%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPC00024 TTPT00293
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.12%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

# 施工単価表

表層(歩道部)

SPK25040247

単第0 -0031 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.48% 労務構成比: 52.76%

材料構成比: 46.76%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,994.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	0.05%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=7 再生密粒度アスコン(13) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=30 1層当り平均仕上り厚(mm) E=5 瀝青材料無し H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

# 施工単価表

頁0 -0061

基層(車道・路肩部)

SPK25040242

単第0 -0032 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.49% 労務構成比:

49.04%

材料構成比: 50.47%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,614.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.27%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.15%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	21.64%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	15.54%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.74%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)	45.26%		再生粗粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00023 TTPT00281
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	4.96%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

# 施工単価表

基層(車道・路肩部)

SPK25040242

単第0 -0032 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.49% 労務構成比: 49.04%

材料構成比: 50.47%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,614.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.18%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=8 再生粗粒度アスコン(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

# 施工単価表

頁0 -0063

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0033 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.45% 労務構成比:

45.70%

材料構成比: 53.85%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,805.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.25%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.14%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.48%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.41%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	52.05%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	1.57%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027

# 施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0033 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.45% 労務構成比:

45.70%

材料構成比: 53.85%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,805.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.17%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

# 施工単価表

頁0 -0065

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0034 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.43% 労務構成比:

44.34%

材料構成比: 55.23%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,891.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.24%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.13%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.57%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.05%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.28%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	50.52%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	4.48%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

# 施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0034 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.43% 労務構成比:

44.34%

材料構成比: 55.23%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,891.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.17%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

# 施工単価表

頁0 -0067

表層(歩道部)

SPK25040247

単第0 -0035 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.44% 労務構成比:

48.11%

材料構成比: 51.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,431.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.29%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.08%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	18.62%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	16.71%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.10%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生細粒度(13)	45.96%		細粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPC00025 TTPT00294
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	5.33%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

# 施工単価表

表層(歩道部)

SPK25040247

単第0 -0035 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.44% 労務構成比:

48.11%

材料構成比: 51.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,431.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.10%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=10 再生細粒度アスファルト混合物(13) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=30 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					



# 施工単価表

区画線設置(溶融式)  
実線\_15cm

SDT00001

単第0 -0037 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_15cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15~18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	42.000	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=1 実線_15cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		



# 施工単価表

区画線設置(溶融式)

SDT00001

単第0 -0038 表

実線 45cm

1000

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_45cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15~18% 白	1,785.000	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	78.750	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	78.750	kg			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	76.650	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=4 実線_45cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		



# 施工単価表

区画線設置(溶融式)  
矢印・記号・文字\_15cm換算

SDT00001

単第0 -0039 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 矢印・記号・文字_15cm換算 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15~18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	105.000	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=13 矢印・記号・文字_15cm換算 E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		



# 施工単価表

歩車道境界ブロック撤去  
再利用

SPK25040292

単第0 -0040 表

1 m 当り  
標準単価: 1,470.90000

機械構成比: 3.96% 労務構成比: 94.58% 材料構成比: 1.46% 市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.22m3(平積0.16) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	3.96%		小型バックホウ [クローラ型・超小旋回型] 山積0.22m3		KTPC00002 KTPT00002
普通作業員	30.07%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	18.33%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	17.09%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	16.73%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.46%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 再利用					



# 施工単価表

頁0 -0078

歩車道境界ブロック  
各種(600mm以下,50kg未満)

SPK25040290

単第0 -0041 表

再利用設置 RC-40 養生工有り

1

m 当り

機械構成比: 0.41% 労務構成比:

86.00%

材料構成比: 13.59%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

5,996.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	0.41%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	32.58%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	17.23%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	15.30%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
型わく工	13.00%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	12.33%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPC00003 TTPT00003
再生クラッシャーラン 40~0mm	0.88%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.38%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

地先境界ブロック撤去  
再利用

SPK25040293

単第0 -0042 表

機械構成比: 3.96% 労務構成比: 94.58% 材料構成比: 1.46% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,470.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.22m3(平積0.16) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	3.96%		小型バックホウ [クローラ型・超小旋回型] 山積0.22m3		KTPC00002 KTPT00002
普通作業員	30.07%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	18.33%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	17.09%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	16.73%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.46%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 再利用					



# 施工単価表

地先境界ブロック  
各種(600mm以下,50kg未満)

SPK25040291

単第0 -0043 表

再利用設置 RC-40

1

m 当り

機械構成比: 0.60% 労務構成比:

97.55%

材料構成比: 1.85%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,558.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	0.60%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	42.89%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	24.62%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	23.30%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	1.67%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	1.29%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.56%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999





# 施工単価表

基本運賃  
運搬距離 2km

S1000009  
製品長 12m以内 運搬質量 2.1t

単第0 -0045 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃	1.000	式			直接経費の対象外
t当り基本運賃	2.100	t			
*** 単位当たり ***	1	式			
A=1 基本運賃 C=1 12m以内			B=2 D=2.1	運搬距離 (km) 運搬質量 (t)	

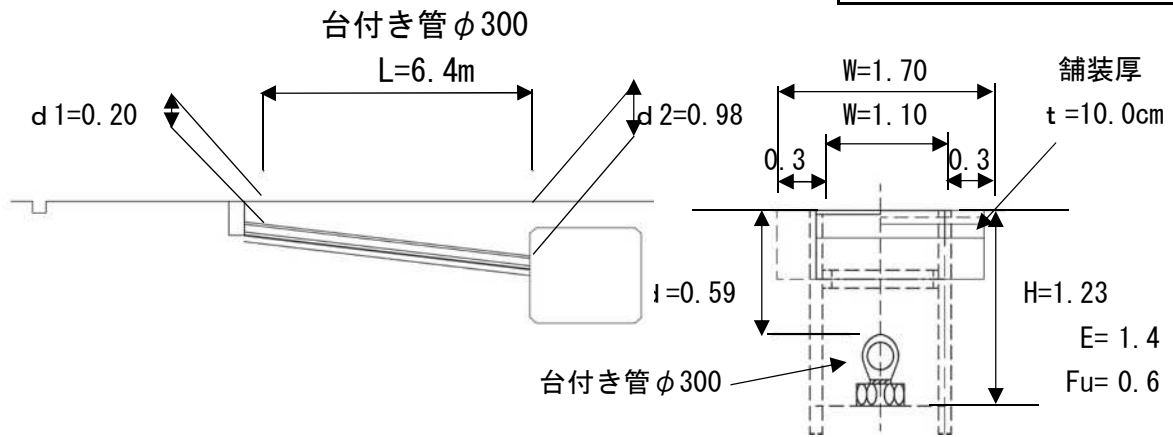


数量総括表

工事区分 レベル1	工種 レベル2	種別 レベル3	細別 レベル4	規格 レベル5	単位	1	2	3	4	5	6	7	8	11	12	21	23	24	25	26	27	28	30	31	32	33	34	35	37	38	39	46	47				
レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5		1007831	1007832	1007834~1007836	1007837~1007891	1007892~1007893	1007898	1007899	1007902~1008103	1008062	1008063	1008104~1007848	1008221~1008224	1008225~1008228	1008227	1008228	1008229	1008230	1008477	1008478	1008479	1008480	1008481	1008482	1008484	1008485~1008488	1008639	1008698	1007831				
管路土工		作業土工																																			
			床掘	礫質土	m3	9.0				1.9					8.7	8.3	2.3		3.4	3.0	1.4	3.0	3.2				2.9	1.4	4.0		7.3		5.2	3.2			
			埋戻し	流用土	m3	3.8				0.7					5.0	4.5	1.3		2.2	2.0	1.0	2.0	2.1				1.8	0.9	2.2		5.0		3.1	2.4			
			残土処理工		m3																																
			残土等処分		m3																																
			構造物撤去①																																		
			構造物取壊し																																		
				舗装版切断	As t=10cm	m	12.8								12.4	12.8																					
				舗装版破砕	As t=10cm	m2	7.0								6.1	6.3																					
				舗装版切断	As t=5cm	m				4.8							3.8			5.6	5.0	2.4	5.0	5.6			5.2	2.6	8.6		11.2		10.4	3.4			
				舗装版破砕	As t=5cm	m2				2.6							2.1			2.8	2.5	1.2	2.5	2.8			2.6	1.3	4.3		5.6		5.1	1.9			
				処処分		m3	0.7			0.1					0.6	0.6	0.1			0.2	0.2	0.1	0.2	0.2			0.2	0.1	0.3		0.3		0.3	0.1			
			管渠撤去																																		
				HP150	m																																
				HP200	m										6.2	6.4				2.8	2.5	1.2	2.5	2.8			2.6	1.3	4.3		5.6		5.2				
				HP250	m																																
				HP300	m	6.4				2.4							1.9																			1.7	
				VU200	m																																
				処処分	m3	0.2				0.1					0.13	0.1	0.1			0.1	0.1	0.02	0.1	0.1			0.1	0.03	0.1		0.1		0.1	0.1			
			管渠工																																		
			管渠工																																		
				台付き管																																	
				φ150	m																																
				φ200	m										6.2	6.4				2.8	2.5	1.2	2.5	2.8			2.6	1.3	4.3		5.6		5.2				
				φ250	m																																
				φ300	m	6.4				2.4							1.9																			1.7	
				接続コンクリート	0.04×82箇所	m3																															
				製枠	0.3×82箇所	m2																															
			仮復旧工																																		
			アスファルト舗装工																																		
			車道舗装	下層路盤	t=30cm	m2	3.9								6.1	6.3																					
				上層路盤	t=17cm	m2	3.9								6.1	6.3																					
				表層	t=3cm	m2	3.9								6.1	6.3																					
			車道舗装	下層路盤	t=10cm	m2																															
				上層路盤	t=17cm	m2																															
				表層	t=3cm	m2																															
			車道舗装	下層路盤	t=10cm	m2			2.6						2.1		2.8	2.5	1.2	2.5	2.8						2.6	1.3	4.3		5.6		5.1	1.9			
				上層路盤	t=12cm	m2			2.6						2.1		2.8	2.5	1.2	2.5	2.8					2.6	1.3	4.3		5.6		5.1	1.9				
				表層	t=3cm	m2			2.6						2.1		2.8	2.5	1.2	2.5	2.8				2.6	1.3	4.3		5.6		5.1	1.9					
			歩道舗装	路盤	t=10cm	m2	3.0																														
				表層	t=3cm	m2	3.0																														
			構造物撤去②																																		
			車道舗装	仮舗装撤去	As t=3cm	m2	6.9								6.1	6.3																					
				舗装版切断	As t=10cm	m	12.4								12.4	12.8																					
				舗装版破砕	As t=10cm	m2	2.1								3.7	3.8																					
			車道舗装	仮舗装撤去	As t=3cm	m2			2.6							2.1		2.8	2.5	1.2	2.5	2.8				2.6	1.3	4.3		5.6		5.1	1.9				
				舗装版切断	As t=5cm	m			4.8						3.8		5.6	5.0	2.4	5.0	5.6					5.2	2.6	8.6		11.2		10.4	3.4				
				舗装版破砕	As t=5cm	m2			1.4						1.1		1.6	1.5	0.7	1.5	1.6					1.6	0.8	2.5		3.3		3.1	1.0				
			歩道舗装	仮処分	As t=3cm	m2	1.6																														
				処処分		m3	0.5			0.2					0.6	0.6	0.1			0.2	0.2	0.1	0.2	0.2			0.2	0.1	0.3		0.3		0.3	0.1			
			舗装工																																		
			本舗装	アスファルト舗装工																																	
			車道舗装	下層路盤	t=30cm	m2																															

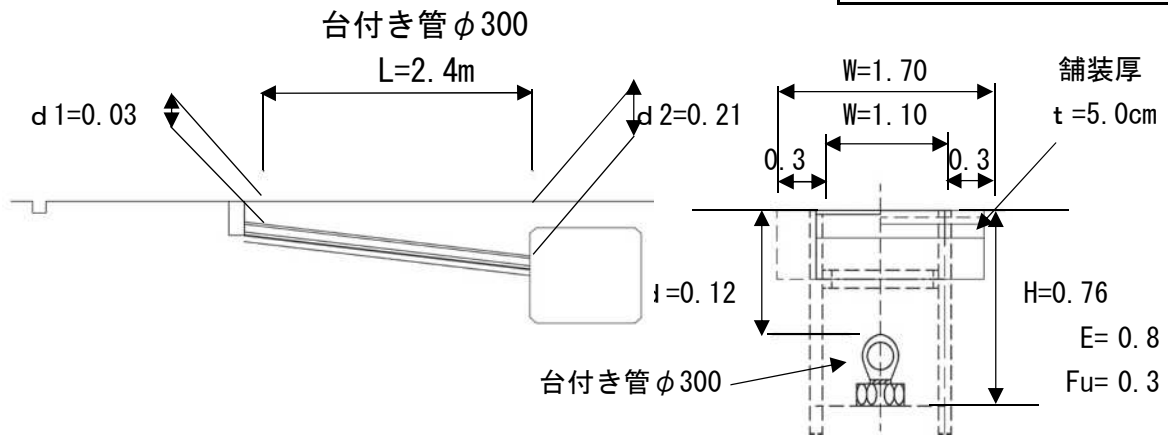


整理番号 :	1
路線番号 :	1007831
右 取付管	2



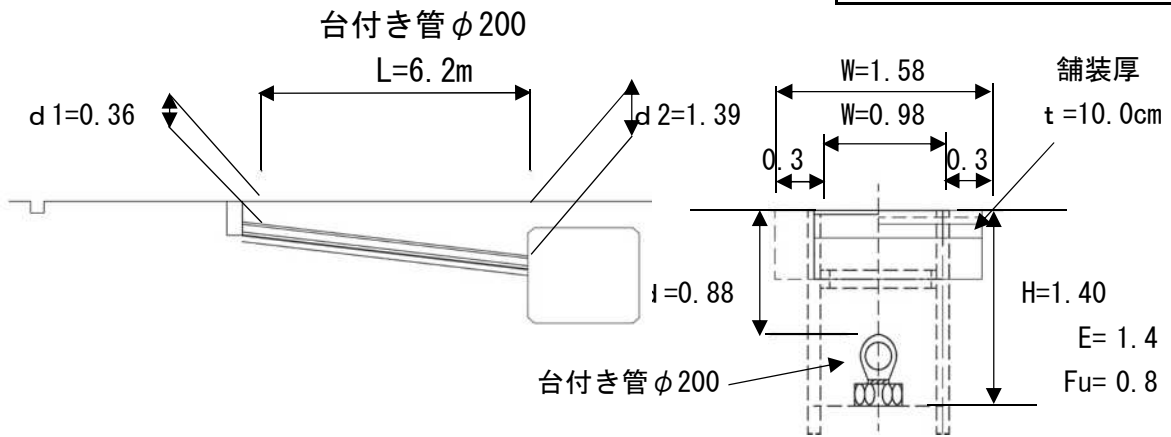
種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.4 \times 6.4$	9.0	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.6 \times 6.4$	3.8	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=10.0cm	$L = 6.4 \times 2$	12.8	m
舗装版破碎	t=10.0cm	$A = 1.10 \times 6.4$	7.0	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 7.0 \times 0.10$	0.7	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	300		6.4	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 6.4 \times 82.5/2500$	0.2	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ300		6.4	m
仮舗装復旧	3-17-30	$A = 1.10 \times 3.5$	3.9	m <sup>2</sup>
	3-10	$A = 1.10 \times 2.7$	3.0	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 3.9 + 3.0$	6.9	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=10.0cm	$L = (3.5 + 2.7) \times 2$	12.4	m
舗装版破碎	t=10.0cm	$A = 3.5 \times 0.3 \times 2$	2.1	m <sup>2</sup>
	t=3.0cm	$A = 2.7 \times 0.3 \times 2$	1.6	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = (6.9 + 1.6) \times 0.03 + 2.1 \times 0.10$	0.5	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-5-10-30	$A = (0.30 + 1.10 + 0.30) \times 3.5$	6.0	m <sup>2</sup>
	3-10	$A = (0.30 + 1.10 + 0.30) \times 2.7$	4.6	m <sup>2</sup>
区画線	白色、15cm	$L = 1.7$	1.7	m
	白色、45cm	$L = 1.9$	1.9	m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 6.4 \times 2$	12.8	m
		$N = 12.8 \div 0.25$	51.2	枚
		$W = 1.5 \times 51.2 \times 14.8/1000$	1.14	t
切梁		$N = 6.4 \times 5/10 \times 1$	3.2	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 6.4 \times 2 \times (15.3/2.0)/1000$	0.10	t
<b>【雑工】</b>				
歩車道境界ブロック	撤去・復旧	$L = 1.7$	1.7	m
植樹ブロック	撤去・復旧	$L = 0.8$	0.8	m

整理番号 : 5  
 路線番号 : 1007867~1013578  
 左 取付管 3



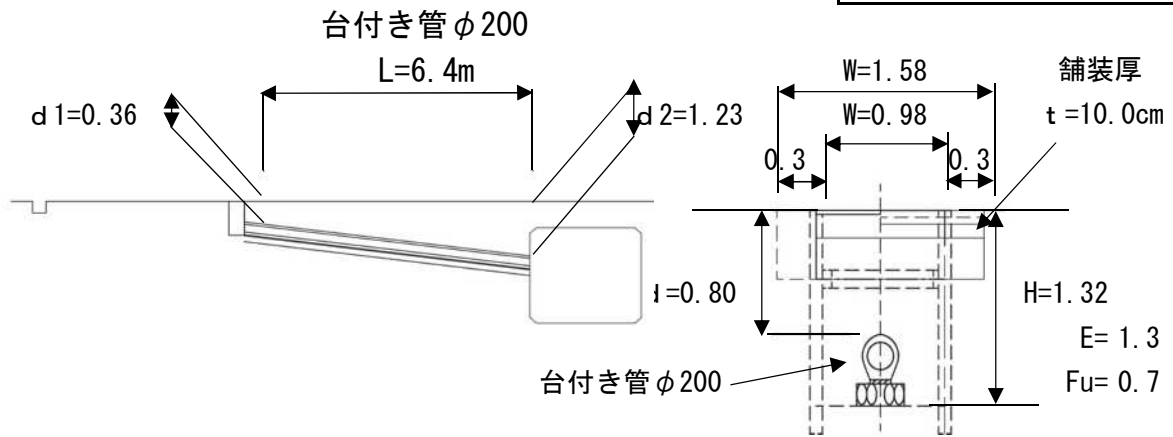
種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 0.8 \times 2.4$	1.9	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.3 \times 2.4$	0.7	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 2.4 \times 2$	4.8	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.10 \times 2.4$	2.6	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 2.6 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	300		2.4	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 2.4 \times 82.5/2500$	0.1	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ300		2.4	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 1.10 \times 2.4$	2.6	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 2.6$	2.6	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 2.4 \times 2$	4.8	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 2.4 \times 0.3 \times 2$	1.4	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 2.6 \times 0.03 + 1.4 \times 0.05$	0.2	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 1.10 + 0.30) \times 2.4$	4.1	m <sup>2</sup>
区画線	白色、15cm	$L = 1.70 \times 1$	1.7	m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1000	$L = 2.4 \times 2$	4.8	m
		$N = 4.8 \div 0.25$	19.2	枚
		$W = 1.0 \times 19.2 \times 14.8/1000$	0.28	t
切梁		$N = 2.4 \times 5/10 \times 1$	1.2	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 2.4 \times 2 \times (15.3/2.0)/1000$	0.04	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m <sup>3</sup>

整理番号：	11
路線番号：	1008062
左 取付管	2



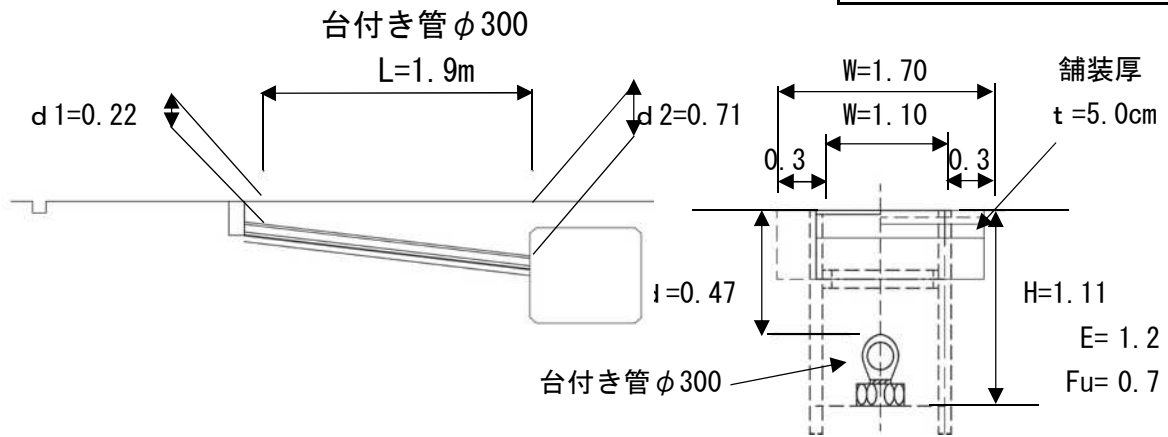
種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.4 \times 6.2$	8.7	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.8 \times 6.2$	5.0	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=10.0cm	$L = 6.2 \times 2$	12.4	m
舗装版破碎	t=10.0cm	$A = 0.98 \times 6.2$	6.1	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 6.1 \times 0.10$	0.6	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		6.2	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 6.2 \times 51.5/2500$	0.1	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		6.2	m
仮舗装復旧	3-17-30	$A = 0.98 \times 6.2$	6.1	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 6.1$	6.1	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=10.0cm	$L = 6.2 \times 2$	12.4	m
舗装版破碎	t=10.0cm	$A = 6.2 \times 0.3 \times 2$	3.7	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 6.1 \times 0.03 + 3.7 \times 0.10$	0.6	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-5-10-30	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 6.2$	9.8	m <sup>2</sup>
区画線	白色、15cm	$L = 1.58 \times 2$	3.2	m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=2000	$L = 6.2 \times 2$	12.4	m
		$N = 12.4 \div 0.25$	49.6	枚
		$W = 2.0 \times 49.6 \times 14.8/1000$	1.47	t
切梁		$N = 6.2 \times 5/10 \times 1$	3.1	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 6.2 \times 2 \times (15.3/2.0)/1000$	0.1	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

整理番号：	12
路線番号：	1008063
左 取付管	1



種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.3 \times 6.4$	8.3	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.7 \times 6.4$	4.5	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=10.0cm	$L = 6.4 \times 2$	12.8	m
舗装版破碎	t=10.0cm	$A = 0.98 \times 6.4$	6.3	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 6.3 \times 0.10$	0.6	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		6.4	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 6.4 \times 51.5/2500$	0.1	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		6.4	m
仮舗装復旧	3-17-30	$A = 0.98 \times 6.4$	6.3	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 6.3$	6.3	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=10.0cm	$L = 6.4 \times 2$	12.8	m
舗装版破碎	t=10.0cm	$A = 6.4 \times 0.3 \times 2$	3.8	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 6.3 \times 0.03 + 3.8 \times 0.10$	0.6	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-5-10-30	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 6.4$	10.1	m <sup>2</sup>
区画線	白色、15cm	$L = 1.58 \times 2$	3.2	m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=2000	$L = 6.4 \times 2$	12.8	m
		$N = 12.8 \div 0.25$	51.2	枚
		$W = 2.0 \times 51.2 \times 14.8/1000$	1.52	t
切梁		$N = 6.4 \times 5/10 \times 1$	3.2	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 6.4 \times 2 \times (15.3/2.0)/1000$	0.1	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

整理番号： 21  
 路線番号： 1008194~1007848  
 左 取付管 1



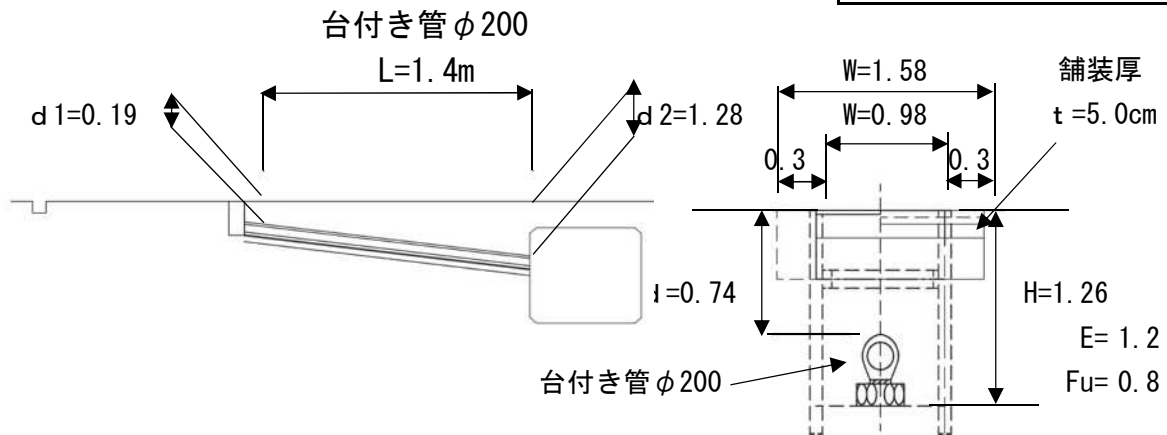
種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.2 \times 1.9$	2.3	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.7 \times 1.9$	1.3	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.9 \times 2$	3.8	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.10 \times 1.9$	2.1	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 2.1 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	300		1.9	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.9 \times 82.5 / 2500$	0.1	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ300		1.9	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 1.10 \times 1.9$	2.1	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 2.1$	2.1	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.9 \times 2$	3.8	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.9 \times 0.3 \times 2$	1.1	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 2.1 \times 0.03 + 1.1 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 1.10 + 0.30) \times 1.9$	3.2	m <sup>2</sup>
区画線				m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 1.9 \times 2$	3.8	m
		$N = 3.8 \div 0.25$	15.2	枚
		$W = 1.5 \times 15.2 \times 14.8 / 1000$	0.34	t
切梁		$N = 1.9 \times 5 / 10 \times 1$	1.0	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.9 \times 2 \times (15.3 / 2.0) / 1000$	0.03	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m



整理番号： 24

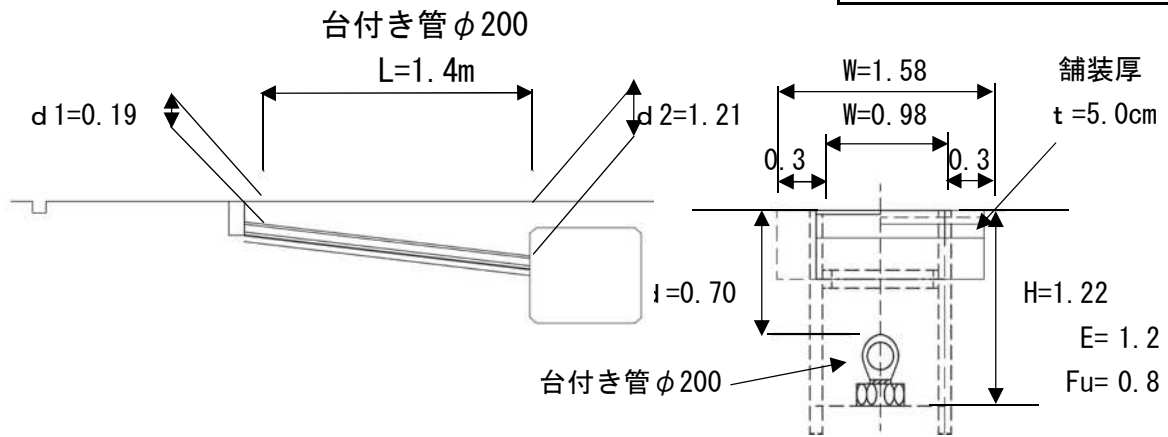
路線番号： 1008225~1008226

左 取付管 1



種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.2 \times 1.4$	1.7	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.8 \times 1.4$	1.1	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.4 \times 2$	2.8	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.4$	1.4	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.4 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.4	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.4 \times 51.5/2500$	0.03	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		1.4	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.4$	1.4	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.4$	1.4	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.4 \times 2$	2.8	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.4 \times 0.3 \times 2$	0.8	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.4 \times 0.03 + 0.8 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.4$	2.2	m <sup>2</sup>
区画線				m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 1.4 \times 2$	2.8	m
		$N = 2.8 \div 0.25$	11.2	枚
		$W = 1.5 \times 11.2 \times 14.8/1000$	0.25	t
切梁		$N = 1.4 \times 5/10 \times 1$	0.7	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.4 \times 2 \times (15.3/2.0)/1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

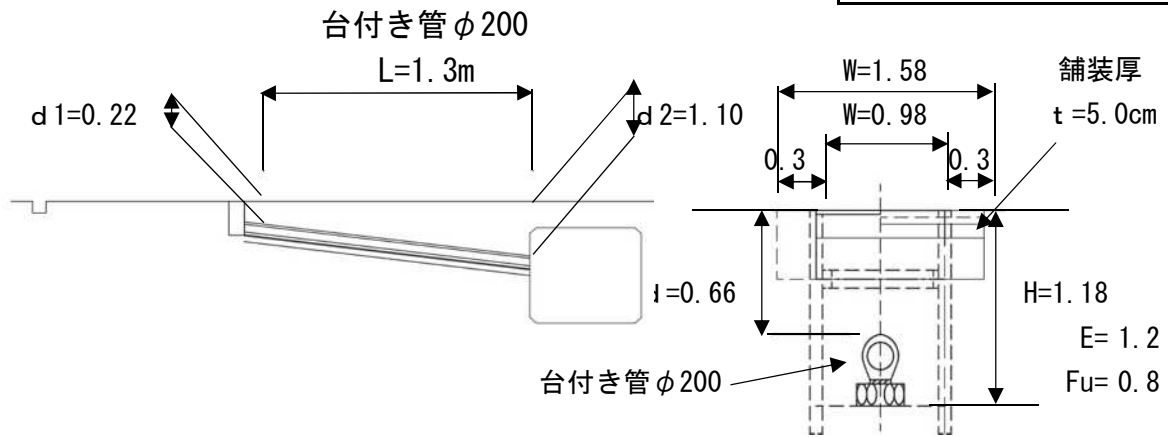
整理番号：	24
路線番号：	1008225~1008226
左 取付管	4



種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.2 \times 1.4$	1.7	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.8 \times 1.4$	1.1	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.4 \times 2$	2.8	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.4$	1.4	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.4 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.4	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.4 \times 51.5/2500$	0.03	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		1.4	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.4$	1.4	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.4$	1.4	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.4 \times 2$	2.8	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.4 \times 0.3 \times 2$	0.8	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.4 \times 0.03 + 0.8 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.4$	2.2	m <sup>2</sup>
区画線				m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 1.4 \times 2$	2.8	m
		$N = 2.8 \div 0.25$	11.2	枚
		$W = 1.5 \times 11.2 \times 14.8/1000$	0.25	t
切梁		$N = 1.4 \times 5/10 \times 1$	0.7	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.4 \times 2 \times (15.3/2.0)/1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

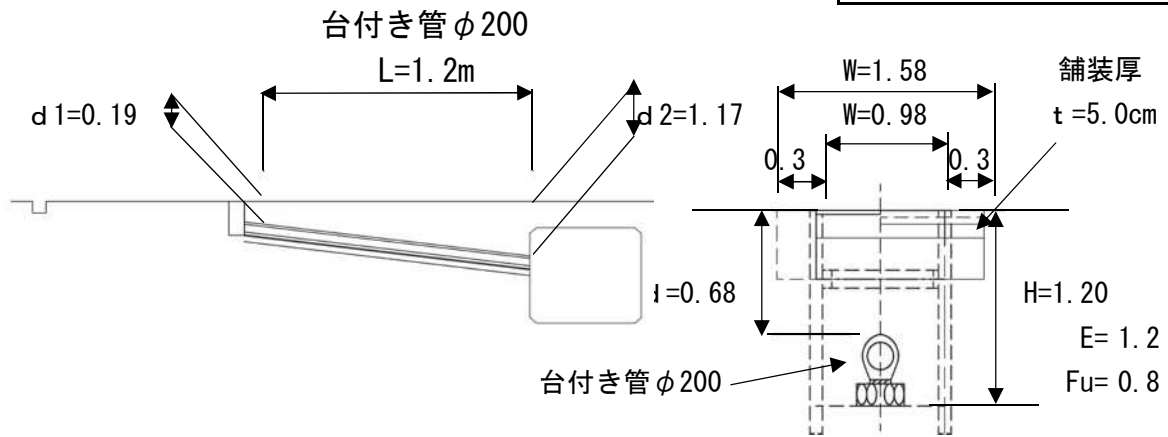


整理番号：	25
路線番号：	1008227
左 取付管	2



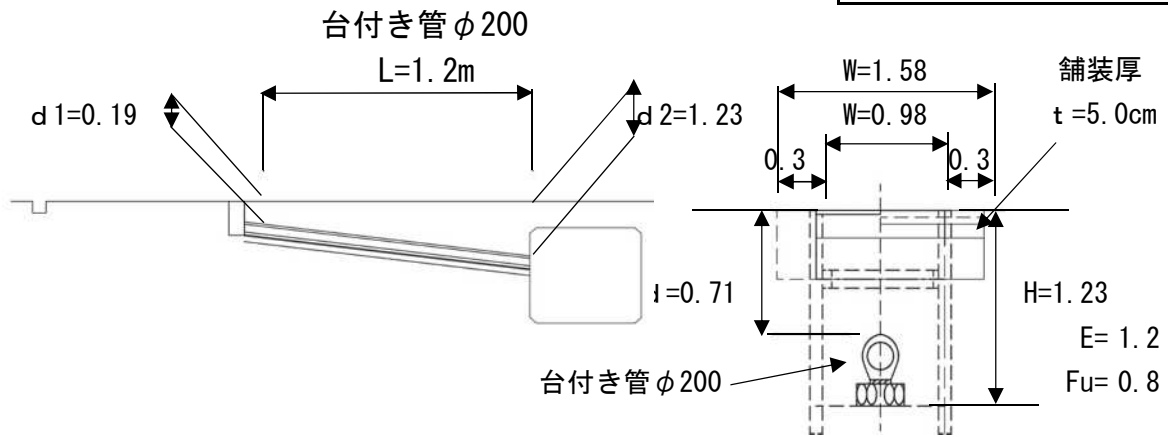
種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.2 \times 1.3$	1.6	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.8 \times 1.3$	1.0	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.3 \times 2$	2.6	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.3$	1.3	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.3 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.3	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.3 \times 51.5/2500$	0.03	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		1.3	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.3$	1.3	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.3$	1.3	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.3 \times 2$	2.6	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.3 \times 0.3 \times 2$	0.8	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.3 \times 0.03 + 0.8 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.3$	2.1	m <sup>2</sup>
区画線				m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 1.3 \times 2$	2.6	m
		$N = 2.6 \div 0.25$	10.4	枚
		$W = 1.5 \times 10.4 \times 14.8/1000$	0.23	t
切梁		$N = 1.3 \times 5/10 \times 1$	0.7	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.3 \times 2 \times (15.3/2.0)/1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

整理番号 :	25
路線番号 :	1008227
右 取付管	3



種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.2 \times 1.2$	1.4	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.8 \times 1.2$	1.0	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.2 \times 2$	2.4	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.2$	1.2	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.2 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.2	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.2 \times 51.5/2500$	0.02	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		1.2	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.2$	1.2	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.2$	1.2	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.2 \times 2$	2.4	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.2 \times 0.3 \times 2$	0.7	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.2 \times 0.03 + 0.7 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.2$	1.9	m <sup>2</sup>
区画線				m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 1.2 \times 2$	2.4	m
		$N = 2.4 \div 0.25$	9.6	枚
		$W = 1.5 \times 9.6 \times 14.8/1000$	0.21	t
切梁		$N = 1.2 \times 5/10 \times 1$	0.6	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.2 \times 2 \times (15.3/2.0)/1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

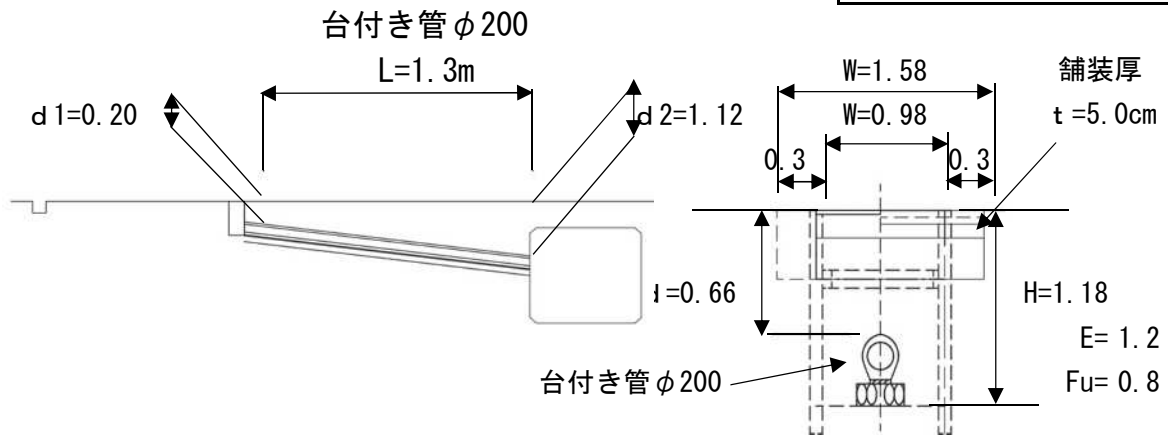
整理番号 : 26  
 路線番号 : 1008228  
 右 取付管 2



種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.2 \times 1.2$	1.4	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.8 \times 1.2$	1.0	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.2 \times 2$	2.4	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.2$	1.2	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.2 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.2	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.2 \times 51.5/2500$	0.02	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		1.2	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.2$	1.2	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.2$	1.2	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.2 \times 2$	2.4	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.2 \times 0.3 \times 2$	0.7	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.2 \times 0.03 + 0.7 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.2$	1.9	m <sup>2</sup>
区画線				m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 1.2 \times 2$	2.4	m
		$N = 2.4 \div 0.25$	9.6	枚
		$W = 1.5 \times 9.6 \times 14.8/1000$	0.21	t
切梁		$N = 1.2 \times 5/10 \times 1$	0.6	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.2 \times 2 \times (15.3/2.0)/1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

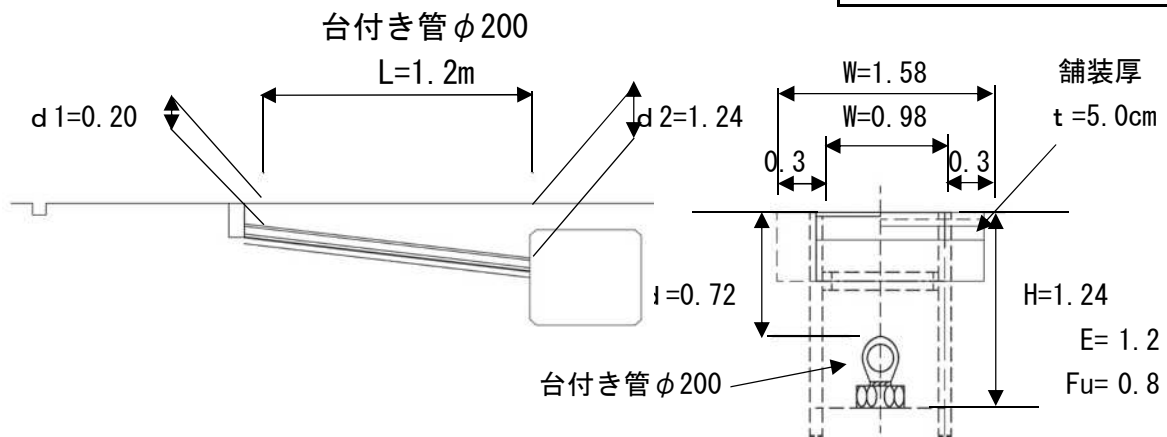


整理番号：	27
路線番号：	1008229
左 取付管	1



種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.2 \times 1.3$	1.6	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.8 \times 1.3$	1.0	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.3 \times 2$	2.6	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.3$	1.3	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.3 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.3	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.3 \times 51.5/2500$	0.03	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		1.3	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.3$	1.3	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.3$	1.3	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.3 \times 2$	2.6	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.3 \times 0.3 \times 2$	0.8	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.3 \times 0.03 + 0.8 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.3$	2.1	m <sup>2</sup>
区画線				m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 1.3 \times 2$	2.6	m
		$N = 2.6 \div 0.25$	10.4	枚
		$W = 1.5 \times 10.4 \times 14.8/1000$	0.23	t
切梁		$N = 1.3 \times 5/10 \times 1$	0.7	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.3 \times 2 \times (15.3/2.0)/1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

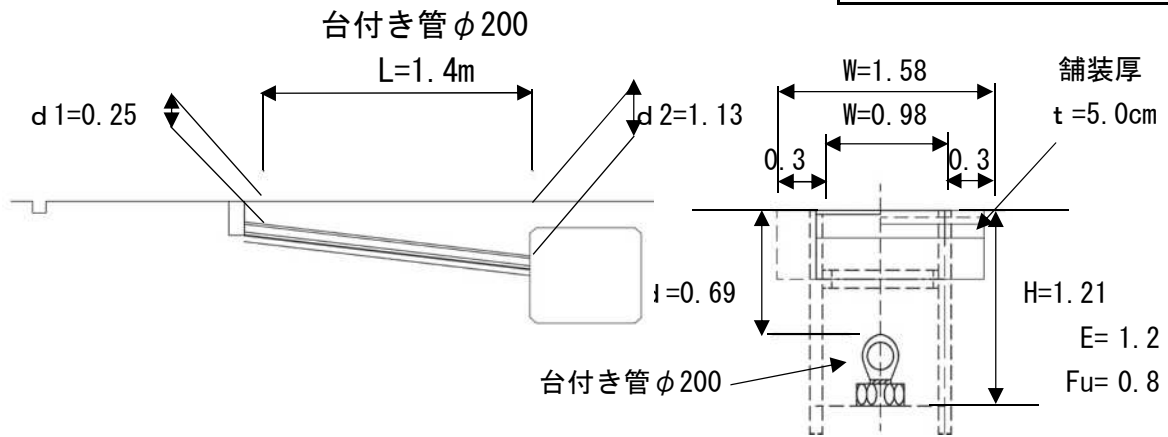
整理番号：	27
路線番号：	1008229
右 取付管	2



種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.2 \times 1.2$	1.4	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.8 \times 1.2$	1.0	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.2 \times 2$	2.4	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.2$	1.2	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.2 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.2	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.2 \times 51.5/2500$	0.02	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		1.2	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.2$	1.2	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.2$	1.2	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.2 \times 2$	2.4	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.2 \times 0.3 \times 2$	0.7	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.2 \times 0.03 + 0.7 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.2$	1.9	m <sup>2</sup>
区画線				m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板(LSP-2)	H=1500	$L = 1.2 \times 2$	2.4	m
		$N = 2.4 \div 0.25$	9.6	枚
		$W = 1.5 \times 9.6 \times 14.8/1000$	0.21	t
切梁		$N = 1.2 \times 5/10 \times 1$	0.6	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.2 \times 2 \times (15.3/2.0)/1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

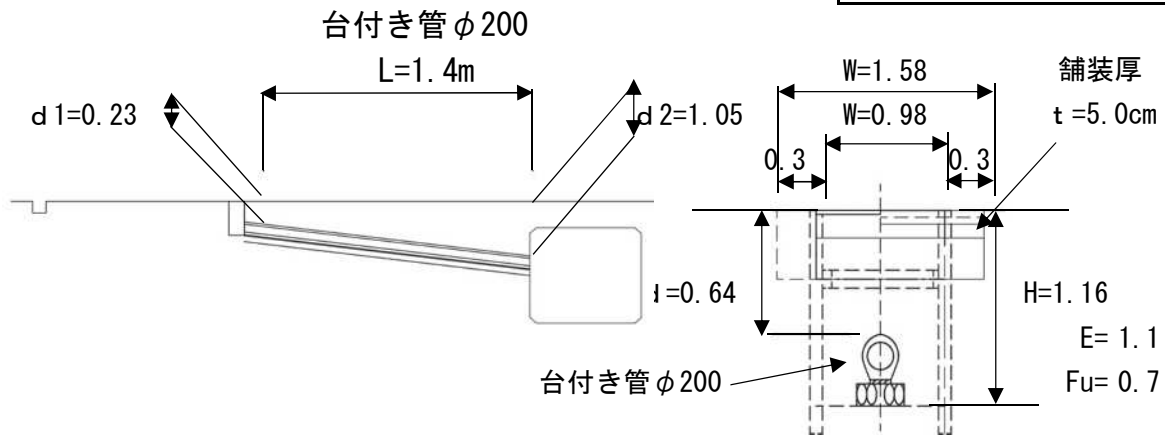


整理番号：	28
路線番号：	1008230
左 取付管	1



種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.2 \times 1.4$	1.7	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.8 \times 1.4$	1.1	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.4 \times 2$	2.8	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.4$	1.4	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.4 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.4	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.4 \times 51.5/2500$	0.03	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		1.4	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.4$	1.4	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.4$	1.4	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.4 \times 2$	2.8	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.4 \times 0.3 \times 2$	0.8	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.4 \times 0.03 + 0.8 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.4$	2.2	m <sup>2</sup>
区画線				m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 1.4 \times 2$	2.8	m
		$N = 2.8 \div 0.25$	11.2	枚
		$W = 1.5 \times 11.2 \times 14.8/1000$	0.25	t
切梁		$N = 1.4 \times 5/10 \times 1$	0.7	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.4 \times 2 \times (15.3/2.0)/1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

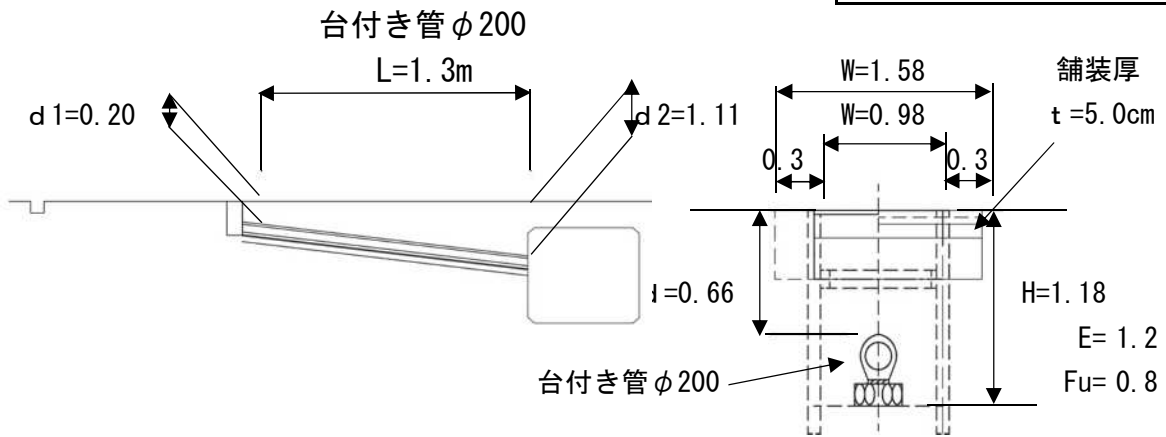
整理番号： 28  
 路線番号： 1008230  
 左 取付管 3



種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.1 \times 1.4$	1.5	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.7 \times 1.4$	1.0	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.4 \times 2$	2.8	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.4$	1.4	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.4 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.4	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.4 \times 51.5/2500$	0.03	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		1.4	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.4$	1.4	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.4$	1.4	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.4 \times 2$	2.8	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.4 \times 0.3 \times 2$	0.8	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.4 \times 0.03 + 0.8 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.4$	2.2	m <sup>2</sup>
区画線				m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 1.4 \times 2$	2.8	m
		$N = 2.8 \div 0.25$	11.2	枚
		$W = 1.5 \times 11.2 \times 14.8/1000$	0.25	t
切梁		$N = 1.4 \times 5/10 \times 1$	0.7	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.4 \times 2 \times (15.3/2.0)/1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

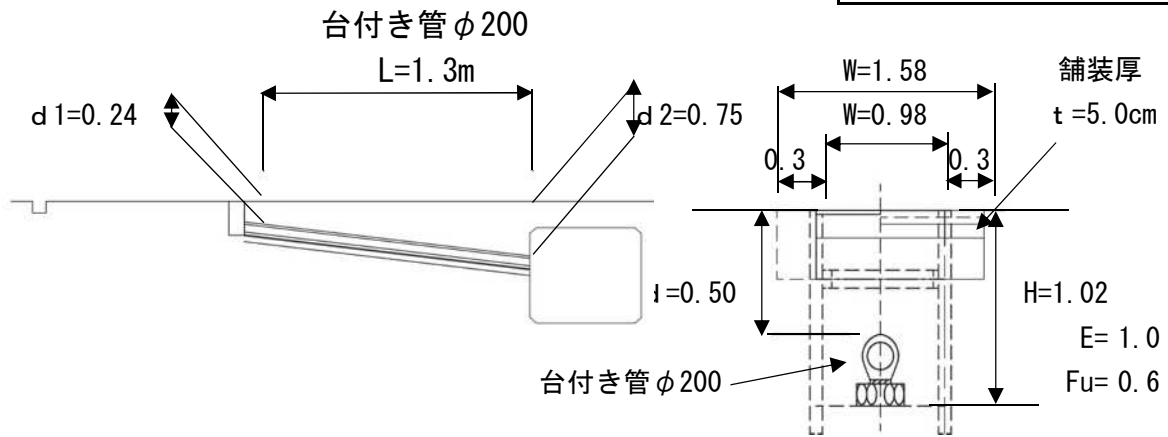


整理番号：	33
路線番号：	1008480
左 取付管	2



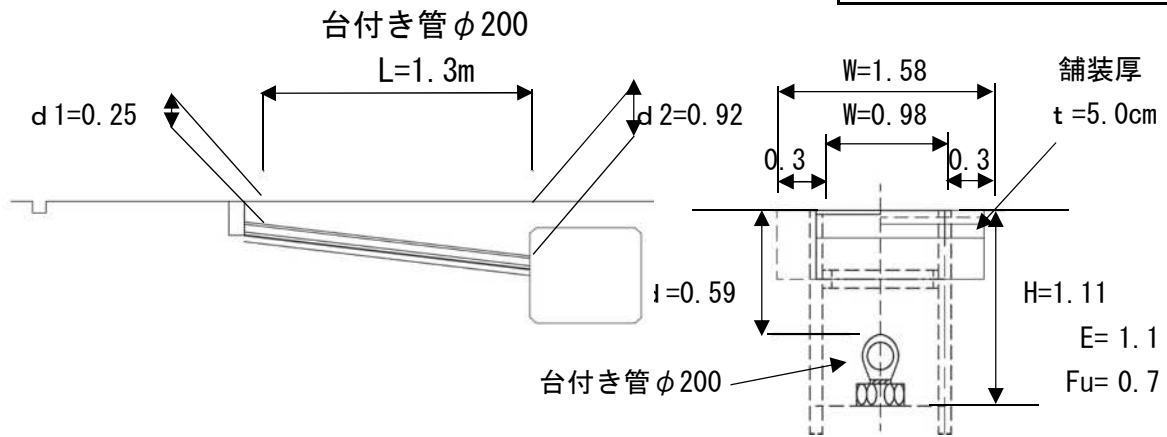
種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.2 \times 1.3$	1.6	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.8 \times 1.3$	1.0	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.3 \times 2$	2.6	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.3$	1.3	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.3 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.3	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.3 \times 51.5/2500$	0.03	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		1.3	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.3$	1.3	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.3$	1.3	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.3 \times 2$	2.6	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.3 \times 0.3 \times 2$	0.8	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.3 \times 0.03 + 0.8 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.3$	2.1	m <sup>2</sup>
区画線				m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 1.3 \times 2$	2.6	m
		$N = 2.6 \div 0.25$	10.4	枚
		$W = 1.5 \times 10.4 \times 14.8/1000$	0.23	t
切梁		$N = 1.3 \times 5/10 \times 1$	0.7	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.3 \times 2 \times (15.3/2.0)/1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

整理番号 :	33
路線番号 :	1008480
左 取付管	3



種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.0 \times 1.3$	1.3	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.6 \times 1.3$	0.8	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.3 \times 2$	2.6	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.3$	1.3	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.3 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.3	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.3 \times 51.5 / 2500$	0.03	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		1.3	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.3$	1.3	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.3$	1.3	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.3 \times 2$	2.6	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.3 \times 0.3 \times 2$	0.8	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.3 \times 0.03 + 0.8 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.3$	2.1	m <sup>2</sup>
区画線				m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 1.3 \times 2$	2.6	m
		$N = 2.6 \div 0.25$	10.4	枚
		$W = 1.5 \times 10.4 \times 14.8 / 1000$	0.23	t
切梁		$N = 1.3 \times 5 / 10 \times 1$	0.7	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.3 \times 2 \times (15.3 / 2.0) / 1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

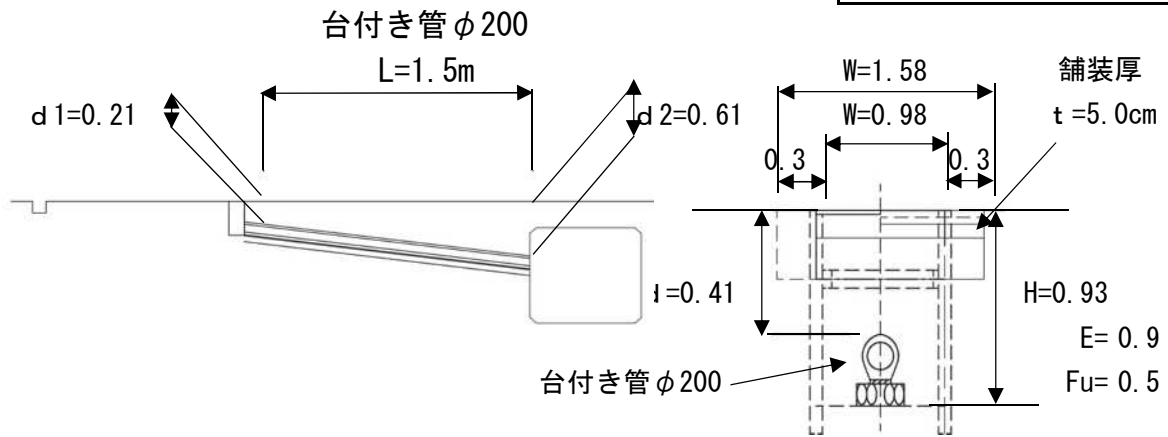
整理番号 :	34
路線番号 :	1008481
右 取付管	1



種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.1 \times 1.3$	1.4	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.7 \times 1.3$	0.9	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.3 \times 2$	2.6	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.3$	1.3	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.3 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.3	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.3 \times 51.5 / 2500$	0.03	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		1.3	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.3$	1.3	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.3$	1.3	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.3 \times 2$	2.6	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.3 \times 0.3 \times 2$	0.8	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.3 \times 0.03 + 0.8 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.3$	2.1	m <sup>2</sup>
区画線				m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 1.3 \times 2$	2.6	m
		$N = 2.6 \div 0.25$	10.4	枚
		$W = 1.5 \times 10.4 \times 14.8 / 1000$	0.23	t
切梁		$N = 1.3 \times 5 / 10 \times 1$	0.7	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.3 \times 2 \times (15.3 / 2.0) / 1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

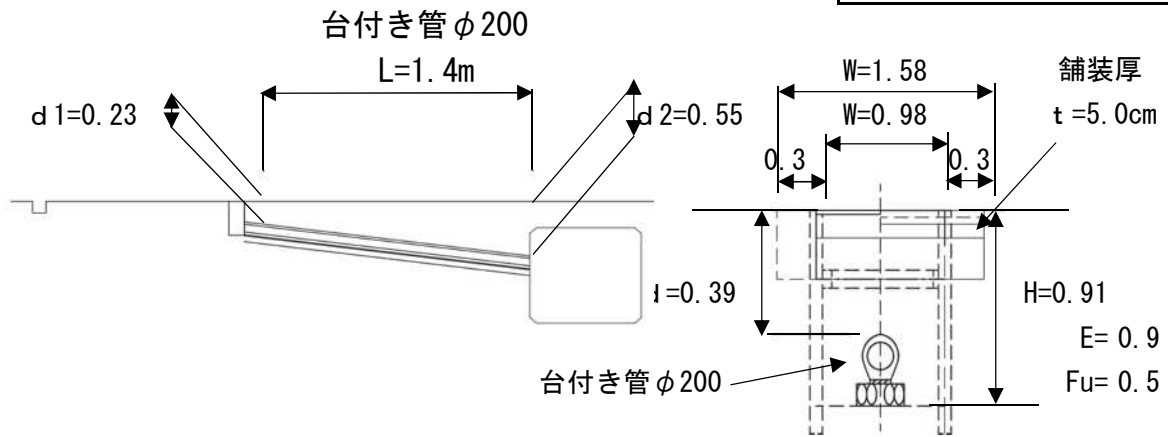


整理番号：	35
路線番号：	1008482
右 取付管	3



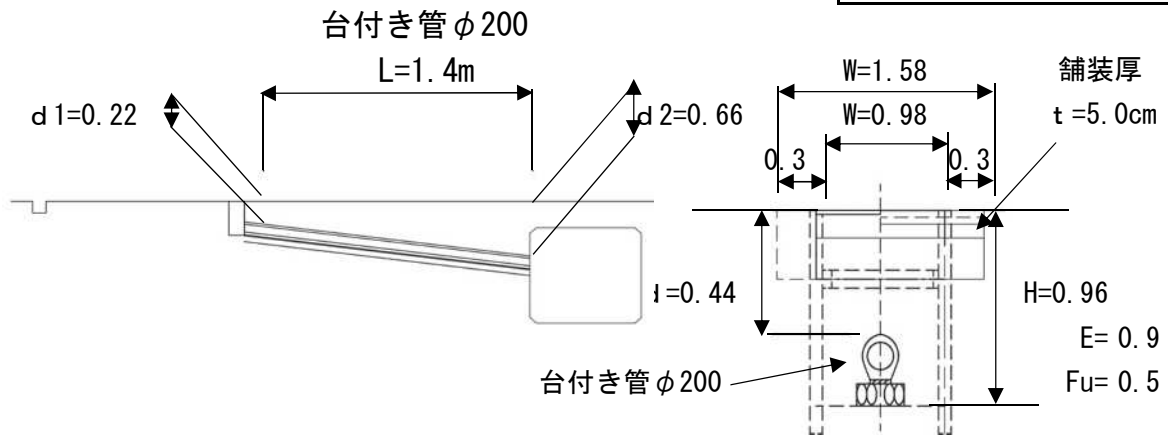
種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 0.9 \times 1.5$	1.4	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.5 \times 1.5$	0.8	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.5 \times 2$	3.0	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.5$	1.5	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.5 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.5	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.5 \times 51.5 / 2500$	0.03	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		1.5	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.5$	1.5	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.5$	1.5	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.5 \times 2$	3.0	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.5 \times 0.3 \times 2$	0.9	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.5 \times 0.03 + 0.9 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.5$	2.4	m <sup>2</sup>
区画線	白色、15cm	$L = 1.58 \times 1$	1.6	m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 1.5 \times 2$	3.0	m
		$N = 3.0 \div 0.25$	12.0	枚
		$W = 1.5 \times 12.0 \times 14.8 / 1000$	0.27	t
切梁		$N = 1.5 \times 5 / 10 \times 1$	0.8	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.5 \times 2 \times (15.3 / 2.0) / 1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

整理番号：	35
路線番号：	1008482
左 取付管	4



種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 0.9 \times 1.4$	1.3	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.5 \times 1.4$	0.7	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.4 \times 2$	2.8	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.4$	1.4	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.4 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.4	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.4 \times 51.5/2500$	0.03	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		1.4	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.4$	1.4	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.4$	1.4	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.4 \times 2$	2.8	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.4 \times 0.3 \times 2$	0.8	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.4 \times 0.03 + 0.8 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.4$	2.2	m <sup>2</sup>
区画線	白色、15cm	$L = 1.58 \times 1$	1.6	m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 1.4 \times 2$	2.8	m
		$N = 2.8 \div 0.25$	11.2	枚
		$W = 1.5 \times 11.2 \times 14.8/1000$	0.25	t
切梁		$N = 1.4 \times 5/10 \times 1$	0.7	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.4 \times 2 \times (15.3/2.0)/1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

整理番号：	35
路線番号：	1008482
左 取付管	6



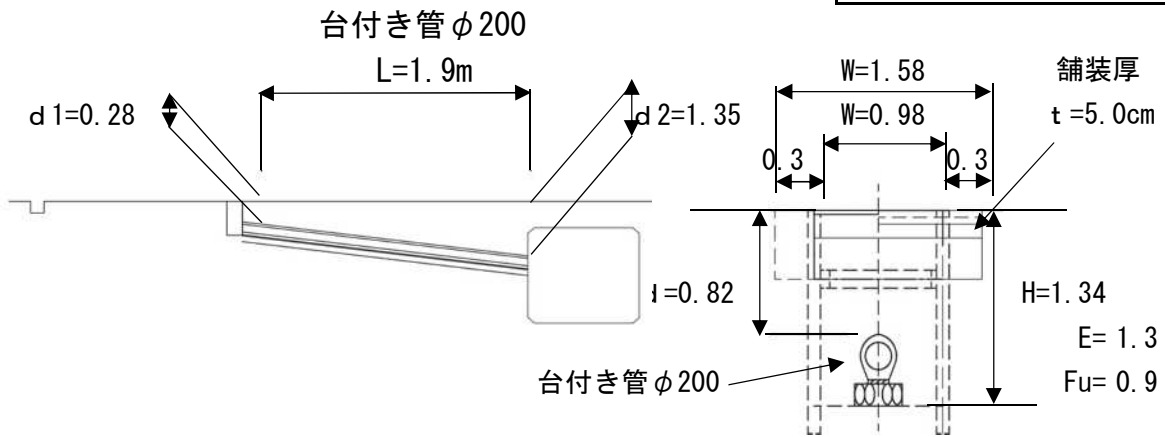
種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 0.9 \times 1.4$	1.3	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.5 \times 1.4$	0.7	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.4 \times 2$	2.8	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.4$	1.4	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.4 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.4	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.4 \times 51.5/2500$	0.03	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		1.4	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.4$	1.4	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.4$	1.4	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.4 \times 2$	2.8	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.4 \times 0.3 \times 2$	0.8	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.4 \times 0.03 + 0.8 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.4$	2.2	m <sup>2</sup>
区画線	白色、15cm	$L = 1.58 \times 1$	1.6	m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 1.4 \times 2$	2.8	m
		$N = 2.8 \div 0.25$	11.2	枚
		$W = 1.5 \times 11.2 \times 14.8/1000$	0.25	t
切梁		$N = 1.4 \times 5/10 \times 1$	0.7	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.4 \times 2 \times (15.3/2.0)/1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m



整理番号： 38

路線番号： 1008485~1008486

左 取付管 3

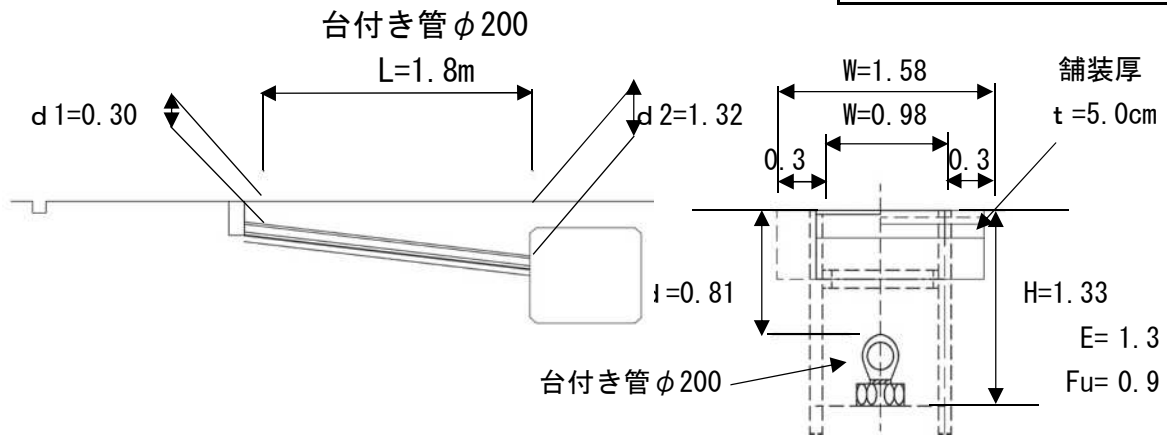


種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.3 \times 1.9$	2.5	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.9 \times 1.9$	1.7	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.9 \times 2$	3.8	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.9$	1.9	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.9 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.9	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.9 \times 51.5 / 2500$	0.04	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		1.9	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.9$	1.9	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.9$	1.9	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.9 \times 2$	3.8	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.9 \times 0.3 \times 2$	1.1	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.9 \times 0.03 + 1.1 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.9$	3.0	m <sup>2</sup>
区画線	記号、15cm換算	$L = 3.4$	3.4	m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=2000	$L = 1.9 \times 2$	3.8	m
		$N = 3.8 \div 0.25$	15.2	枚
		$W = 2.0 \times 15.2 \times 14.8 / 1000$	0.45	t
切梁		$N = 1.9 \times 5 / 10 \times 1$	1.0	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.9 \times 2 \times (15.3 / 2.0) / 1000$	0.03	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

整理番号 : 38

路線番号 : 1008485~1008486

右 取付管 4

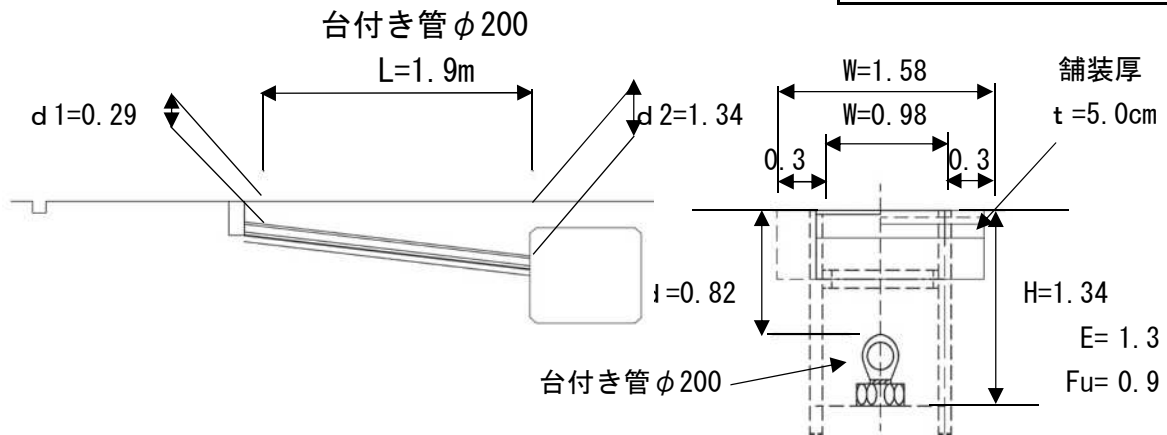


種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.3 \times 1.8$	2.3	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.9 \times 1.8$	1.6	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.8 \times 2$	3.6	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.8$	1.8	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.8 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.8	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.8 \times 51.5 / 2500$	0.04	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		1.8	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.8$	1.8	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.8$	1.8	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.8 \times 2$	3.6	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.8 \times 0.3 \times 2$	1.1	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.8 \times 0.03 + 1.1 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.8$	2.8	m <sup>2</sup>
区画線				m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=2000	$L = 1.8 \times 2$	3.6	m
		$N = 3.6 \div 0.25$	14.4	枚
		$W = 2.0 \times 14.4 \times 14.8 / 1000$	0.43	t
切梁		$N = 1.8 \times 5 / 10 \times 1$	0.9	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.8 \times 2 \times (15.3 / 2.0) / 1000$	0.03	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

整理番号 : 38

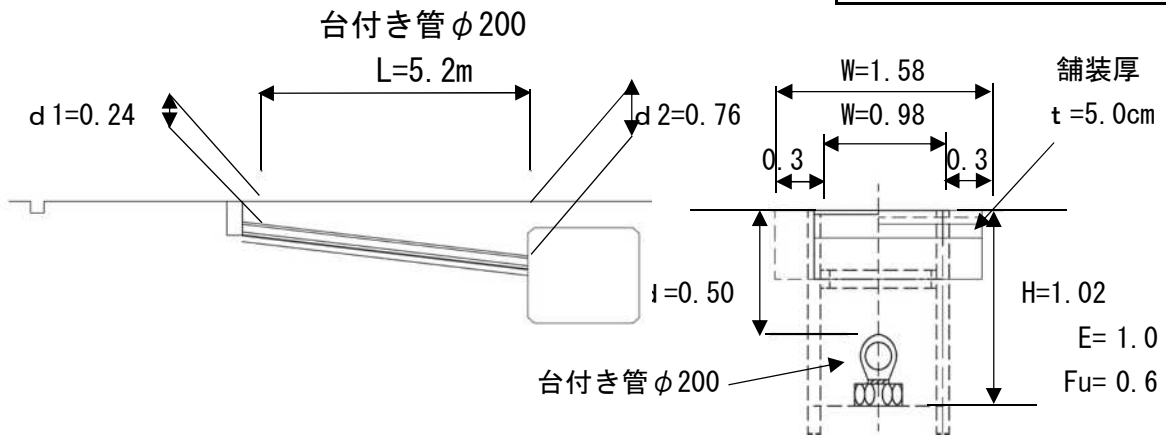
路線番号 : 1008485~1008486

右 取付管 7



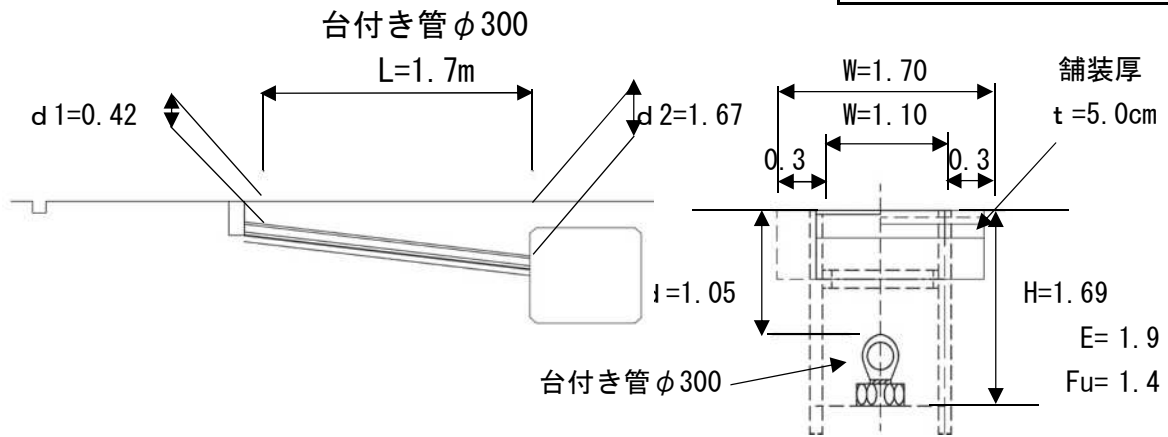
種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.3 \times 1.9$	2.5	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.9 \times 1.9$	1.7	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.9 \times 2$	3.8	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.9$	1.9	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.9 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.9	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.9 \times 51.5 / 2500$	0.04	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		1.9	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.9$	1.9	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.9$	1.9	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.9 \times 2$	3.8	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.9 \times 0.3 \times 2$	1.1	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.9 \times 0.03 + 1.1 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.9$	3.0	m <sup>2</sup>
区画線				m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=2000	$L = 1.9 \times 2$	3.8	m
		$N = 3.8 \div 0.25$	15.2	枚
		$W = 2.0 \times 15.2 \times 14.8 / 1000$	0.45	t
切梁		$N = 1.9 \times 5 / 10 \times 1$	1.0	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.9 \times 2 \times (15.3 / 2.0) / 1000$	0.03	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

整理番号： 46  
 路線番号： 1008698  
 右 取付管 2



種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.0 \times 5.2$	5.2	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.6 \times 5.2$	3.1	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 5.2 \times 2$	10.4	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 5.2$	5.1	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 5.1 \times 0.05$	0.3	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		5.2	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 5.2 \times 51.5 / 2500$	0.1	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		5.2	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 5.2$	5.1	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 5.1$	5.1	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 5.2 \times 2$	10.4	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 5.2 \times 0.3 \times 2$	3.1	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 5.1 \times 0.03 + 3.1 \times 0.05$	0.3	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 5.2$	8.2	m <sup>2</sup>
区画線	白色、15cm	$L = 1.58 \times 1$	1.6	m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 5.2 \times 2$	10.4	m
		$N = 10.4 \div 0.25$	41.6	枚
		$W = 1.5 \times 41.6 \times 14.8 / 1000$	0.92	t
切梁		$N = 5.2 \times 5 / 10 \times 1$	2.6	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 5.2 \times 2 \times (15.3 / 2.0) / 1000$	0.1	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

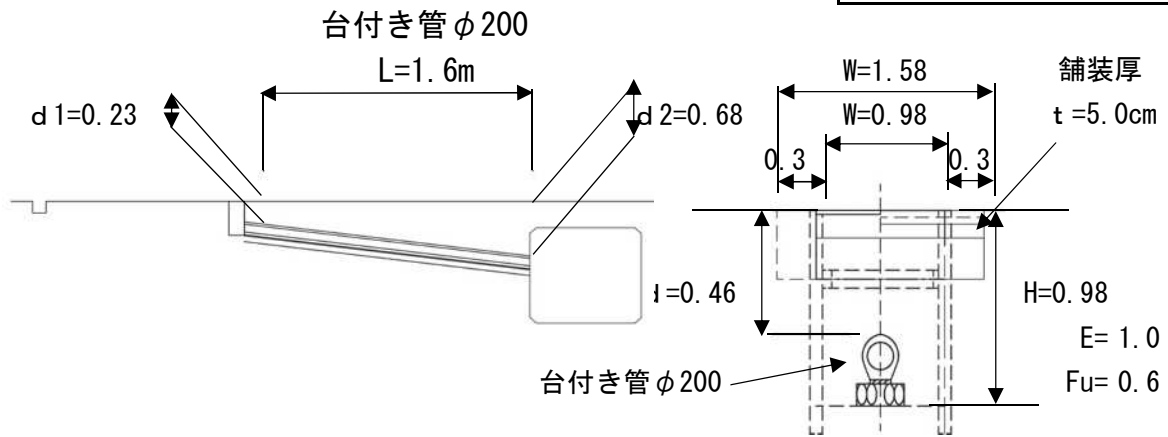
整理番号：	47
路線番号：	1007831
左 取付管	3



種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.9 \times 1.7$	3.2	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 1.4 \times 1.7$	2.4	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.7 \times 2$	3.4	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.10 \times 1.7$	1.9	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.9 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	300		1.7	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.7 \times 82.5/2500$	0.1	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ300		1.7	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 1.10 \times 1.7$	1.9	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.9$	1.9	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.7 \times 2$	3.4	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.7 \times 0.3 \times 2$	1.0	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.9 \times 0.03 + 1.0 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 1.10 + 0.30) \times 1.7$	2.9	m <sup>2</sup>
区画線	白色、15cm	$L = 1.70 \times 1$	1.7	m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=2000	$L = 1.7 \times 2$	3.4	m
		$N = 3.4 \div 0.25$	13.6	枚
		$W = 2.0 \times 13.6 \times 14.8/1000$	0.40	t
切梁		$N = 1.7 \times 5/10 \times 1$	0.9	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.7 \times 2 \times (15.3/2.0)/1000$	0.03	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

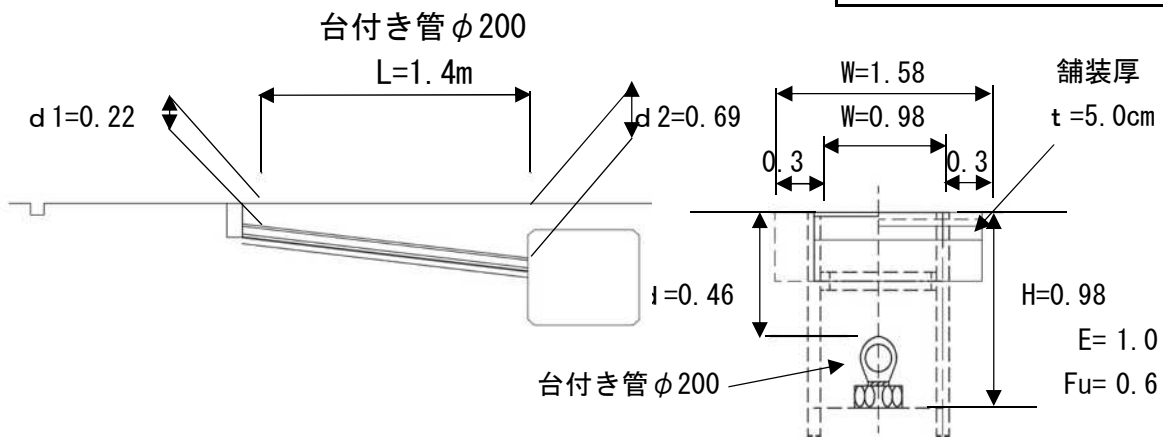


整理番号：	52
路線番号：	1008832~1008938
右 取付管	10



種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.0 \times 1.6$	1.6	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.6 \times 1.6$	1.0	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.6 \times 2$	3.2	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.6$	1.6	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.6 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.6	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.6 \times 51.5/2500$	0.03	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		1.6	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.6$	1.6	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.6$	1.6	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.6 \times 2$	3.2	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.6 \times 0.3 \times 2$	1.0	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.6 \times 0.03 + 1.0 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.6$	2.5	m <sup>2</sup>
区画線	白色、15cm	$L = 1.58 \times 1$	1.6	m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 1.6 \times 2$	3.2	m
		$N = 3.2 \div 0.25$	12.8	枚
		$W = 1.5 \times 12.8 \times 14.8/1000$	0.28	t
切梁		$N = 1.6 \times 5/10 \times 1$	0.8	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.6 \times 2 \times (15.3/2.0)/1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

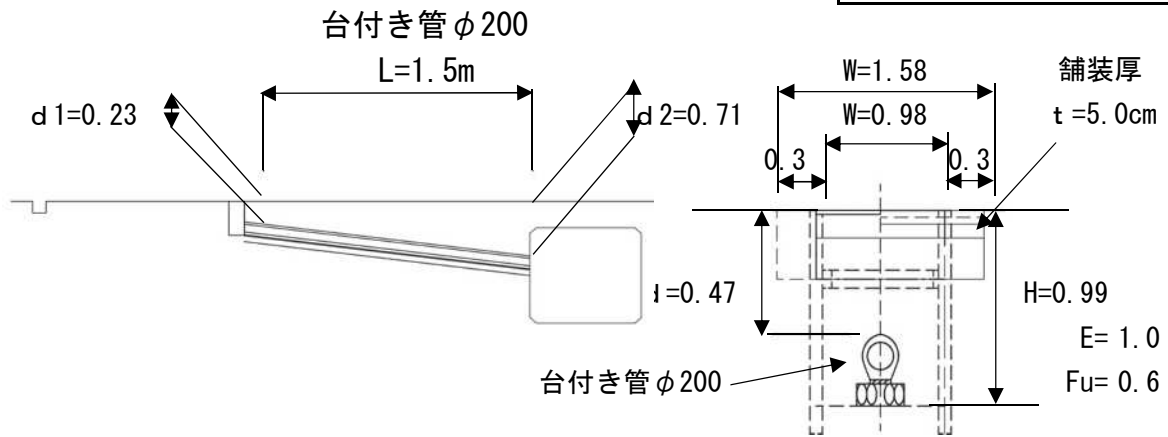
整理番号：	52
路線番号：	1008832~1008938
左 取付管	11



種別	細別	算式	数量	単位
床掘		$V = 1.0 \times 1.4$	1.4	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.6 \times 1.4$	0.8	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.4 \times 2$	2.8	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.4$	1.4	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.4 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.4	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.4 \times 51.5 / 2500$	0.03	m <sup>3</sup>
管渠 (台付管)	φ200		1.4	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.4$	1.4	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.4$	1.4	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.4 \times 2$	2.8	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.4 \times 0.3 \times 2$	0.8	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.4 \times 0.03 + 0.8 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.4$	2.2	m <sup>2</sup>
区画線	白色、15cm	$L = 1.58 \times 1$	1.6	m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 1.4 \times 2$	2.8	m
		$N = 2.8 \div 0.25$	11.2	枚
		$W = 1.5 \times 11.2 \times 14.8 / 1000$	0.25	t
切梁		$N = 1.4 \times 5 / 10 \times 1$	0.7	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.4 \times 2 \times (15.3 / 2.0) / 1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工 (侵入水)				m
断面修復工 (接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

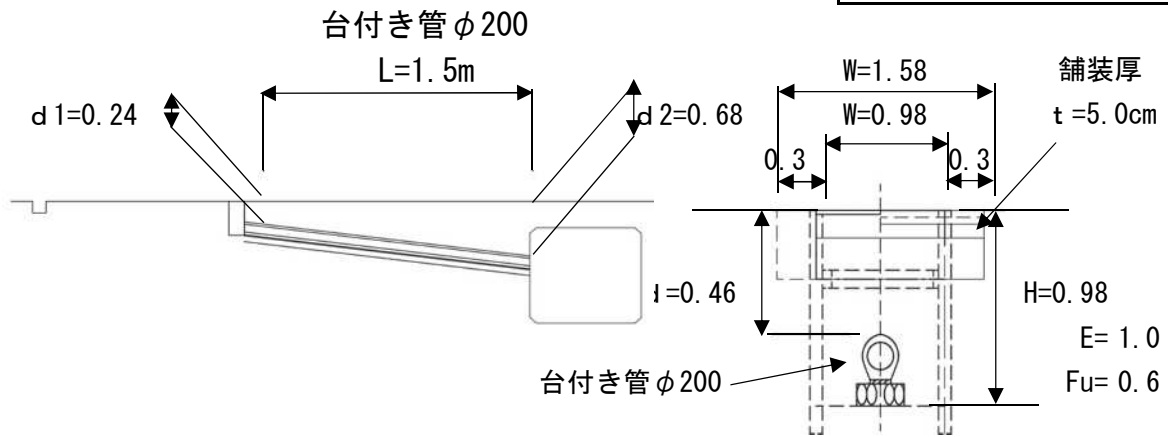


整理番号：	56
路線番号：	1008948
左 取付管	3



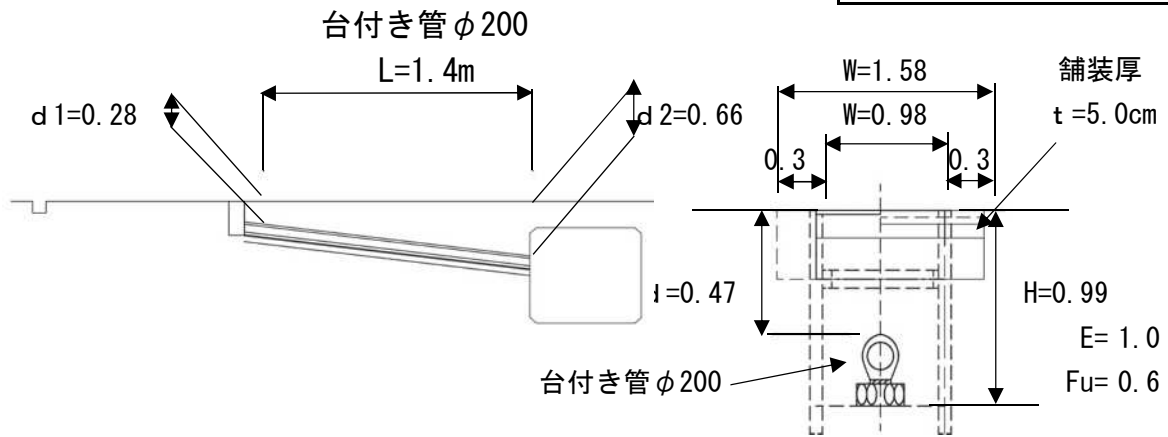
種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.0 \times 1.5$	1.5	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.6 \times 1.5$	0.9	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.5 \times 2$	3.0	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.5$	1.5	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.5 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.5	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.5 \times 51.5 / 2500$	0.03	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		1.5	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.5$	1.5	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.5$	1.5	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.5 \times 2$	3.0	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.5 \times 0.3 \times 2$	0.9	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.5 \times 0.03 + 0.9 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.5$	2.4	m <sup>2</sup>
区画線	白色、15cm	$L = 1.58 \times 1$	1.6	m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 1.5 \times 2$	3.0	m
		$N = 3.0 \div 0.25$	12.0	枚
		$W = 1.5 \times 12.0 \times 14.8 / 1000$	0.27	t
切梁		$N = 1.5 \times 5 / 10 \times 1$	0.8	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.5 \times 2 \times (15.3 / 2.0) / 1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

整理番号：	56
路線番号：	1008948
右 取付管	4



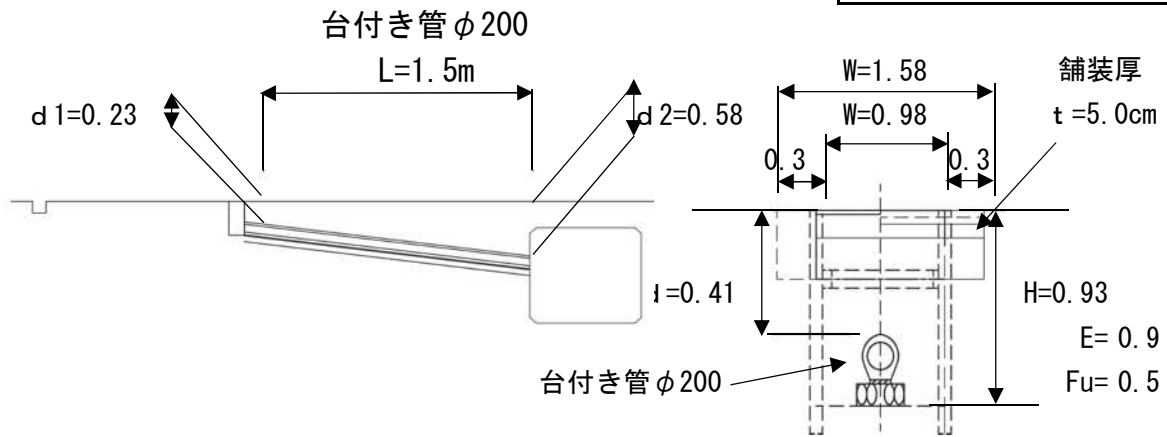
種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.0 \times 1.5$	1.5	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.6 \times 1.5$	0.9	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.5 \times 2$	3.0	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.5$	1.5	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.5 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.5	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.5 \times 51.5 / 2500$	0.03	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		1.5	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.5$	1.5	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.5$	1.5	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.5 \times 2$	3.0	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.5 \times 0.3 \times 2$	0.9	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.5 \times 0.03 + 0.9 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.5$	2.4	m <sup>2</sup>
区画線	白色、15cm	$L = 1.58 \times 1$	1.6	m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 1.5 \times 2$	3.0	m
		$N = 3.0 \div 0.25$	12.0	枚
		$W = 1.5 \times 12.0 \times 14.8 / 1000$	0.27	t
切梁		$N = 1.5 \times 5 / 10 \times 1$	0.8	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.5 \times 2 \times (15.3 / 2.0) / 1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

整理番号：	56
路線番号：	1008948
左 取付管	5



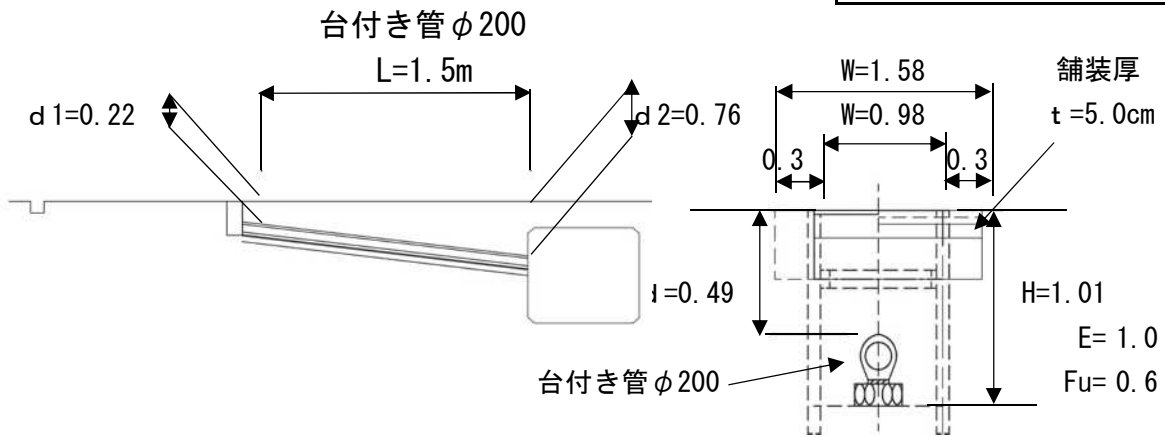
種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.0 \times 1.4$	1.4	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.6 \times 1.4$	0.8	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.4 \times 2$	2.8	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.4$	1.4	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.4 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.4	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.4 \times 51.5/2500$	0.03	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		1.4	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.4$	1.4	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.4$	1.4	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.4 \times 2$	2.8	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.4 \times 0.3 \times 2$	0.8	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.4 \times 0.03 + 0.8 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.4$	2.2	m <sup>2</sup>
区画線	白色、15cm	$L = 1.58 \times 1$	1.6	m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 1.4 \times 2$	2.8	m
		$N = 2.8 \div 0.25$	11.2	枚
		$W = 1.5 \times 11.2 \times 14.8/1000$	0.25	t
切梁		$N = 1.4 \times 5/10 \times 1$	0.7	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.4 \times 2 \times (15.3/2.0)/1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

整理番号：	56
路線番号：	1008948
右 取付管	6



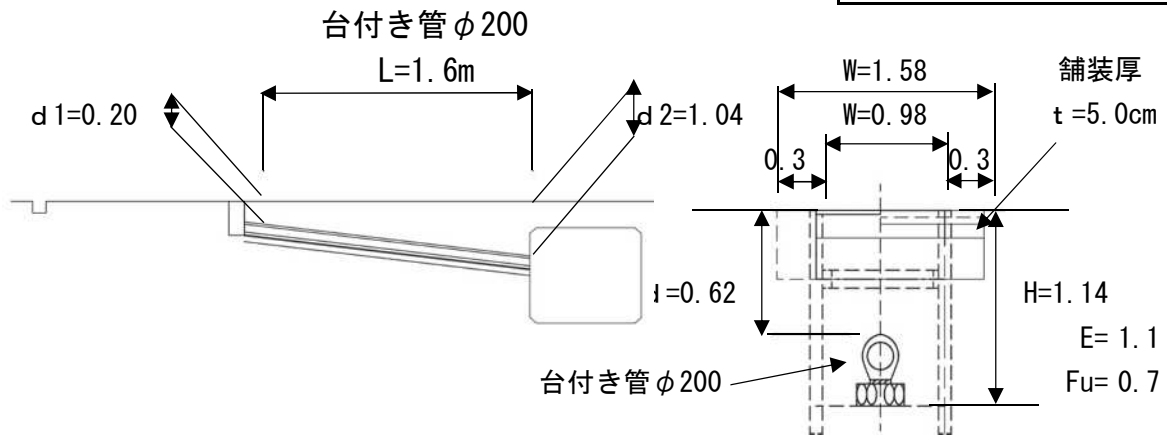
種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 0.9 \times 1.5$	1.4	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.5 \times 1.5$	0.8	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.5 \times 2$	3.0	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.5$	1.5	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.5 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.5	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.5 \times 51.5 / 2500$	0.03	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		1.5	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.5$	1.5	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.5$	1.5	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.5 \times 2$	3.0	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.5 \times 0.3 \times 2$	0.9	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.5 \times 0.03 + 0.9 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.5$	2.4	m <sup>2</sup>
区画線	白色、15cm	$L = 1.58 \times 1$	1.6	m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 1.5 \times 2$	3.0	m
		$N = 3.0 \div 0.25$	12.0	枚
		$W = 1.5 \times 12.0 \times 14.8 / 1000$	0.27	t
切梁		$N = 1.5 \times 5 / 10 \times 1$	0.8	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.5 \times 2 \times (15.3 / 2.0) / 1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

整理番号：	57
路線番号：	1008979
右 取付管	4



種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.0 \times 1.5$	1.5	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.6 \times 1.5$	0.9	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.5 \times 2$	3.0	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.5$	1.5	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.5 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.5	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.5 \times 51.5 / 2500$	0.03	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		1.5	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.5$	1.5	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.5$	1.5	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.5 \times 2$	3.0	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.5 \times 0.3 \times 2$	0.9	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.5 \times 0.03 + 0.9 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.5$	2.4	m <sup>2</sup>
区画線	白色、15cm	$L = 1.58 \times 1$	1.6	m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 1.5 \times 2$	3.0	m
		$N = 3.0 \div 0.25$	12.0	枚
		$W = 1.5 \times 12.0 \times 14.8 / 1000$	0.27	t
切梁		$N = 1.5 \times 5 / 10 \times 1$	0.8	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.5 \times 2 \times (15.3 / 2.0) / 1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

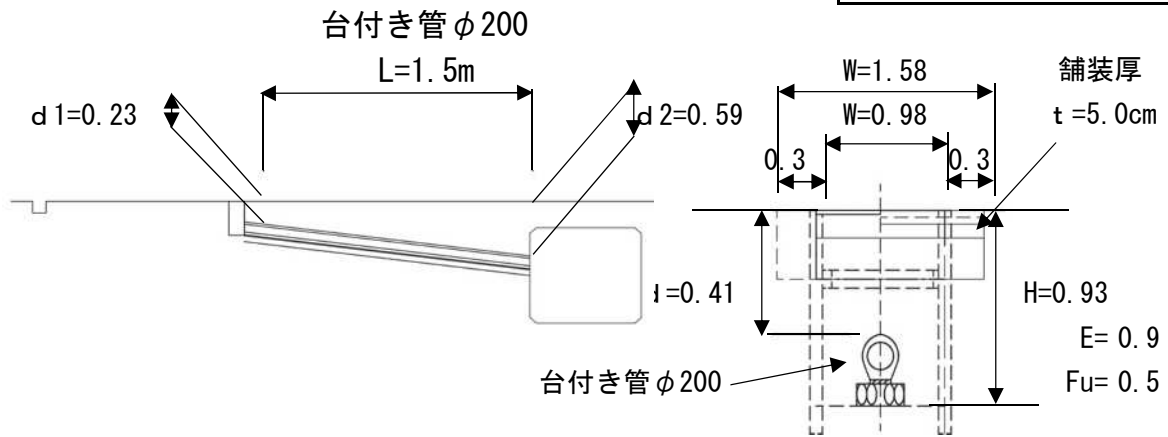
整理番号：	58
路線番号：	1008986
右 取付管	2



種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.1 \times 1.6$	1.8	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.7 \times 1.6$	1.1	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.6 \times 2$	3.2	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.6$	1.6	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.6 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.6	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.6 \times 51.5/2500$	0.03	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		1.6	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.6$	1.6	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.6$	1.6	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.6 \times 2$	3.2	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.6 \times 0.3 \times 2$	1.0	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.6 \times 0.03 + 1.0 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.6$	2.5	m <sup>2</sup>
区画線	白色、15cm	$L = 1.58 \times 1$	1.6	m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 1.6 \times 2$	3.2	m
		$N = 3.2 \div 0.25$	12.8	枚
		$W = 1.5 \times 12.8 \times 14.8/1000$	0.28	t
切梁		$N = 1.6 \times 5/10 \times 1$	0.8	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.6 \times 2 \times (15.3/2.0)/1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

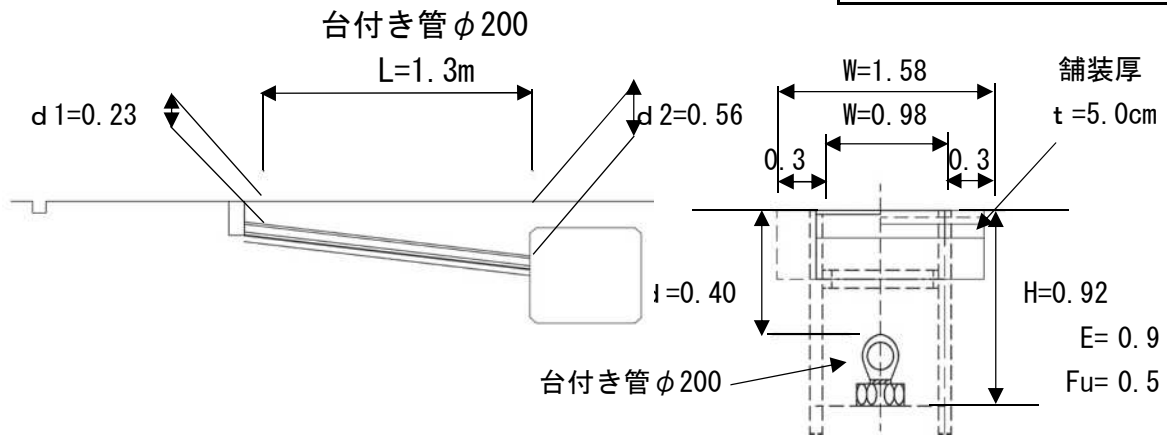


整理番号 :	61
路線番号 :	1009274
左 取付管	6



種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 0.9 \times 1.5$	1.4	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.5 \times 1.5$	0.8	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.5 \times 2$	3.0	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.5$	1.5	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.5 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.5	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.5 \times 51.5 / 2500$	0.03	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		1.5	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.5$	1.5	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.5$	1.5	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.5 \times 2$	3.0	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.5 \times 0.3 \times 2$	0.9	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.5 \times 0.03 + 0.9 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.5$	2.4	m <sup>2</sup>
区画線				m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 1.5 \times 2$	3.0	m
		$N = 3.0 \div 0.25$	12.0	枚
		$W = 1.5 \times 12.0 \times 14.8 / 1000$	0.27	t
切梁		$N = 1.5 \times 5 / 10 \times 1$	0.8	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.5 \times 2 \times (15.3 / 2.0) / 1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

整理番号：	61
路線番号：	1009274
右 取付管	7



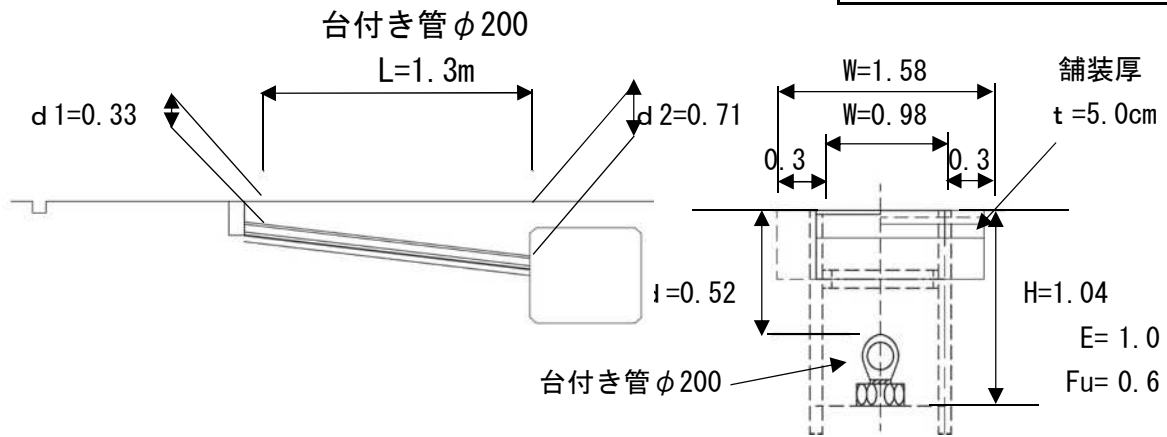
種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 0.9 \times 1.3$	1.2	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.5 \times 1.3$	0.7	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.3 \times 2$	2.6	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.3$	1.3	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.3 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.3	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.3 \times 51.5 / 2500$	0.03	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		1.3	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.3$	1.3	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.3$	1.3	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.3 \times 2$	2.6	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.3 \times 0.3 \times 2$	0.8	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.3 \times 0.03 + 0.8 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.3$	2.1	m <sup>2</sup>
区画線				m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 1.3 \times 2$	2.6	m
		$N = 2.6 \div 0.25$	10.4	枚
		$W = 1.5 \times 10.4 \times 14.8 / 1000$	0.23	t
切梁		$N = 1.3 \times 5 / 10 \times 1$	0.7	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.3 \times 2 \times (15.3 / 2.0) / 1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m



整理番号 : 62

路線番号 : 1009275~1009282

右 取付管 1

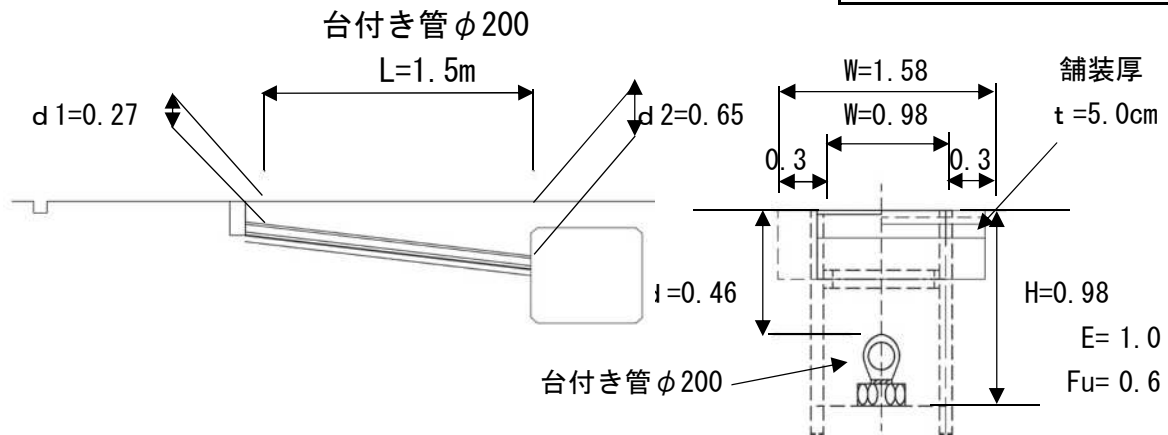


種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.0 \times 1.3$	1.3	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.6 \times 1.3$	0.8	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.3 \times 2$	2.6	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.3$	1.3	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.3 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.3	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.3 \times 51.5 / 2500$	0.03	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		1.3	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.3$	1.3	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.3$	1.3	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.3 \times 2$	2.6	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.3 \times 0.3 \times 2$	0.8	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.3 \times 0.03 + 0.8 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.3$	2.1	m <sup>2</sup>
区画線				m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 1.3 \times 2$	2.6	m
		$N = 2.6 \div 0.25$	10.4	枚
		$W = 1.5 \times 10.4 \times 14.8 / 1000$	0.23	t
切梁		$N = 1.3 \times 5 / 10 \times 1$	0.7	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.3 \times 2 \times (15.3 / 2.0) / 1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

整理番号： 62

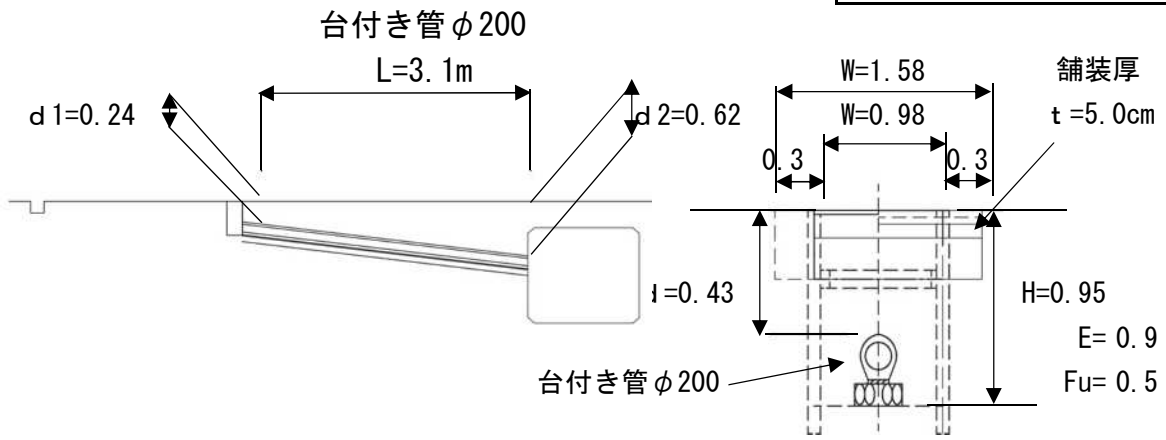
路線番号： 1009275~1009282

左 取付管 2



種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.0 \times 1.5$	1.5	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.6 \times 1.5$	0.9	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.5 \times 2$	3.0	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 1.5$	1.5	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.5 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		1.5	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.5 \times 51.5 / 2500$	0.03	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ 200		1.5	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 1.5$	1.5	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.5$	1.5	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.5 \times 2$	3.0	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.5 \times 0.3 \times 2$	0.9	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.5 \times 0.03 + 0.9 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 1.5$	2.4	m <sup>2</sup>
区画線				m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板(LSP-2)	H=1500	$L = 1.5 \times 2$	3.0	m
		$N = 3.0 \div 0.25$	12.0	枚
		$W = 1.5 \times 12.0 \times 14.8 / 1000$	0.27	t
切梁		$N = 1.5 \times 5 / 10 \times 1$	0.8	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.5 \times 2 \times (15.3 / 2.0) / 1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

整理番号 :	62
路線番号 :	1009275~1009282
左 取付管	5

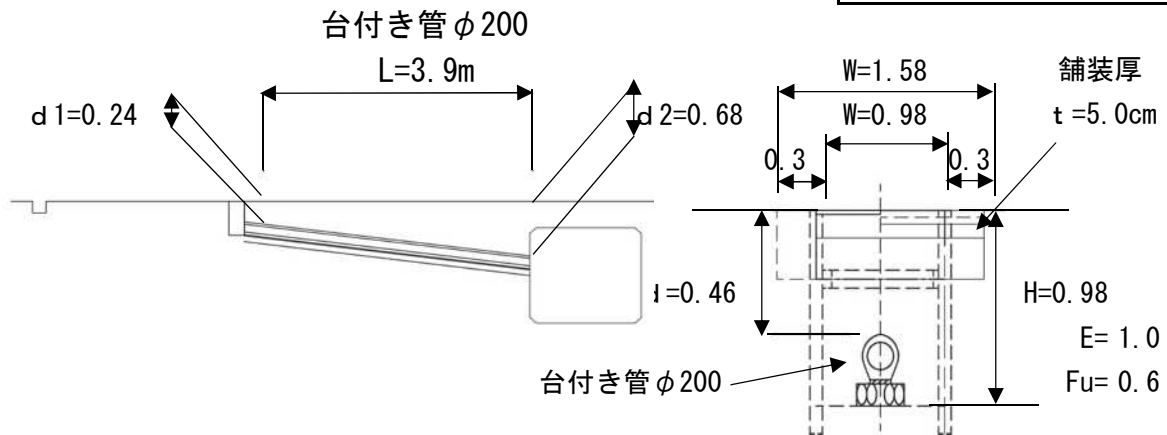


種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 0.9 \times 3.1$	2.8	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.5 \times 3.1$	1.6	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 3.1 \times 2$	6.2	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 3.1$	3.0	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 3.0 \times 0.05$	0.2	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		3.1	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 3.1 \times 51.5/2500$	0.1	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		3.1	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 3.1$	3.0	m <sup>2</sup>
【本舗装復旧】				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 3.0$	3.0	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 3.1 \times 2$	6.2	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 3.1 \times 0.3 \times 2$	1.9	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 3.0 \times 0.03 + 1.9 \times 0.05$	0.2	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 3.1$	4.9	m <sup>2</sup>
区画線	白色、15cm	$L = 2.4$	2.4	m
【仮設工】				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 3.1 \times 2$	6.2	m
		$N = 6.2 \div 0.25$	24.8	枚
		$W = 1.5 \times 24.8 \times 14.8/1000$	0.55	t
切梁		$N = 3.1 \times 5/10 \times 1$	1.6	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 3.1 \times 2 \times (15.3/2.0)/1000$	0.05	t
【補修】				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

整理番号 : 62

路線番号 : 1009275~1009282

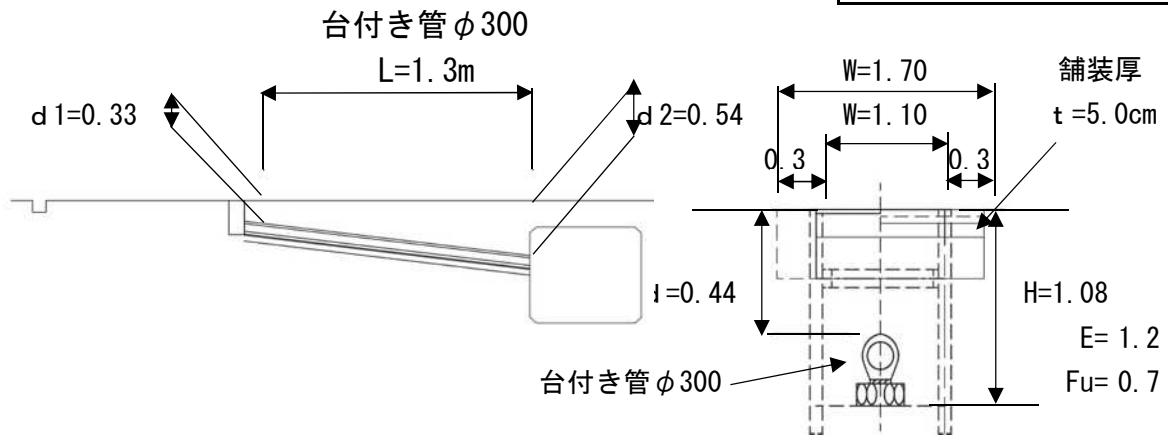
右 取付管 6



種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.0 \times 3.9$	3.9	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.6 \times 3.9$	2.3	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 3.9 \times 2$	7.8	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 0.98 \times 3.9$	3.8	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 3.8 \times 0.05$	0.2	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	200		3.9	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 3.9 \times 51.5 / 2500$	0.1	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ200		3.9	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 0.98 \times 3.9$	3.8	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 3.8$	3.8	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 3.9 \times 2$	7.8	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 3.9 \times 0.3 \times 2$	2.3	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 3.8 \times 0.03 + 2.3 \times 0.05$	0.2	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 0.98 + 0.30) \times 3.9$	6.2	m <sup>2</sup>
区画線	白色、15cm	$L = 2.4$	2.4	m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 3.9 \times 2$	7.8	m
		$N = 7.8 \div 0.25$	31.2	枚
		$W = 1.5 \times 31.2 \times 14.8 / 1000$	0.69	t
切梁		$N = 3.9 \times 5 / 10 \times 1$	2.0	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 3.9 \times 2 \times (15.3 / 2.0) / 1000$	0.06	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m



整理番号 : 74  
 路線番号 : 1010003~1008814  
 右 取付管 4

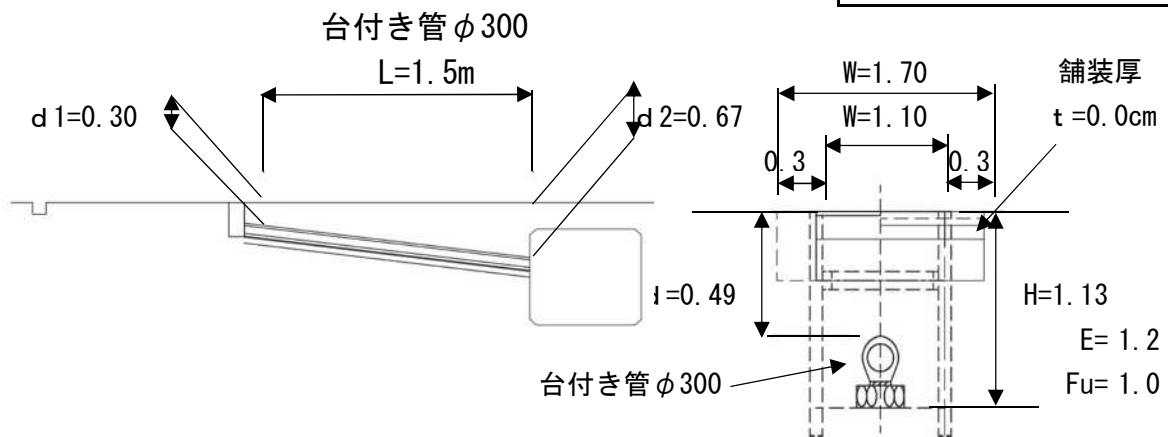


種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.2 \times 1.3$	1.6	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 0.7 \times 1.3$	0.9	m <sup>3</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.3 \times 2$	2.6	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.10 \times 1.3$	1.4	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.4 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	300		1.3	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.3 \times 82.5 / 2500$	0.04	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ300		1.3	m
仮舗装復旧	3-12-10	$A = 1.10 \times 1.3$	1.4	m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去	t=3.0cm	$A = 1.4$	1.4	m <sup>2</sup>
舗装版切断	t=5.0cm	$L = 1.3 \times 2$	2.6	m
舗装版破碎	t=5.0cm	$A = 1.3 \times 0.3 \times 2$	0.8	m <sup>2</sup>
殻処分		$W = 1.4 \times 0.03 + 0.8 \times 0.05$	0.1	m <sup>3</sup>
アスファルト舗装	5-10-10	$A = (0.30 + 1.10 + 0.30) \times 1.3$	2.2	m <sup>2</sup>
カラー舗装		$A = 1.0$	1.0	m <sup>2</sup>
区画線	白色、15cm	$L = 1.70 \times 1$	1.7	m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 1.3 \times 2$	2.6	m
		$N = 2.6 \div 0.25$	10.4	枚
		$W = 1.5 \times 10.4 \times 14.8 / 1000$	0.23	t
切梁		$N = 1.3 \times 5 / 10 \times 1$	0.7	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.3 \times 2 \times (15.3 / 2.0) / 1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m

整理番号： 74

路線番号： 1010003~1008814

右 取付管 15

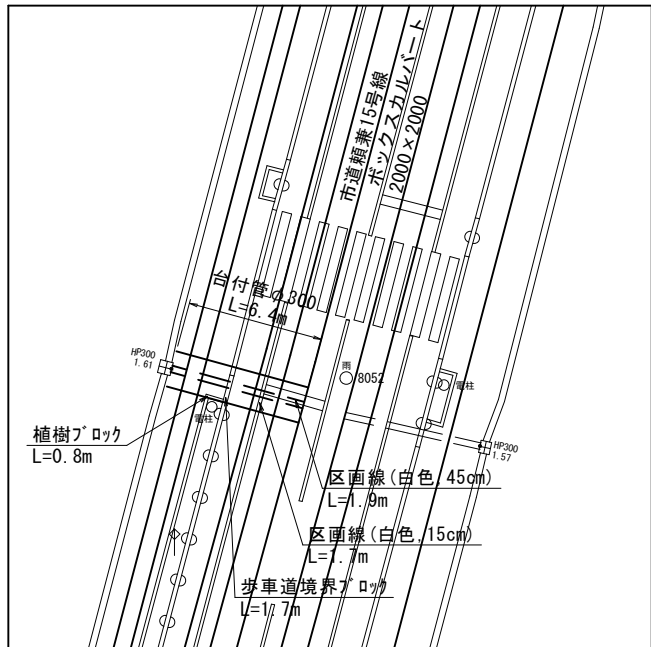


種 別	細 別	算 式	数 量	単 位
床掘		$V = 1.2 \times 1.5$	1.8	m <sup>3</sup>
埋戻		$V = 1.0 \times 1.5$	1.5	m <sup>3</sup>
舗装版切断				m
舗装版破碎				m <sup>2</sup>
殻処分				m <sup>3</sup>
既存管撤去 (HP管)	300		1.5	m
殻処分	鉄筋コンクリート	$W = 1.5 \times 82.5 / 2500$	0.1	m <sup>3</sup>
管渠(台付管)	φ300		1.5	m
仮舗装復旧				m <sup>2</sup>
<b>【本舗装復旧】</b>				
仮舗装撤去				m <sup>2</sup>
舗装版切断				m
舗装版破碎				m <sup>2</sup>
殻処分				m <sup>3</sup>
アスファルト舗装				m <sup>2</sup>
カラー舗装				m <sup>2</sup>
区画線				m
<b>【仮設工】</b>				
軽量鋼矢板 (LSP-2)	H=1500	$L = 1.5 \times 2$	3.0	m
		$N = 3.0 \div 0.25$	12.0	枚
		$W = 1.5 \times 12.0 \times 14.8 / 1000$	0.27	t
切梁		$N = 1.5 \times 5 / 10 \times 1$	0.8	本
腹起し (アルミ製)	130×70-2000	$W = 1.5 \times 2 \times (15.3 / 2.0) / 1000$	0.02	t
<b>【補修】</b>				
部分更生工				m <sup>2</sup>
断面修復工(侵入水)				m
断面修復工(接続不良)				m <sup>3</sup>
既設管閉塞充填工				m <sup>3</sup>
突出し管切断				m
殻処分				m



平面図

S=1:250



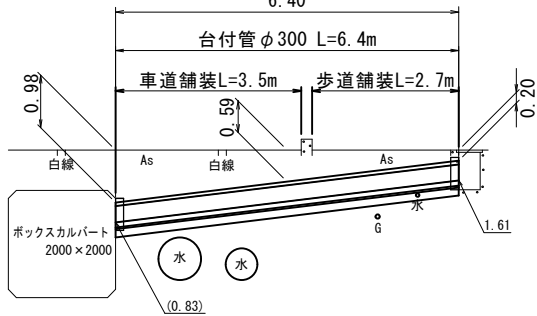
(地下埋設物 凡例)

— 水道	— NTT
— 汚水	— ガス
— 雨水	— MCAT

断面図

(A-A) S=1:100

右取付管2 HP300  
市道頼兼15号線  
6.40

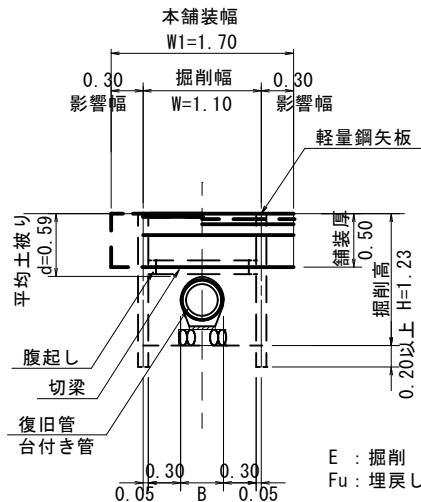


接続コンクリート (1箇所あたり)  
C0=0.04  
型枠=0.3

※ ( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

標準断面図

S=1:50



F: 掘削  
Fu: 埋戻し

位置図

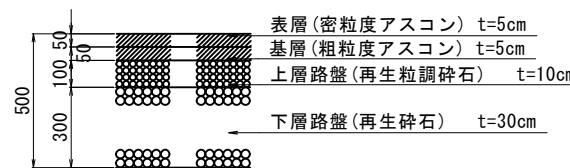
S=1:2500



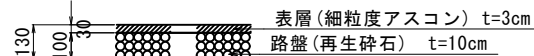
舗装断面図

S=1:20

車道舗装



歩道舗装

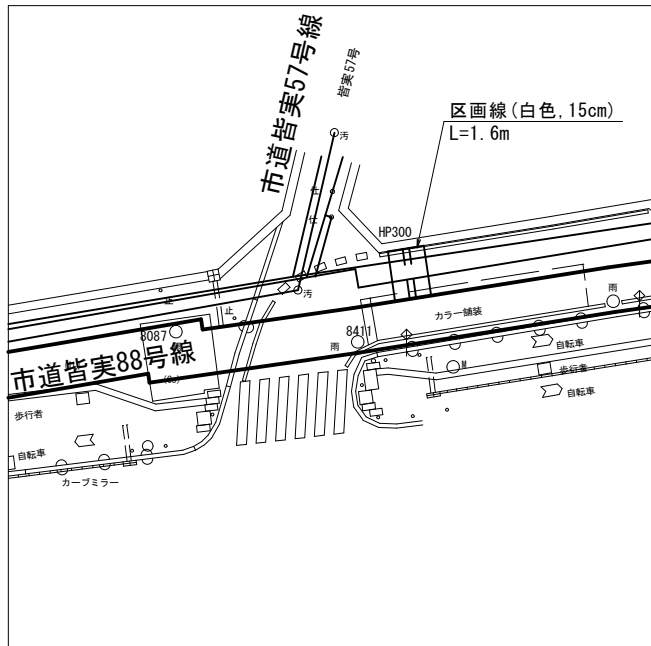


整理番号: 1  
路線番号: 1007831  
右取付管2



平面図

S=1:250

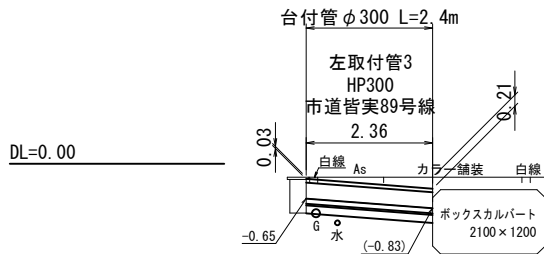


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

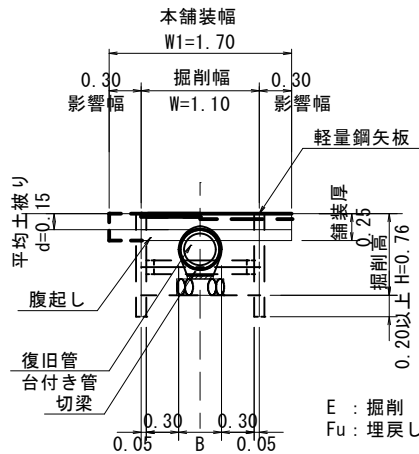
断面図

(A-A) S=1:100



標準断面図

S=1:50



位置図

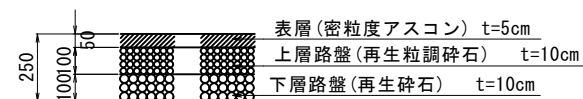
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

車道舗装



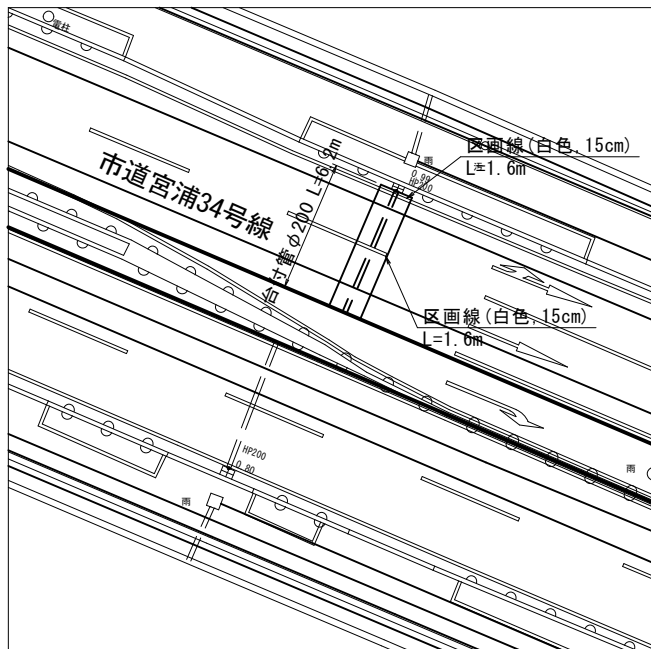
※( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 5
路線番号 : 1007867 ~ 1013578
左取付管3



平面図

S=1:250

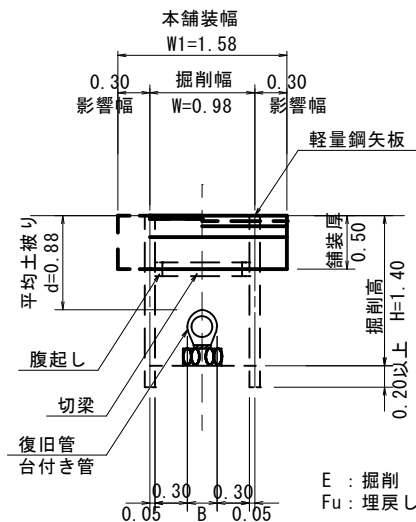


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

標準断面図

S=1:50



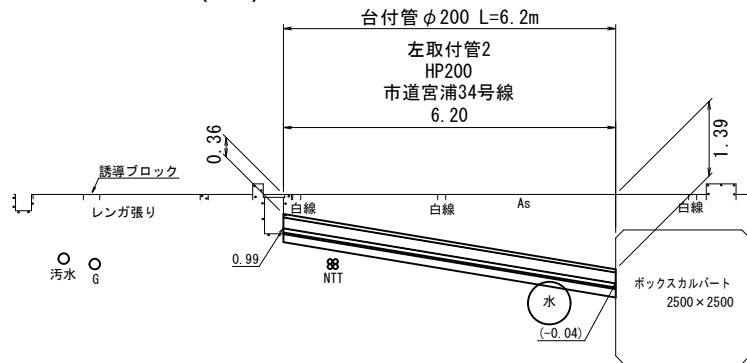
位置図

S=1:2500



断面図

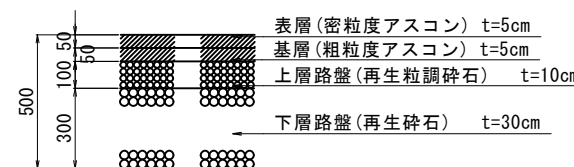
(A-A) S=1:100



舗装断面図

S=1:20

車道舗装



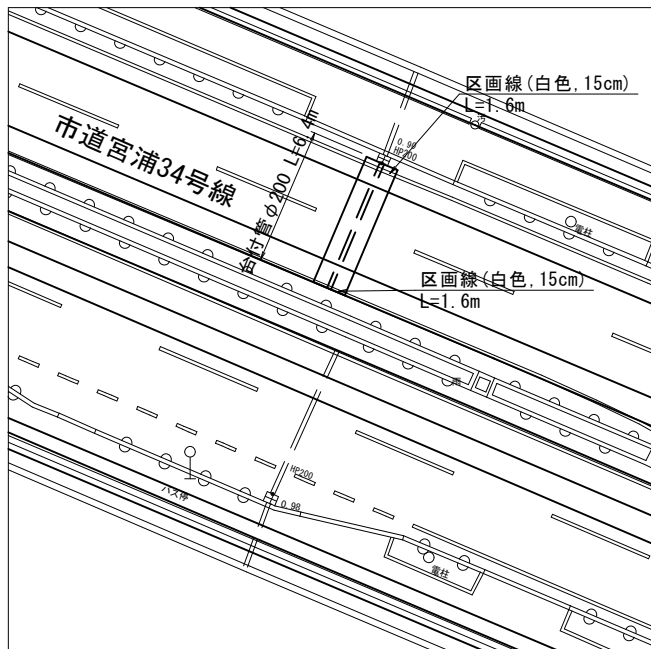
※ ( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工 (掘削) 時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 11
路線番号 : 1008062
左取付管2



平面図

S=1:250

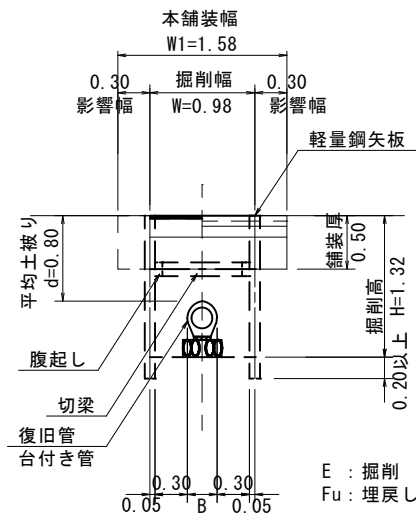


(地下埋設物 凡例)

— 水道	— NTT
— 汚水	— ガス
— 雨水	— MCAT

標準断面図

S=1:50



位置図

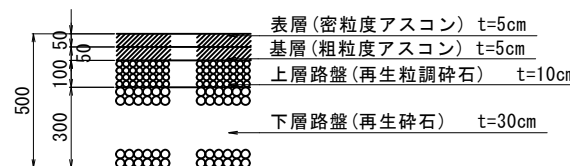
S=1:2500



舗装断面図

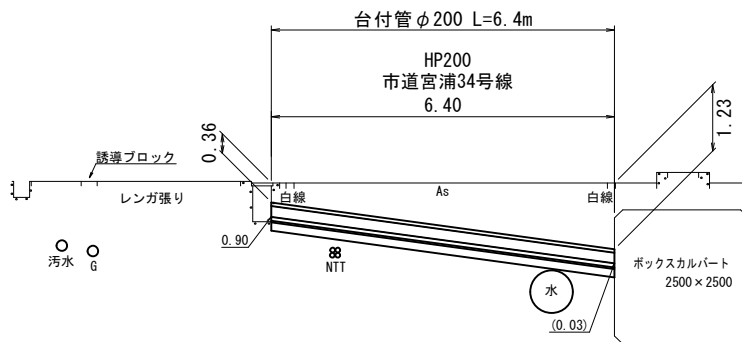
S=1:20

車道舗装



断面図

(A-A) S=1:100



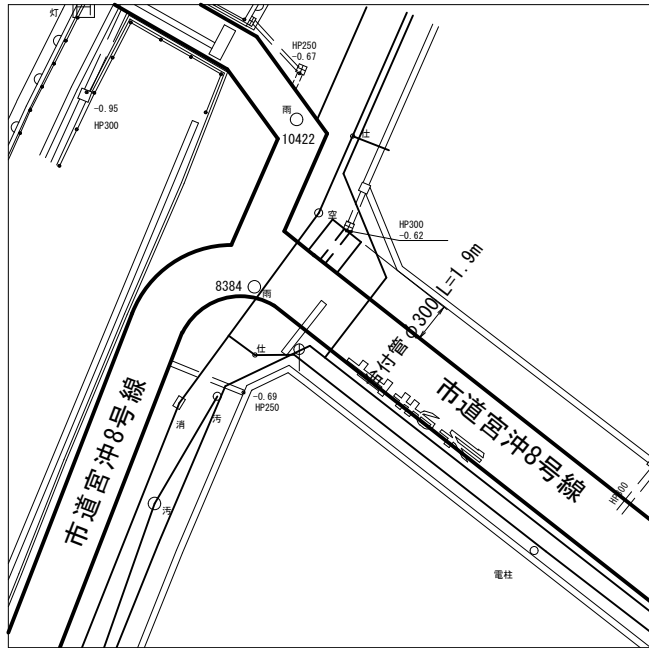
※ ( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 12  
 路線番号 : 1008063  
 左取付管 1



平面図

S=1:250

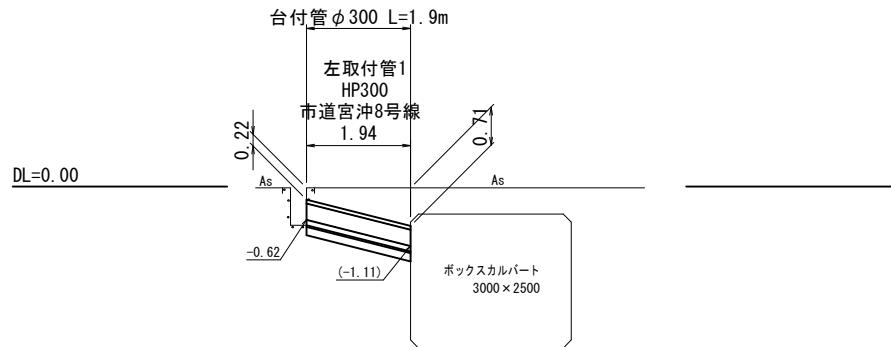


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

断面図

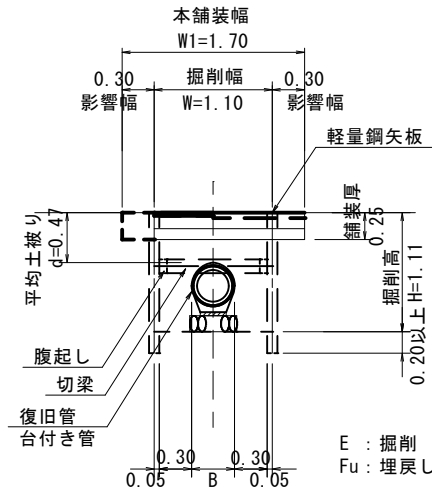
(A-A) S=1:100



※ ( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

標準断面図

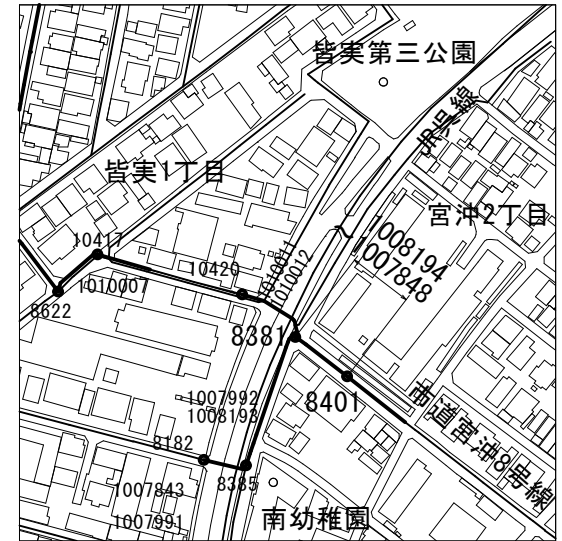
S=1:50



E: 掘削  
 Fu: 埋戻し

位置図

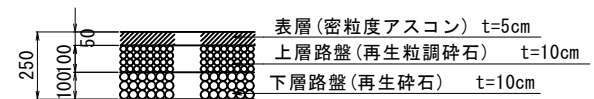
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

車道舗装

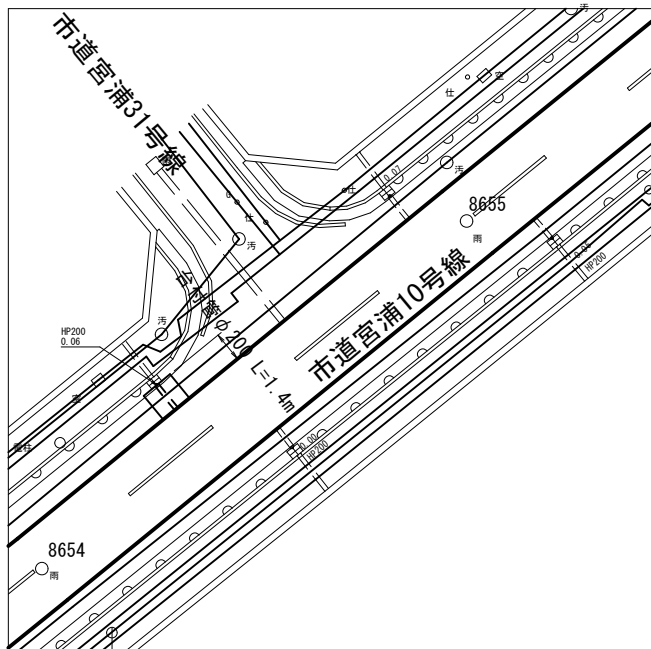


整理番号: 21
路線番号: 1008194 ~1007848
左取付管1



平面図

S=1:250

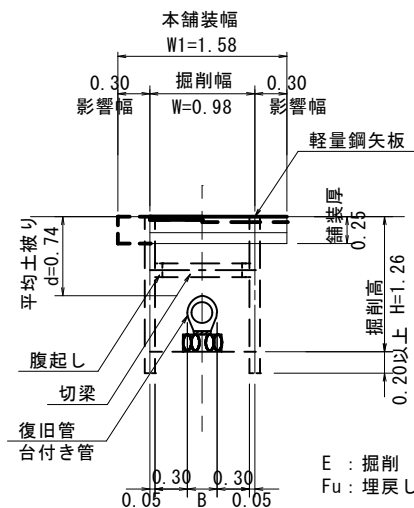


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

標準断面図

S=1:50



位置図

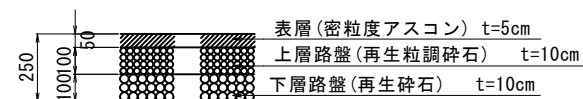
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

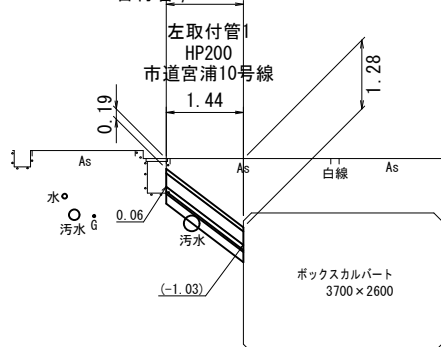
車道舗装



断面図

(A-A) S=1:100

台付管φ200 L=1.4m



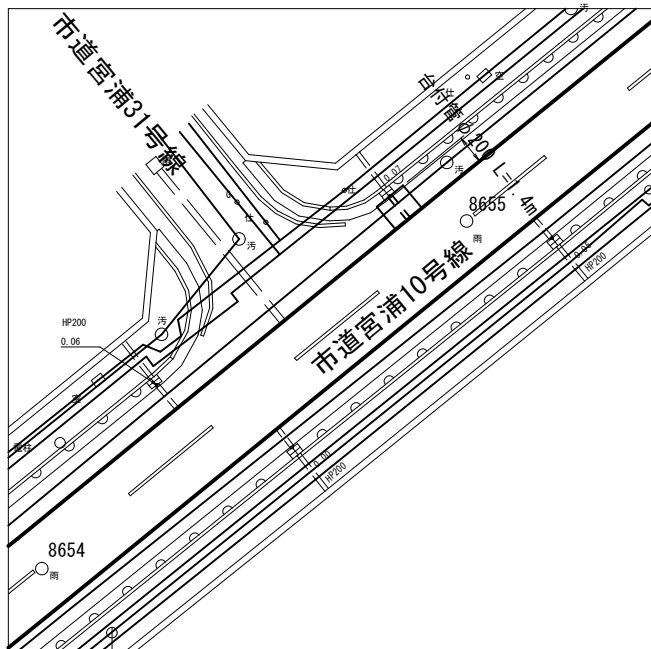
※( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 24
路線番号 : 1008225 ~ 1008226
左取付管 1



平面図

S=1:250

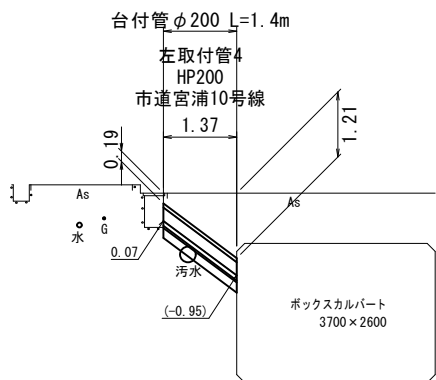


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

断面図

(A-A) S=1:100

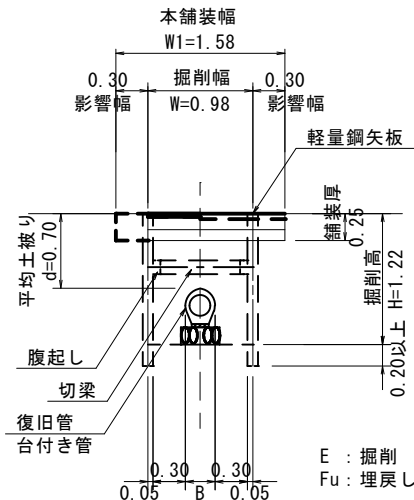


DL=0.00

※( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

標準断面図

S=1:50



位置図

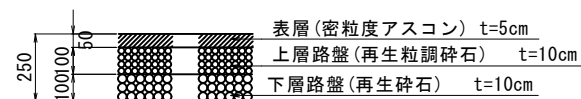
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

車道舗装

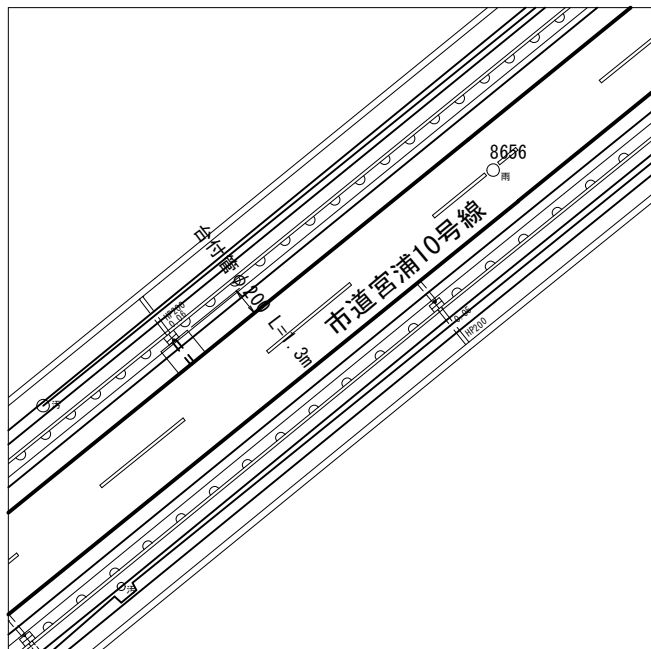


整理番号 : 24
路線番号 : 1008225 ~ 1008226
左取付管 4



平面図

S=1:250

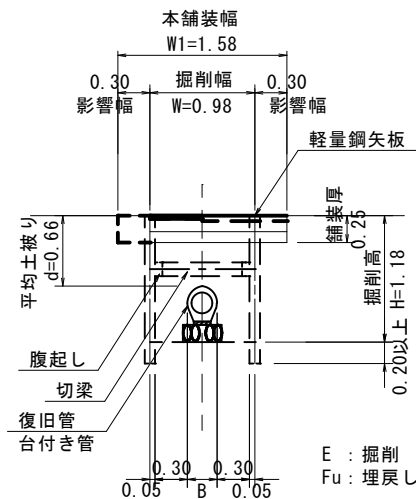


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

標準断面図

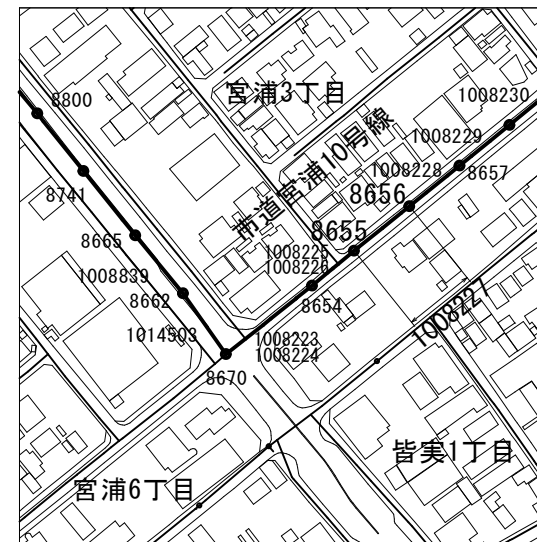
S=1:50



E : 掘削  
Fu : 埋戻し

位置図

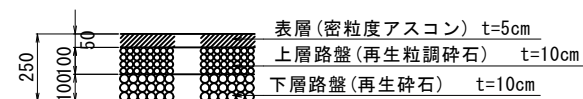
S=1:2500



舗装断面図

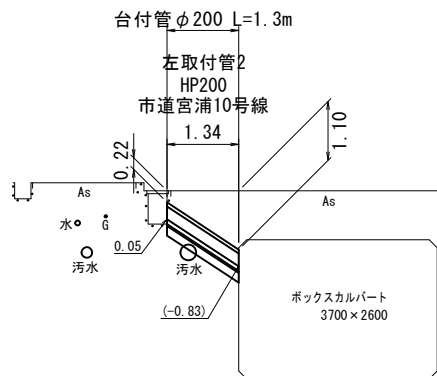
S=1:20

車道舗装



断面図

(A-A) S=1:100



※ ( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 25

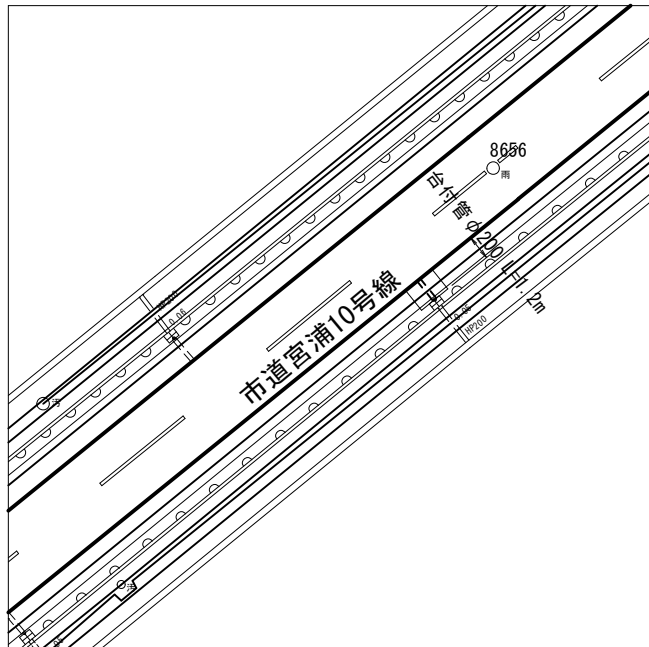
路線番号 : 1008227

左取付管2



平面図

S=1:250

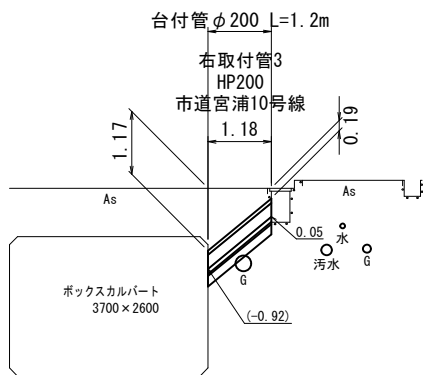


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

断面図

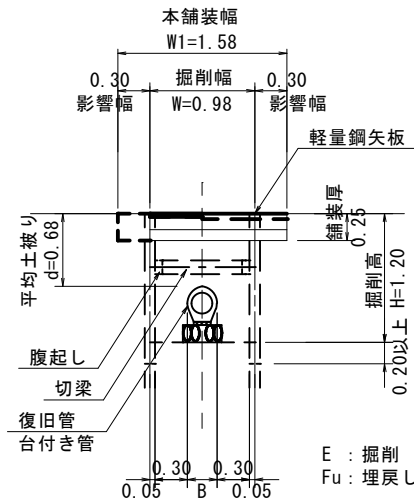
(A-A) S=1:100



DL=0.00

標準断面図

S=1:50



位置図

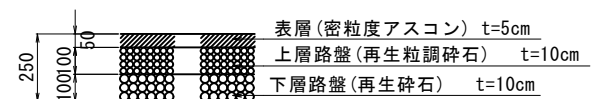
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

車道舗装



※( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 25

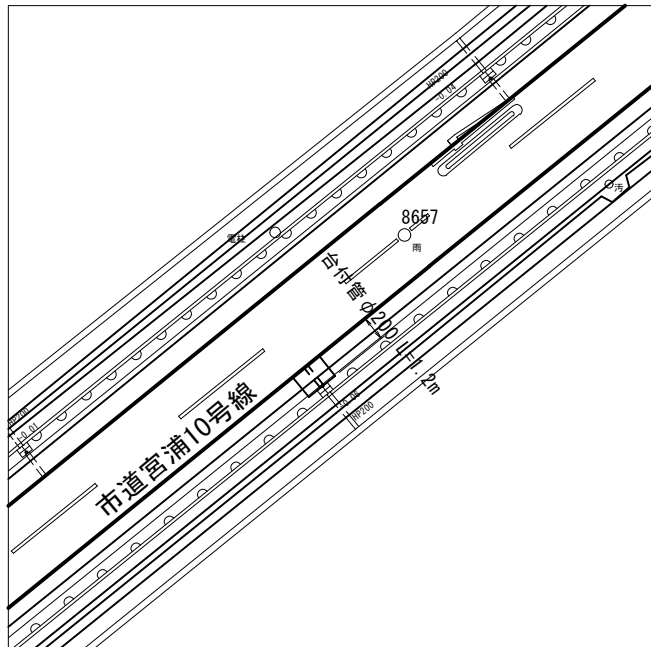
路線番号 : 1008227

右取付管3



平面図

S=1:250

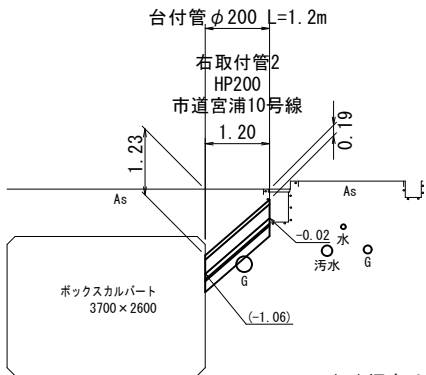


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

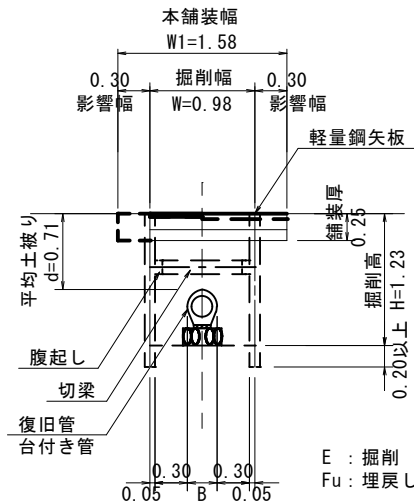
断面図

(A-A) S=1:100



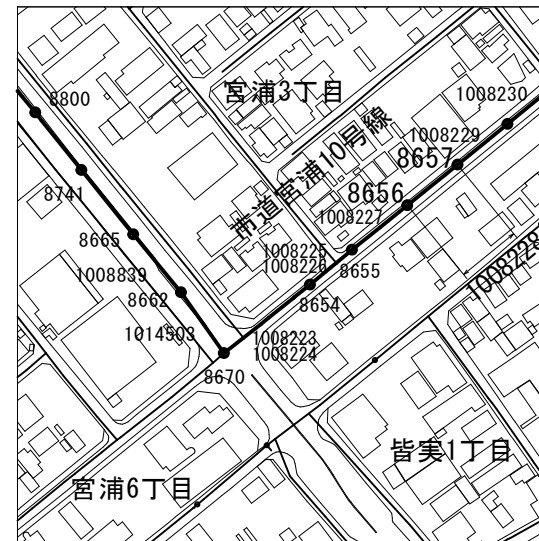
標準断面図

S=1:50



位置図

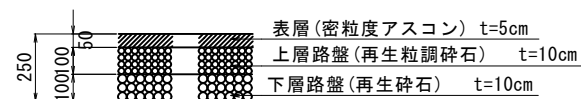
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

車道舗装



※ ( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 26

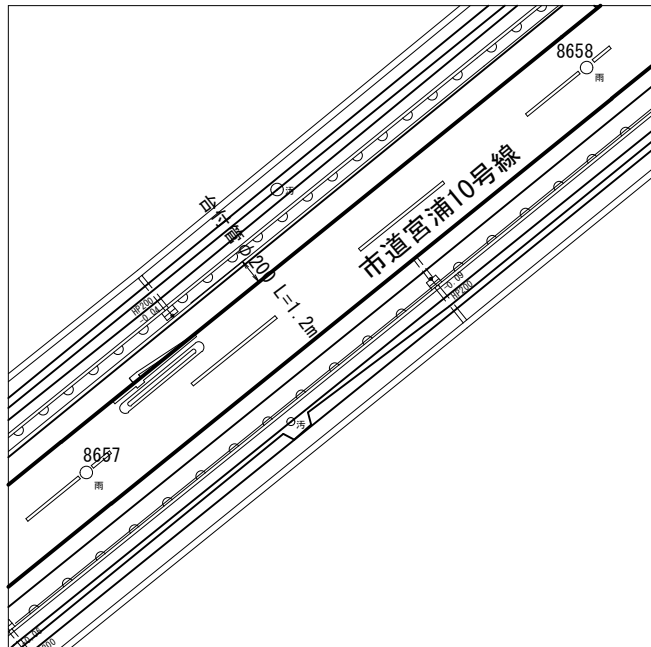
路線番号 : 1008228

右取付管2



平面図

S=1:250

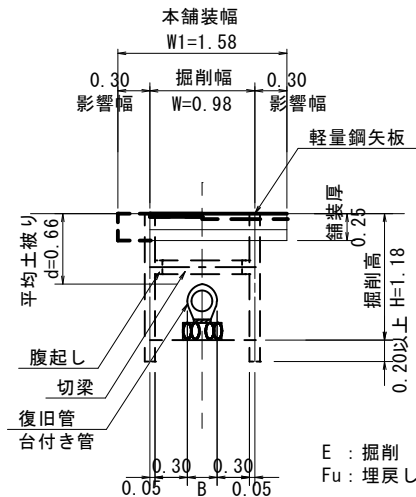


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

標準断面図

S=1:50



E : 掘削  
Fu : 埋戻し

位置図

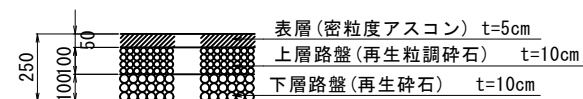
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

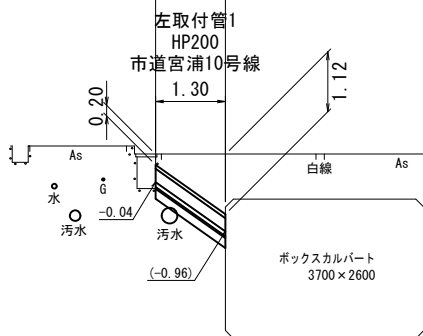
車道舗装



断面図

(A-A) S=1:100

台付管φ200 L=1.3m



DL=0.00

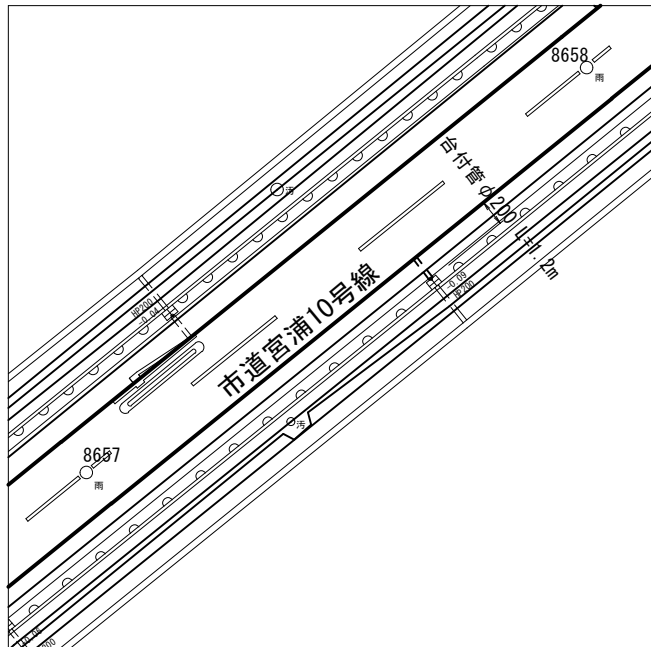
※ ( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 27
路線番号 : 1008229
左取付管1



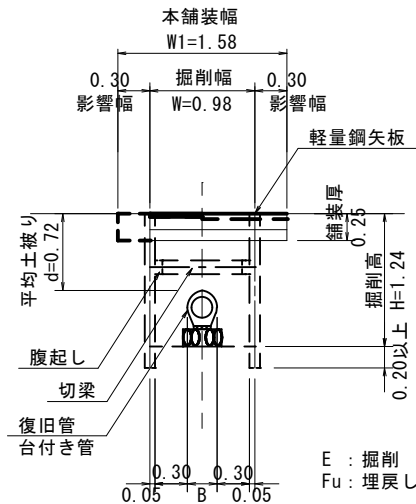
平面図

S=1:250



標準断面図

S=1:50



位置図

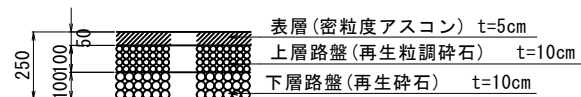
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

車道舗装

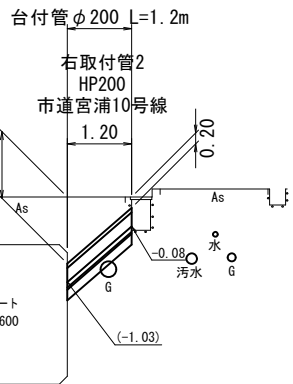


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

断面図

(A-A) S=1:100



DL=0.00

※ ( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 27

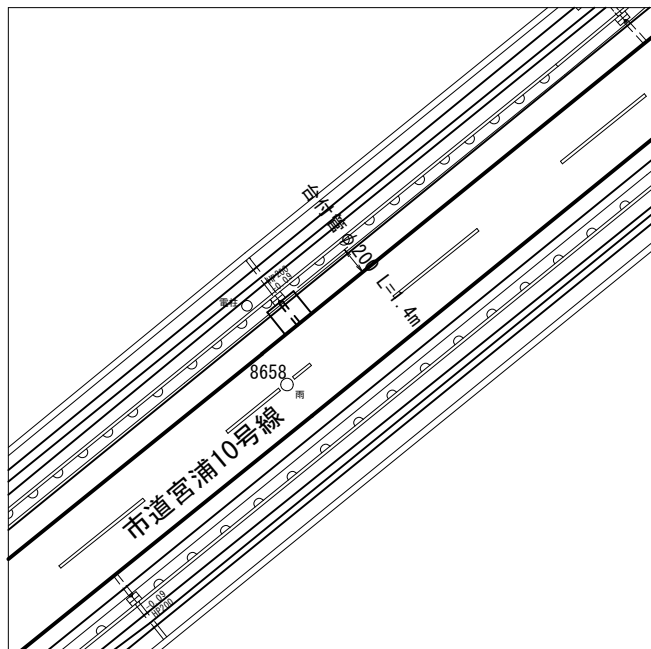
路線番号 : 1008229

右取付管2



平面図

S=1:250



(地下埋設物 凡例)

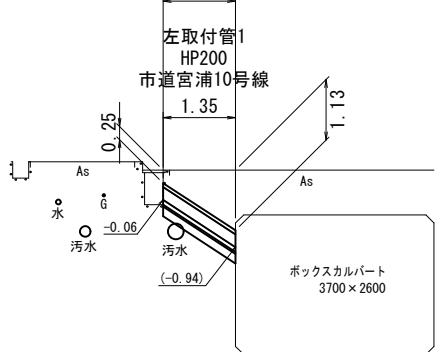
—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

断面図

(A-A) S=1:100

台付管φ200 L=1.4m

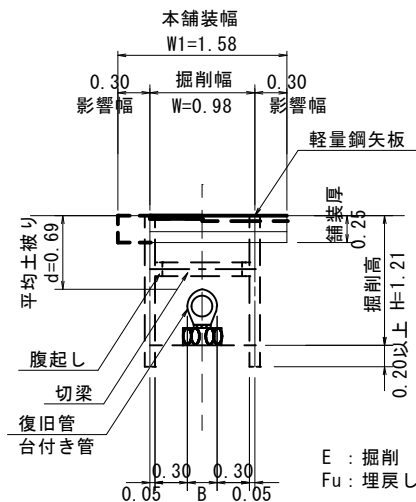
DL=0.00



※( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

標準断面図

S=1:50



位置図

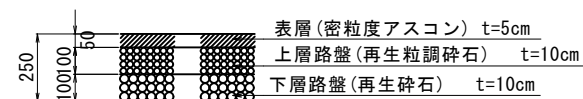
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

車道舗装



整理番号 : 28

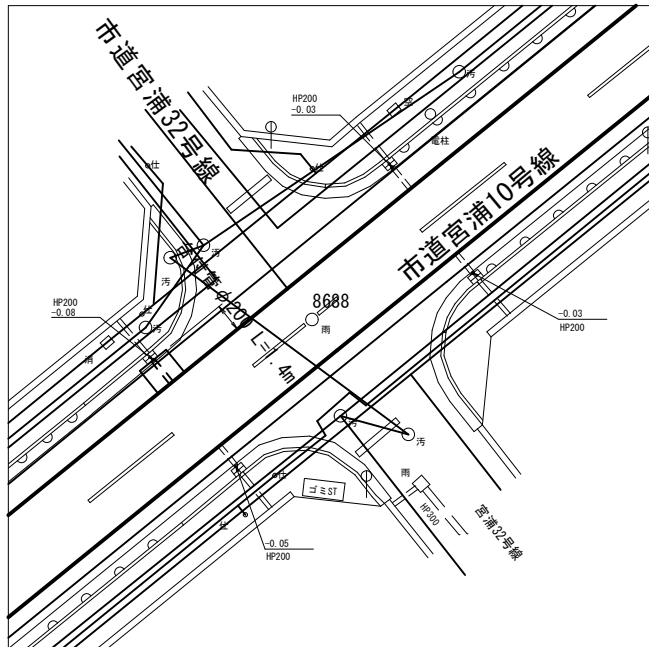
路線番号 : 1008230

左取付管1



平面図

S=1:250

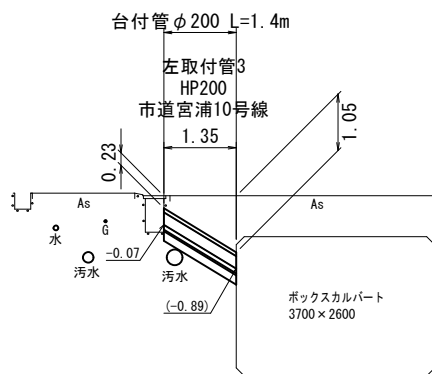


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

断面図

(A-A) S=1:100

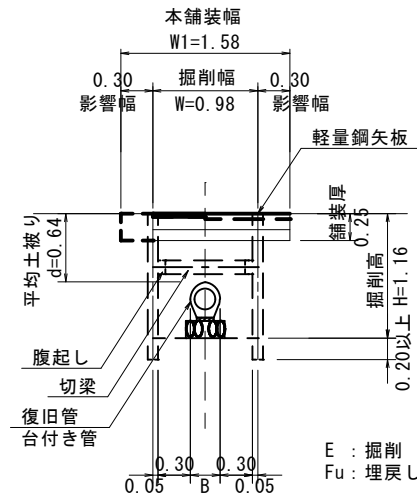


DL=0.00

※( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

標準断面図

S=1:50



位置図

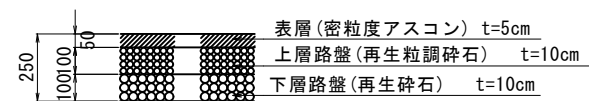
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

車道舗装



整理番号 : 28

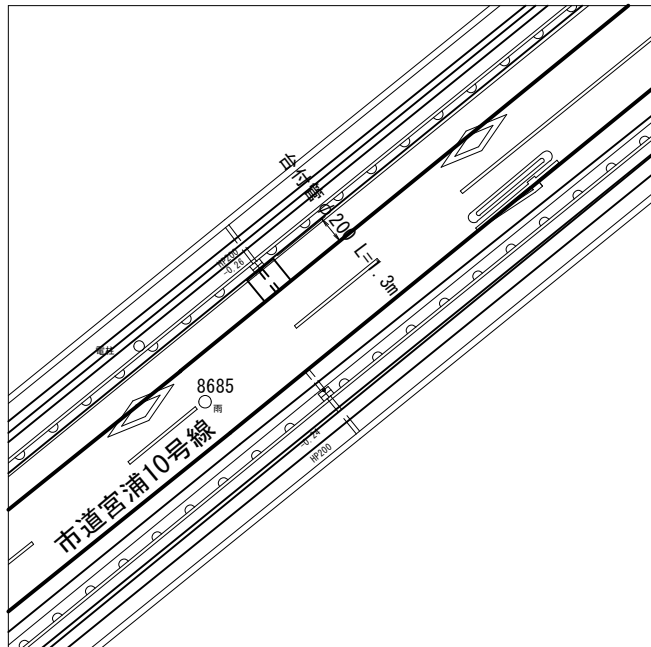
路線番号 : 1008230

左取付管3



平面図

S=1:250

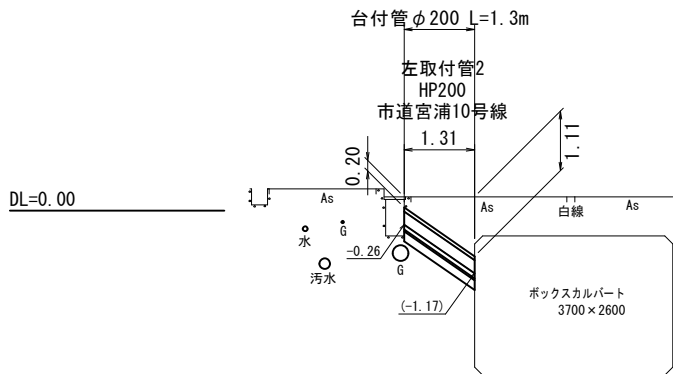


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

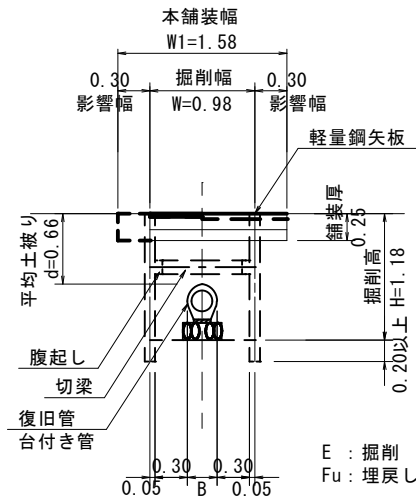
断面図

(A-A) S=1:100



標準断面図

S=1:50



E : 掘削  
Fu : 埋戻し

位置図

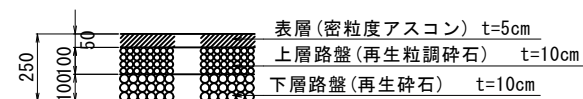
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

車道舗装



※( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 33

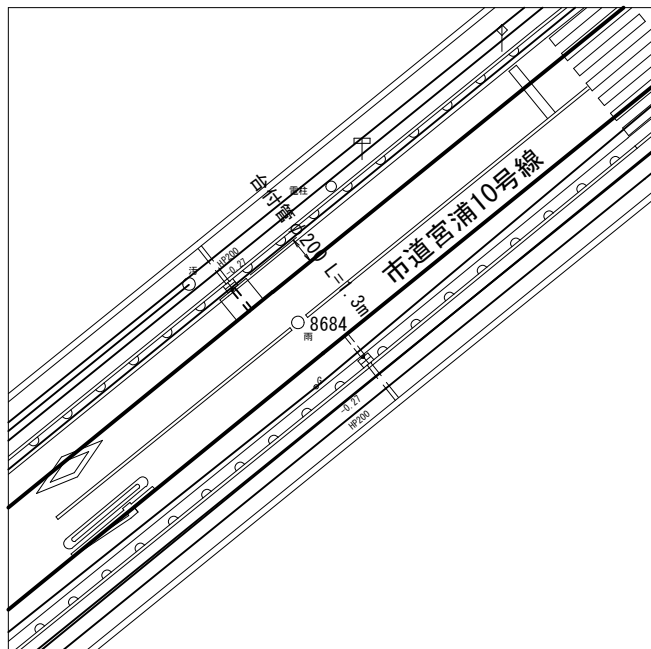
路線番号 : 1008480

左取付管2



平面図

S=1:250

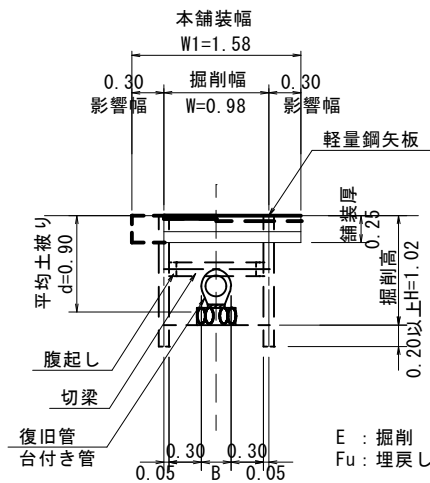


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

標準断面図

S=1:50



位置図

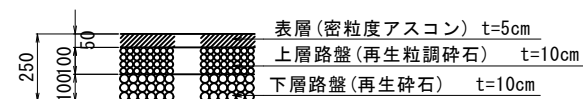
S=1:2500



舗装断面図

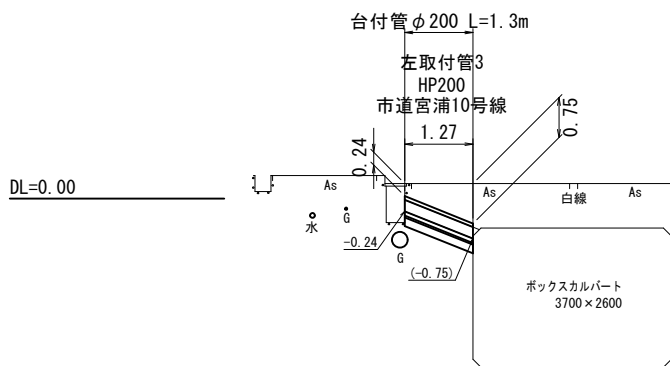
S=1:20

車道舗装



断面図

(A-A) S=1:100



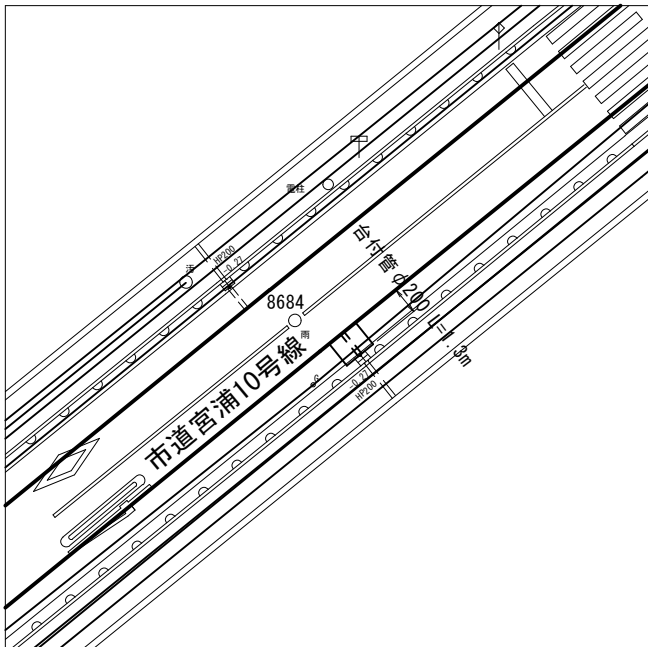
※ ( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 33
路線番号 : 1008480
左取付管3



平面図

S=1:250

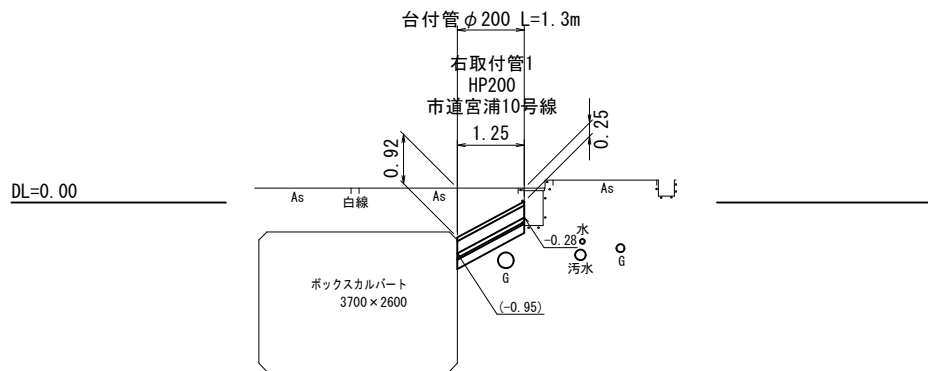


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

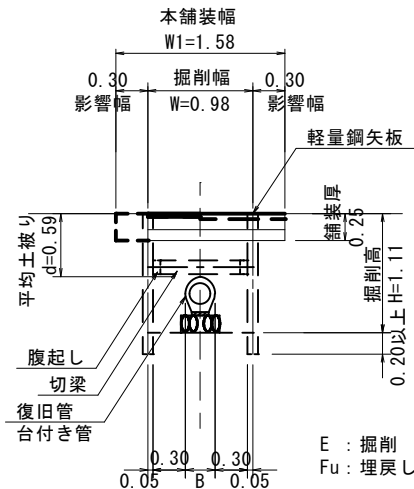
断面図

(A-A) S=1:100



標準断面図

S=1:50



位置図

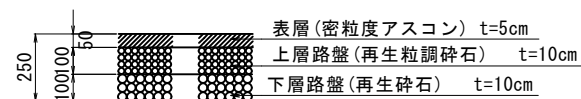
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

車道舗装



※( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 34

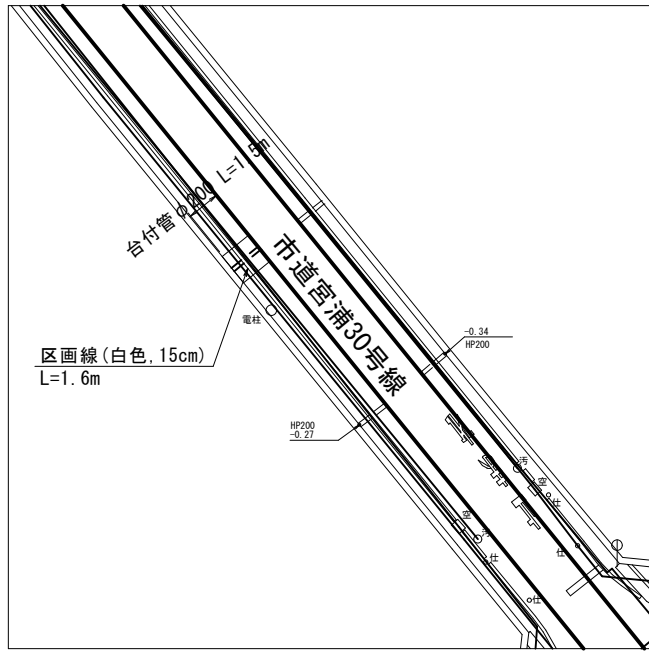
路線番号 : 1008481

右取付管1



平面図

S=1:250

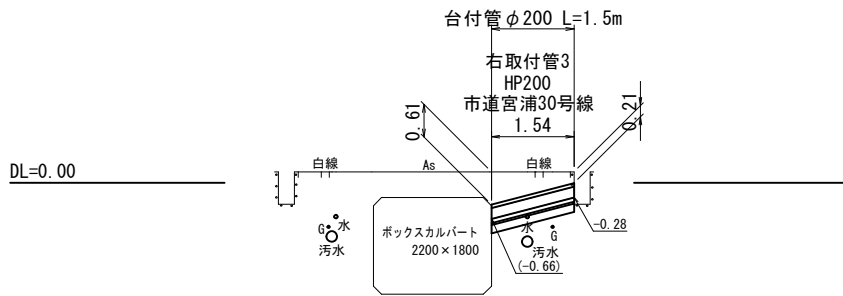


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

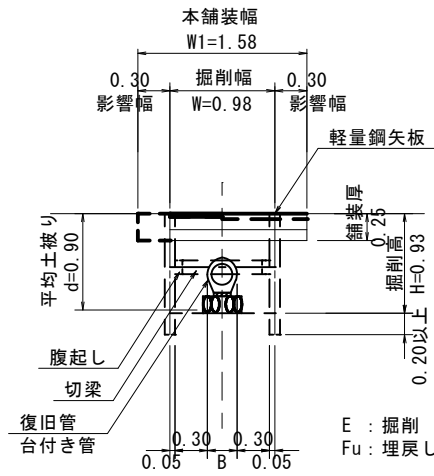
断面図

(A-A) S=1:100



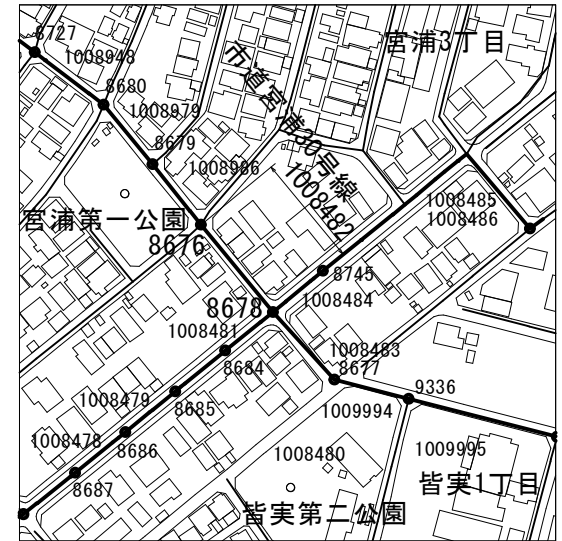
標準断面図

S=1:50



位置図

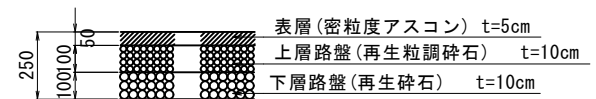
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

車道舗装



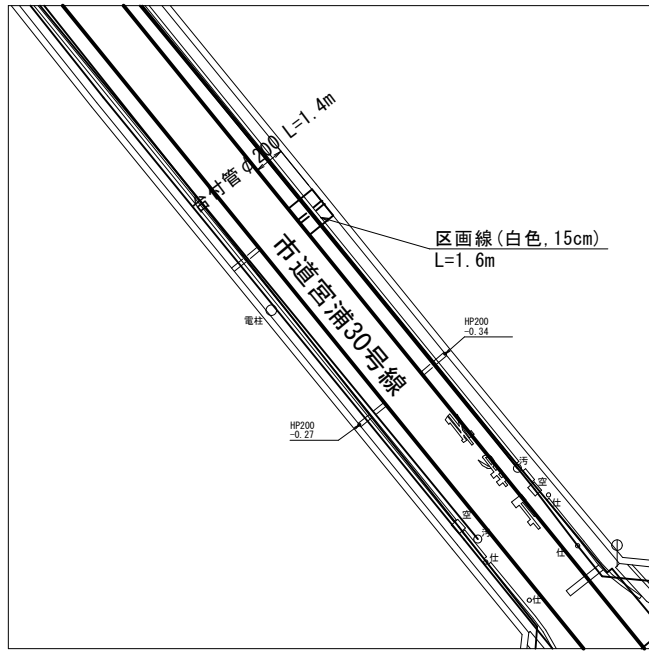
※( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 35
路線番号 : 1008482
右取付管3



平面図

S=1:250

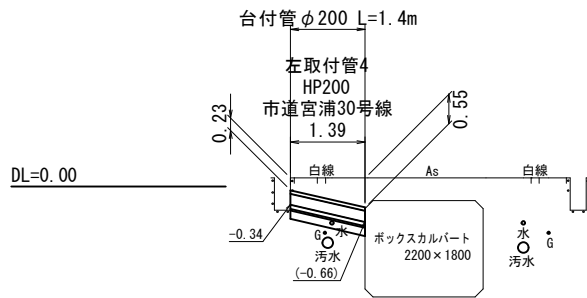


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

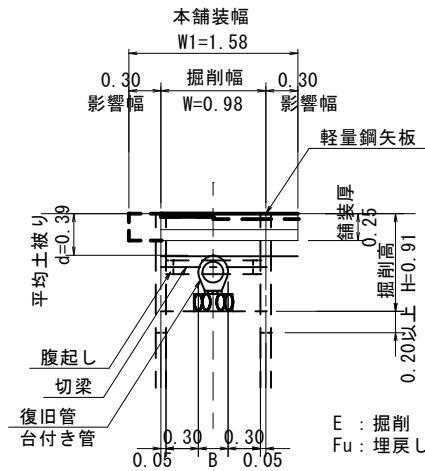
断面図

(A-A) S=1:100



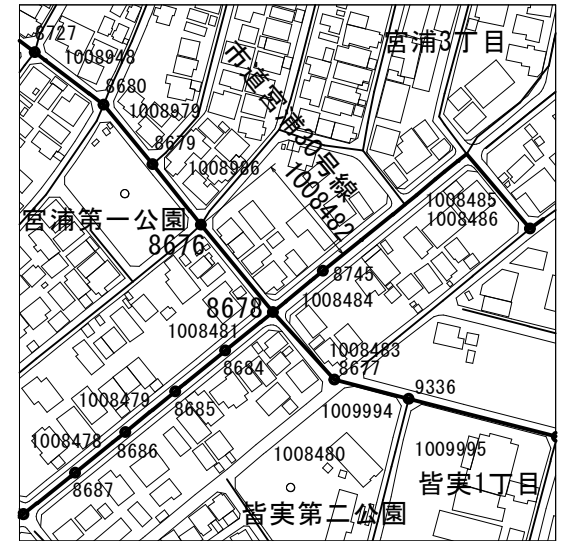
標準断面図

S=1:50



位置図

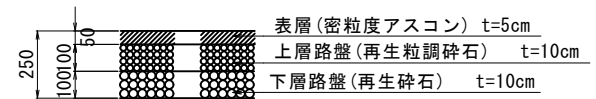
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

車道舗装



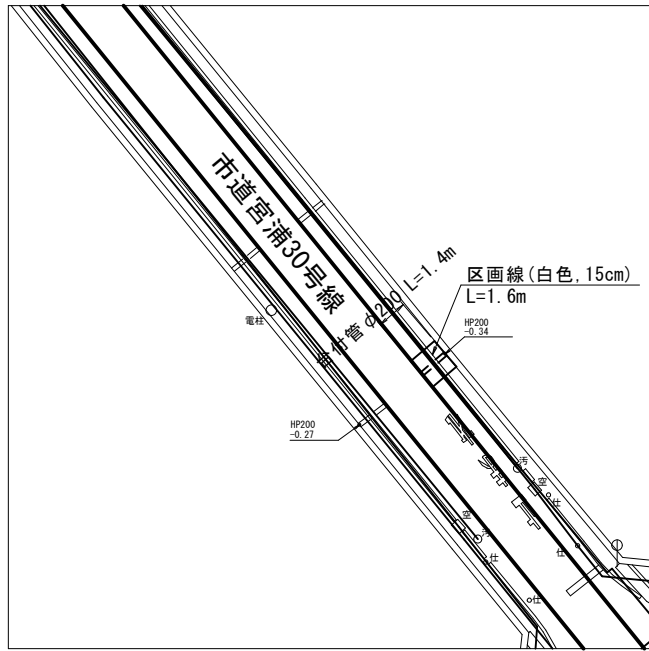
※ ( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 35
路線番号 : 1008482
左取付管4



平面図

S=1:250

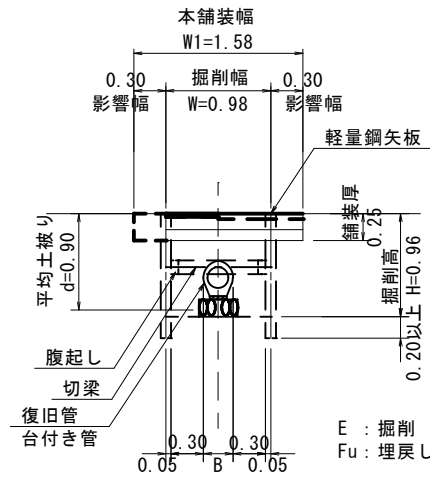


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

標準断面図

S=1:50



位置図

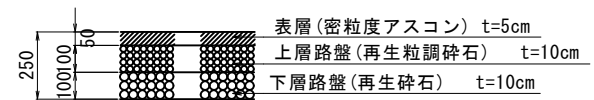
S=1:2500



舗装断面図

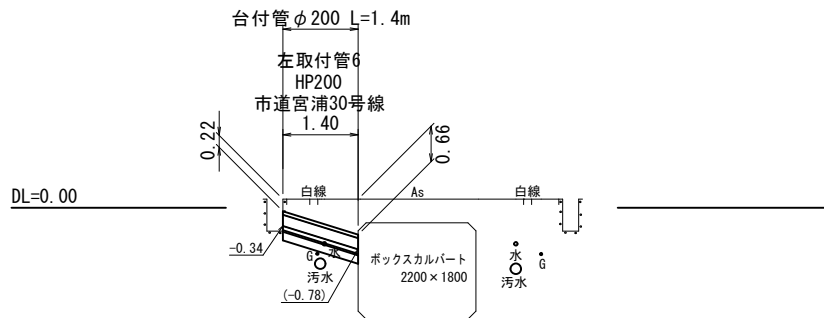
S=1:20

車道舗装



断面図

(A-A) S=1:100



※ ( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 35

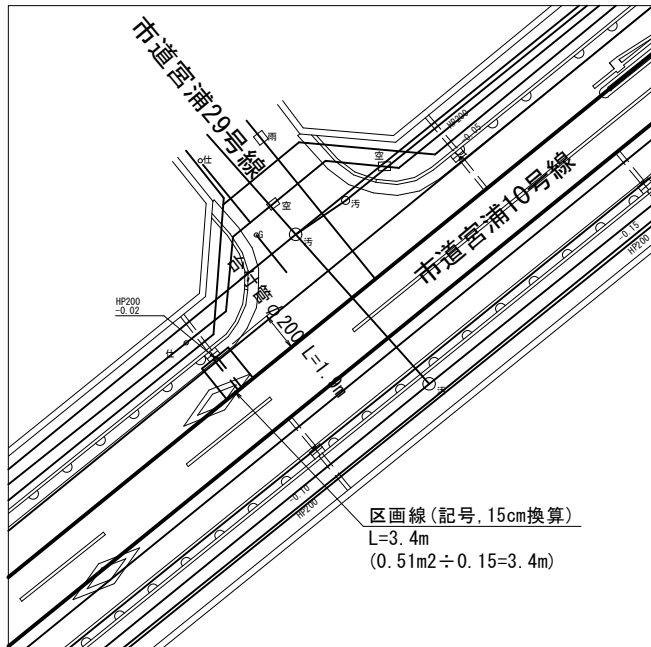
路線番号 : 1008482

左取付管6



平面図

S=1:250

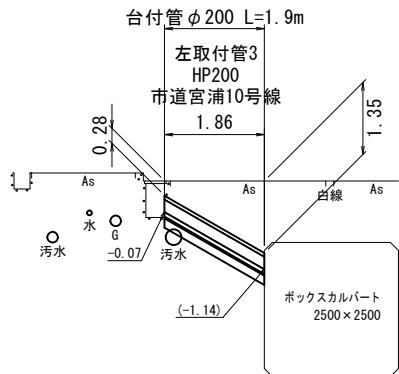


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

断面図

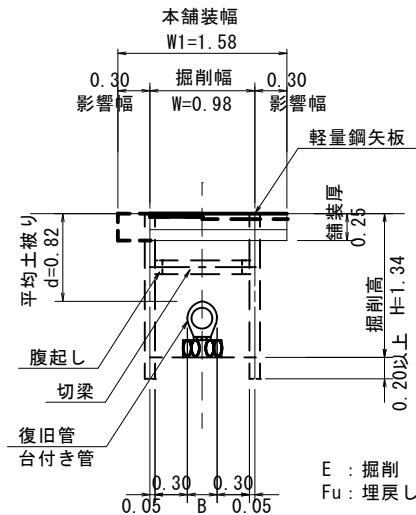
(A-A) S=1:100



※( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

標準断面図

S=1:50



位置図

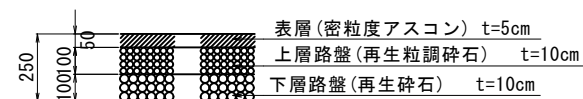
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

車道舗装

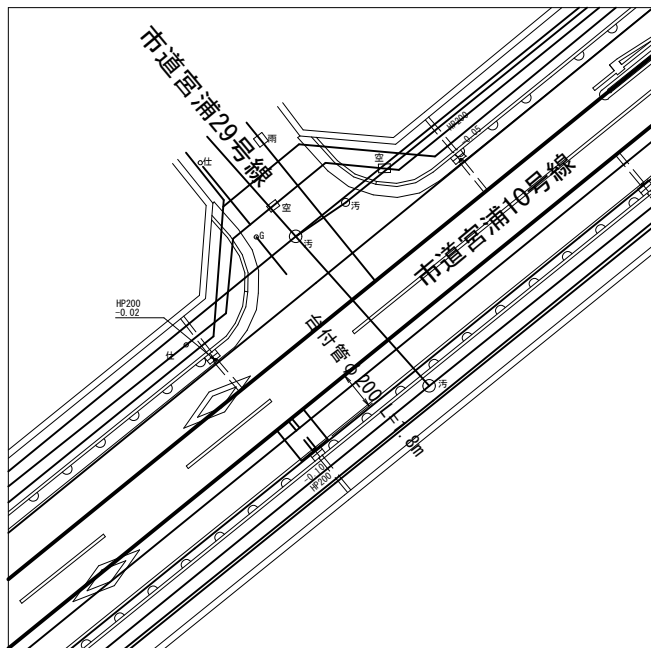


整理番号 : 38
路線番号 : 1008485 ~ 1008486
左取付管 3



平面図

S=1:250

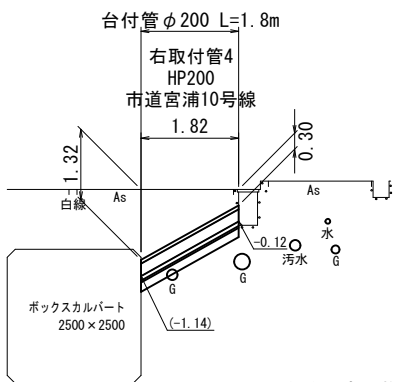


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

断面図

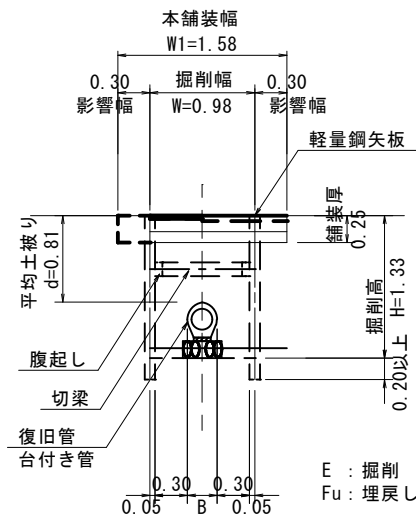
(A-A) S=1:100



DL=0.00

標準断面図

S=1:50



位置図

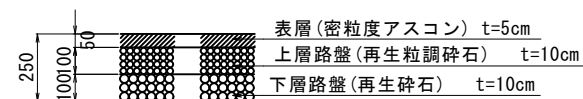
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

車道舗装



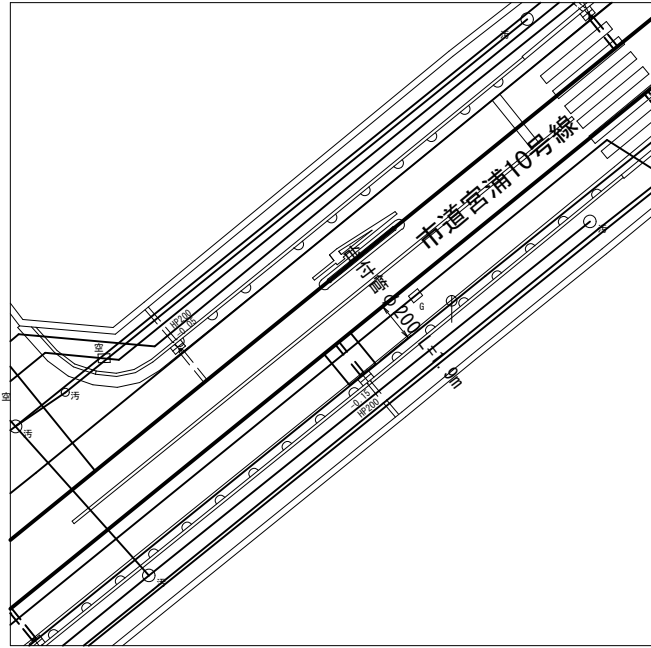
※( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 38
路線番号 : 1008485 ~ 1008486
右取付管4



### 平面図

S=1:250

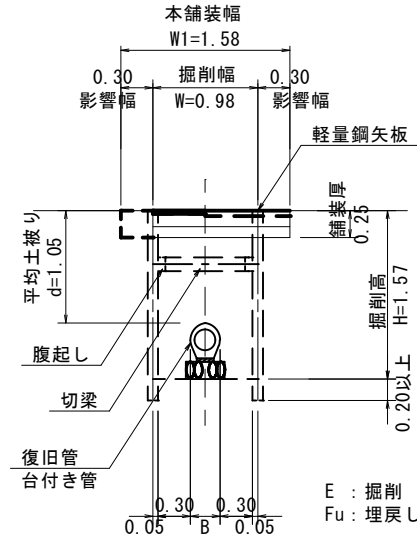


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

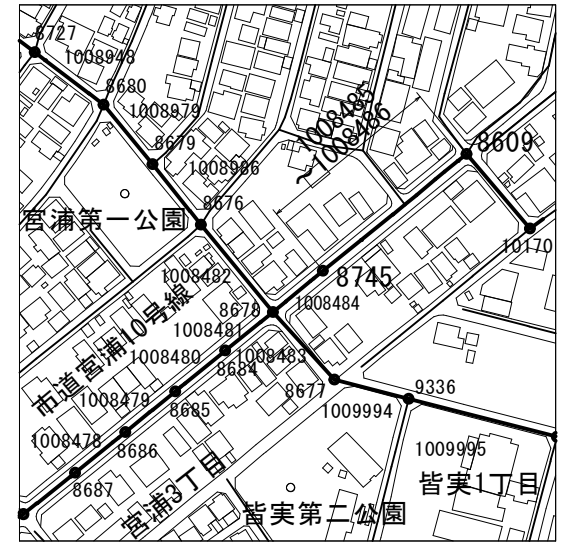
### 標準断面図

S=1:50



### 位置図

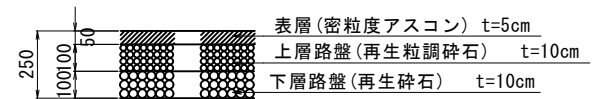
S=1:2500



### 舗装断面図

S=1:20

車道舗装

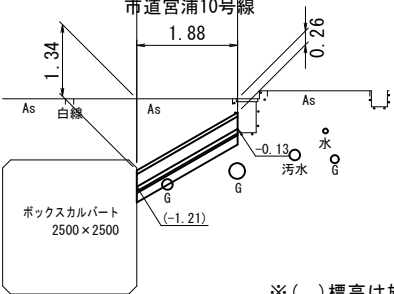


### 断面図

(A-A) S=1:100

台付管φ200 L=1.9m

右取付管7  
HP200  
市道宮浦10号線



DL=0.00

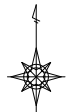
※( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 38

路線番号 : 1008485

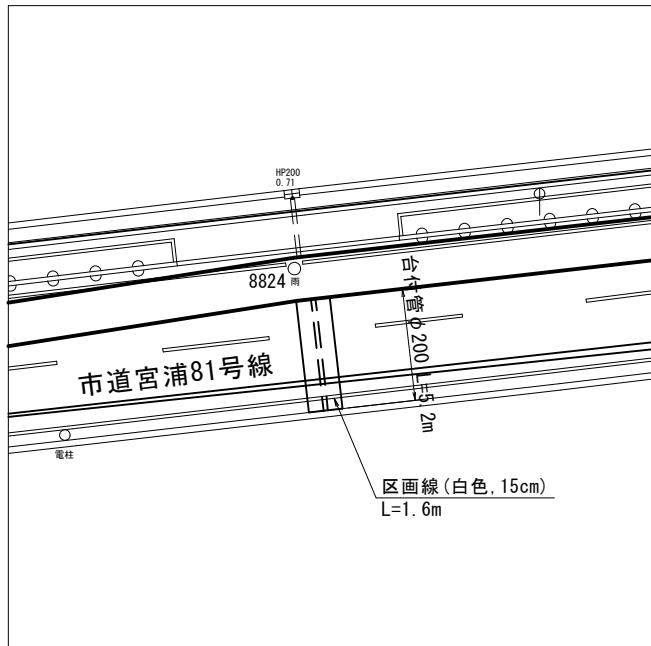
~ 1008486

右取付管7



平面図

S=1:250

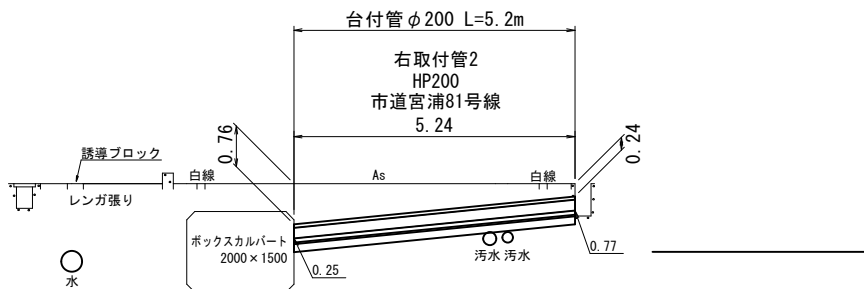


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

断面図

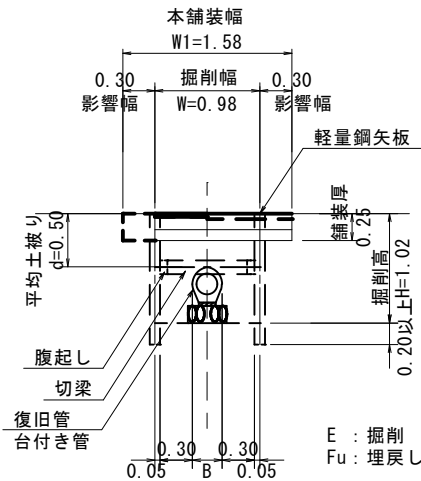
(A-A) S=1:100



※( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

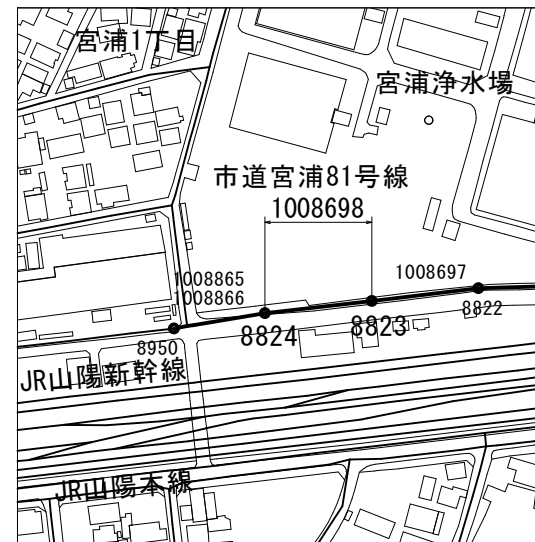
標準断面図

S=1:50



位置図

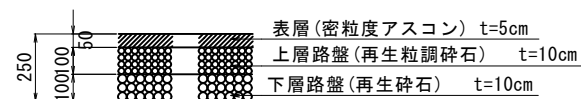
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

車道舗装



整理番号 : 46

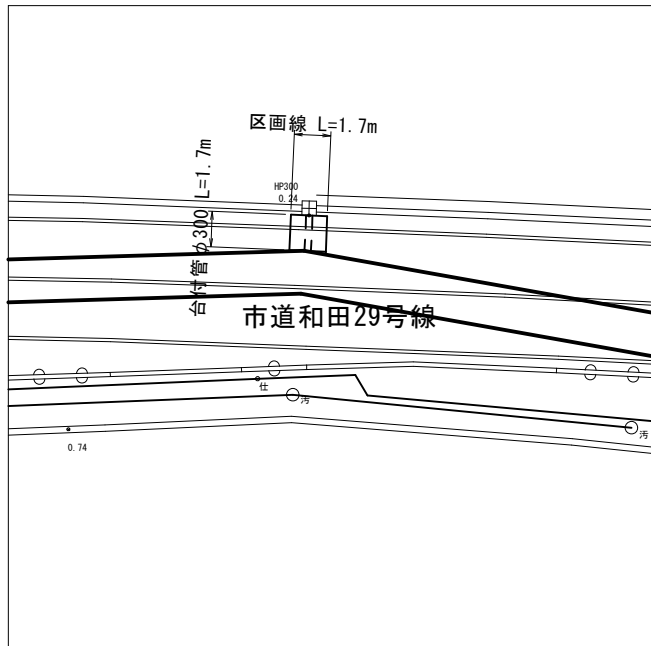
路線番号 : 1008698

右取付管2



平面図

S=1:250

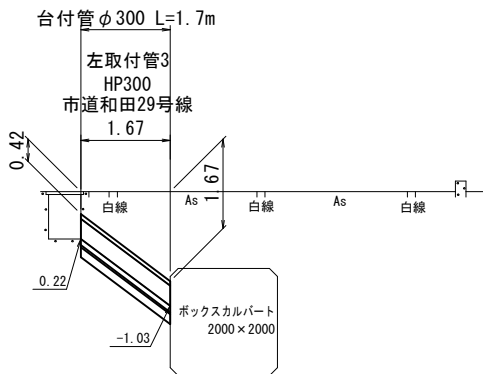


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

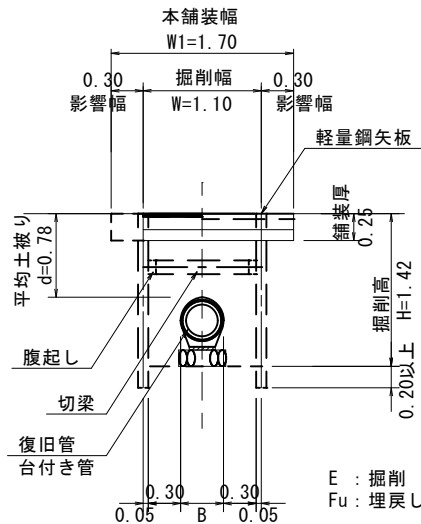
断面図

(A-A) S=1:100



標準断面図

S=1:50



E : 掘削  
Fu : 埋戻し

位置図

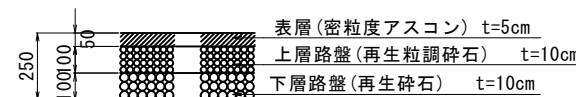
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

車道舗装



DL=0.00

※( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 47

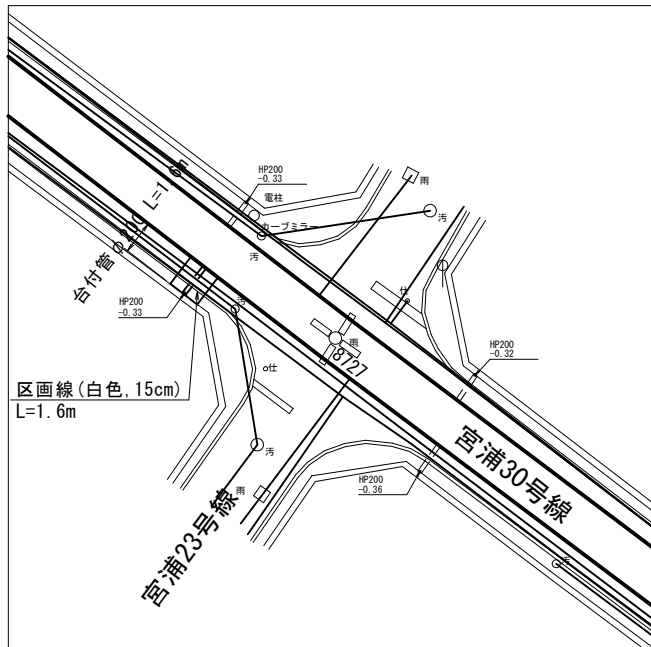
路線番号 : 1007831

左取付管3



平面図

S=1:250

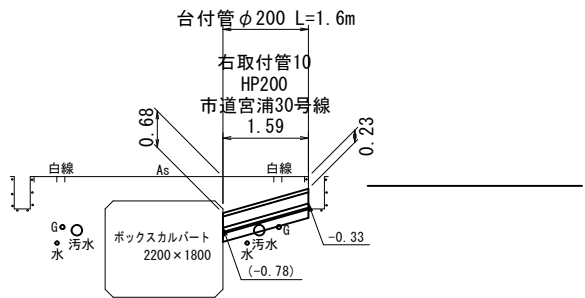


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

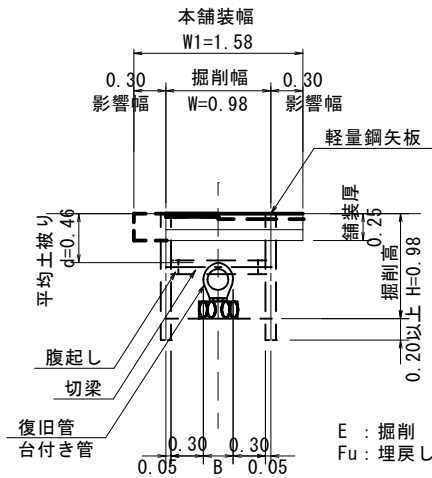
断面図

(A-A) S=1:100



標準断面図

S=1:50



位置図

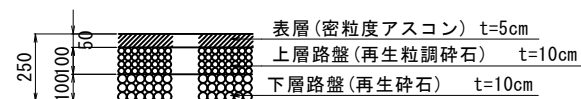
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

車道舗装



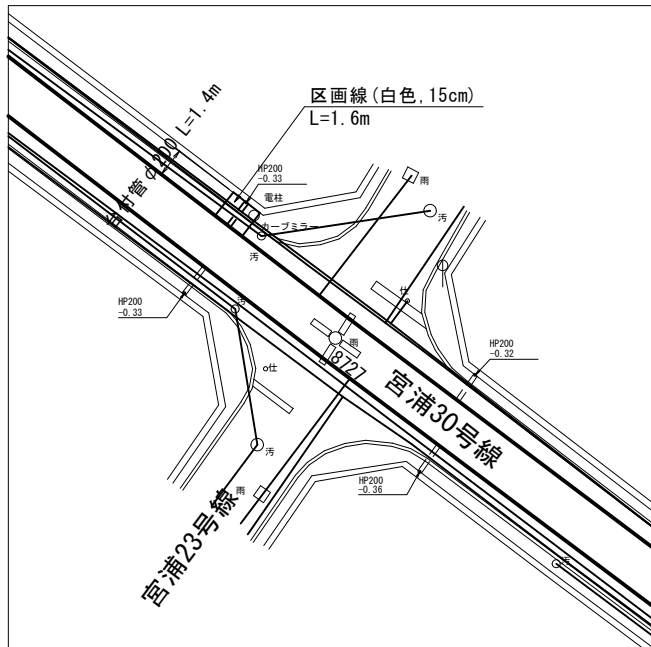
※ ( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工 (掘削) 時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 52
路線番号 : 1008832 ~ 1008938
右取付管 10



平面図

S=1:250

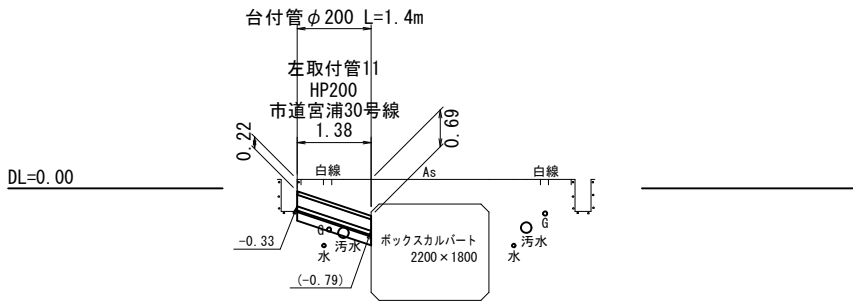


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

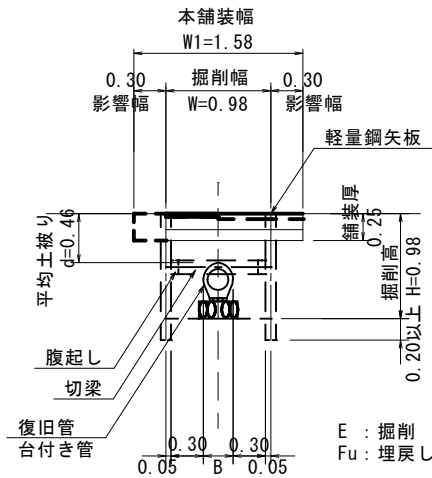
断面図

(A-A) S=1:100



標準断面図

S=1:50



E: 掘削  
Fu: 埋戻し

位置図

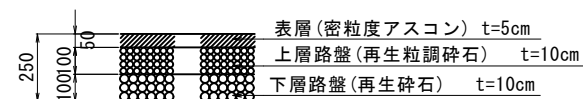
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

車道舗装



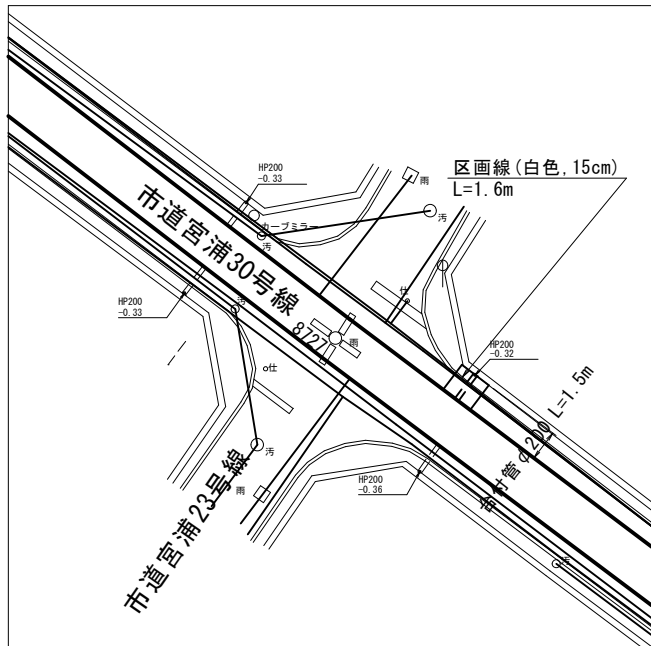
※( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 52
路線番号 : 1008832 ~ 1008938
左取付管 11



平面図

S=1:250

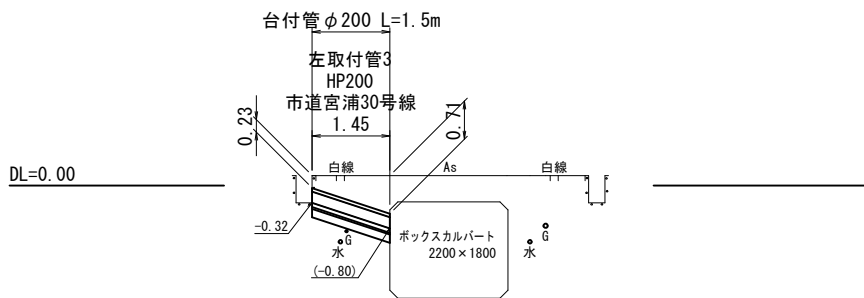


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

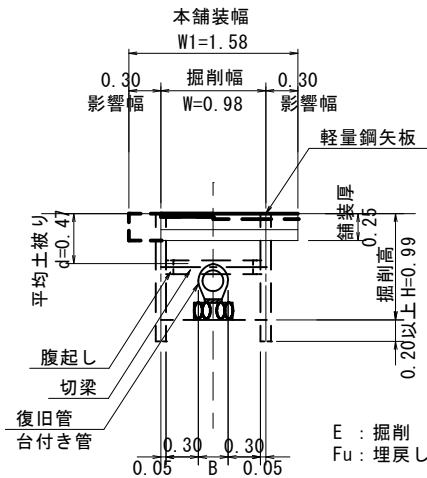
断面図

(A-A) S=1:100



標準断面図

S=1:50



位置図

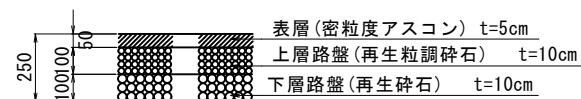
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

車道舗装



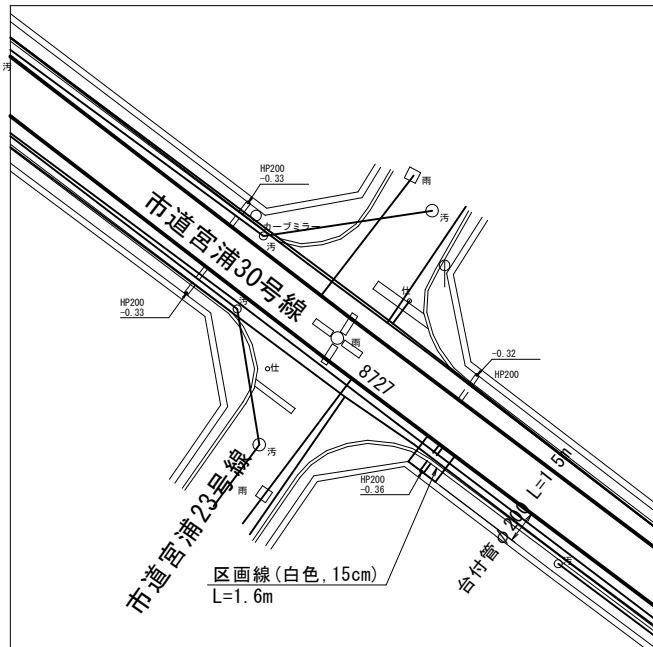
※( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 56
路線番号 : 1008948
左取付管3



平面図

S=1:250



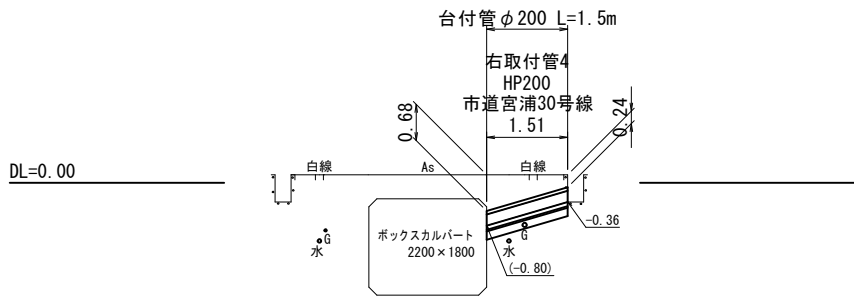
区画線 (白色, 15cm)  
L=1.6m

(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

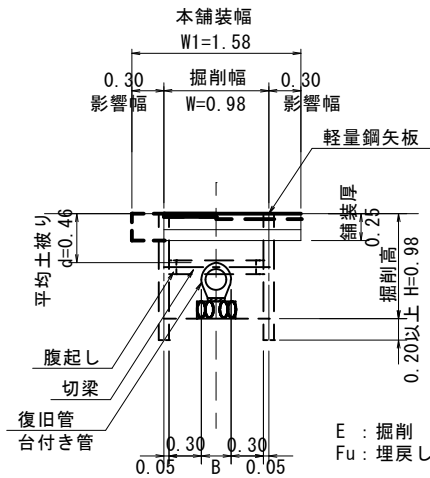
断面図

(A-A) S=1:100



標準断面図

S=1:50



位置図

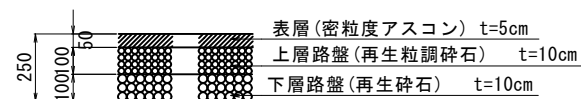
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

車道舗装



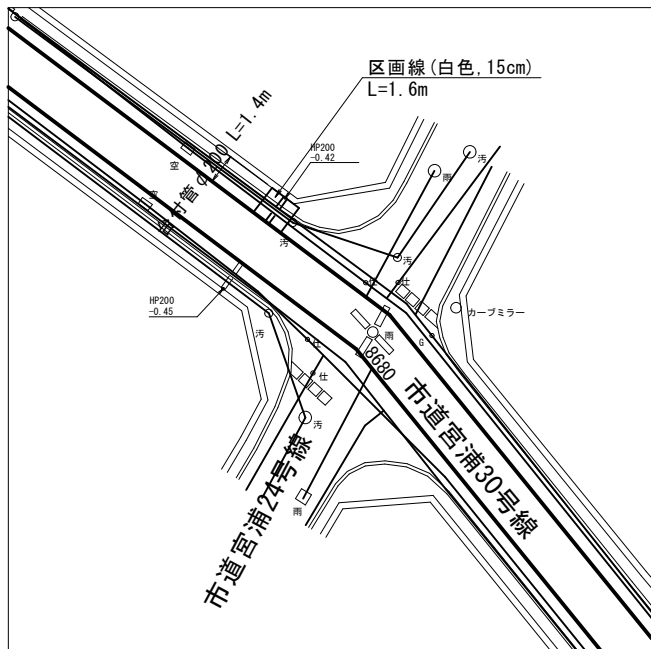
※( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 56
路線番号 : 1008948
右取付管 4



平面図

S=1:250

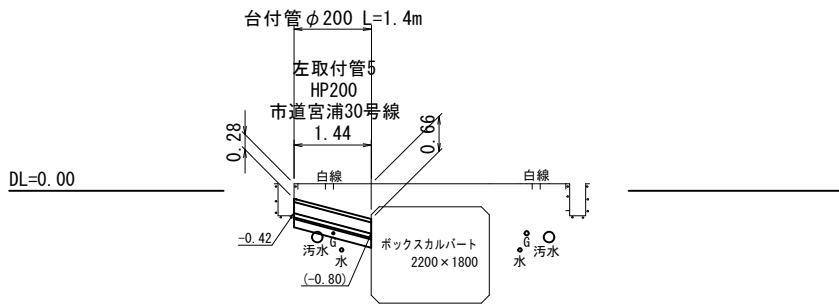


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

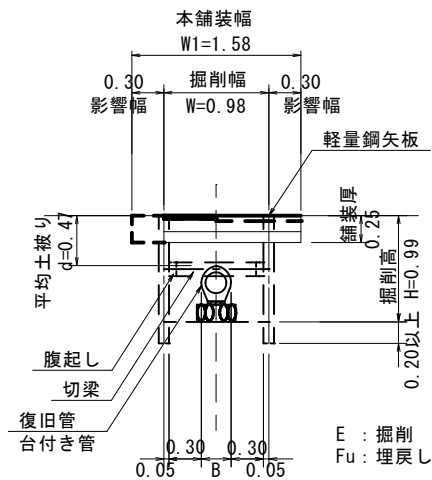
断面図

(A-A) S=1:100



標準断面図

S=1:50



位置図

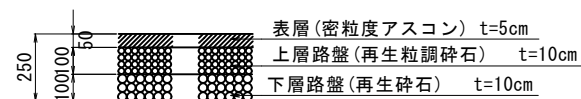
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

車道舗装



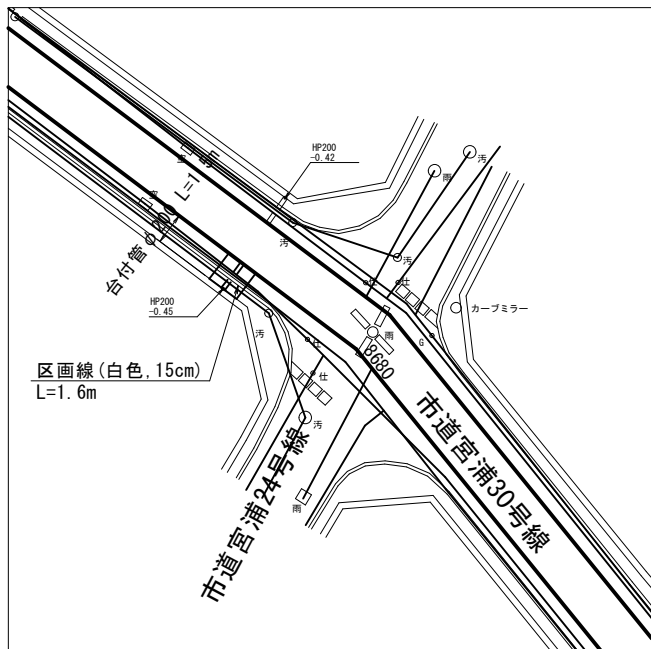
※( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 56
路線番号 : 1008948
左取付管5



平面図

S=1:250

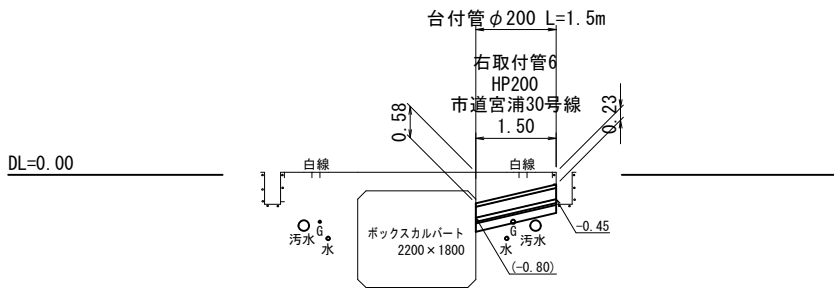


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

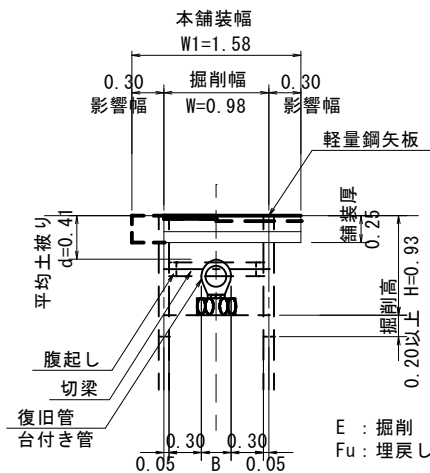
断面図

(A-A) S=1:100



標準断面図

S=1:50



位置図

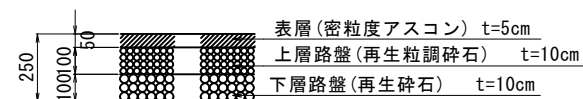
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

車道舗装



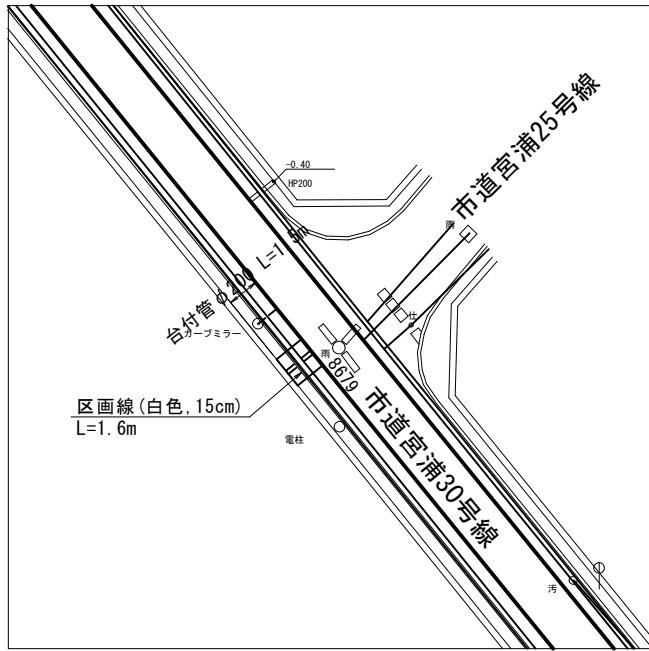
※( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 56
路線番号 : 1008948
右取付管 6



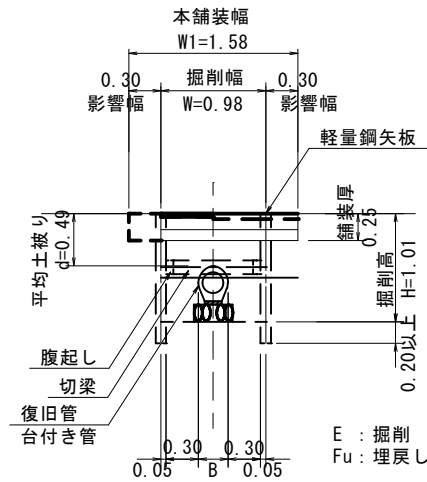
平面図

S=1:250



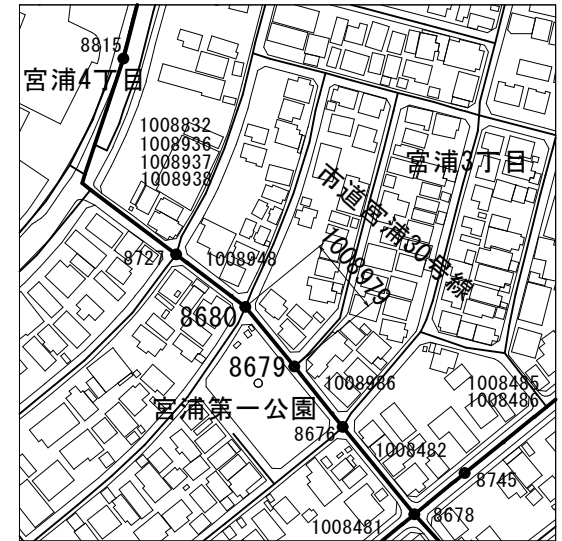
標準断面図

S=1:50



位置図

S=1:2500

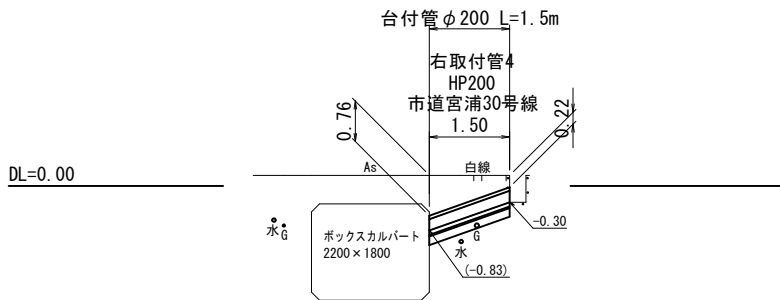


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

断面図

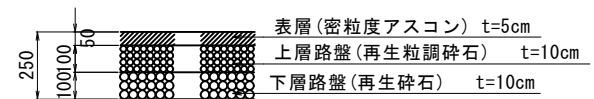
(A-A) S=1:100



舗装断面図

S=1:20

車道舗装



※( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 57

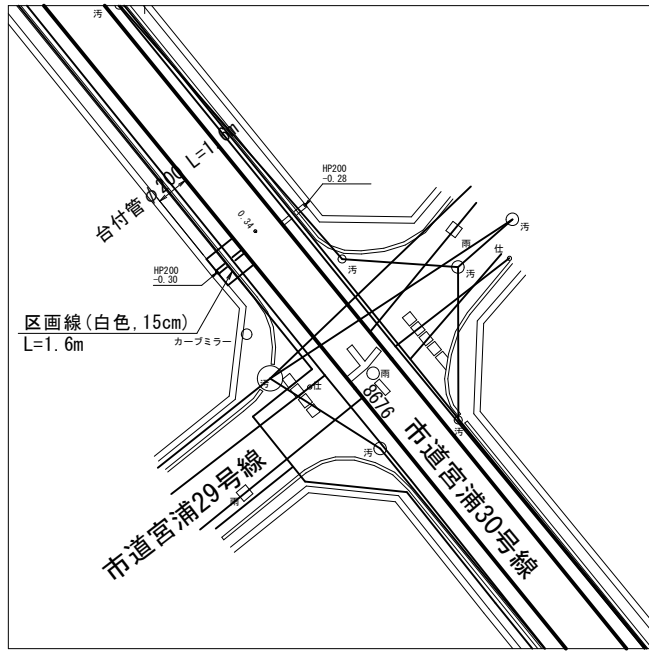
路線番号 : 1008979

右取付管4



平面図

S=1:250

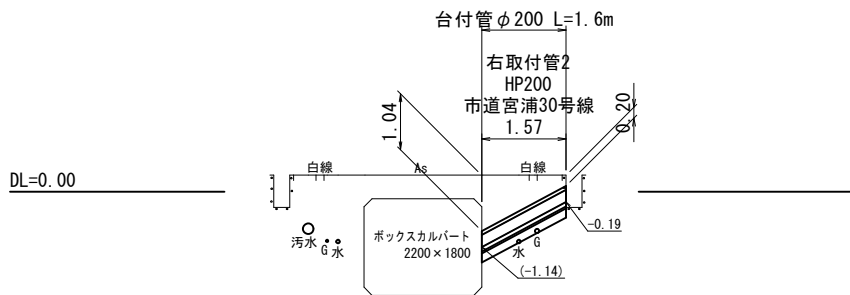


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

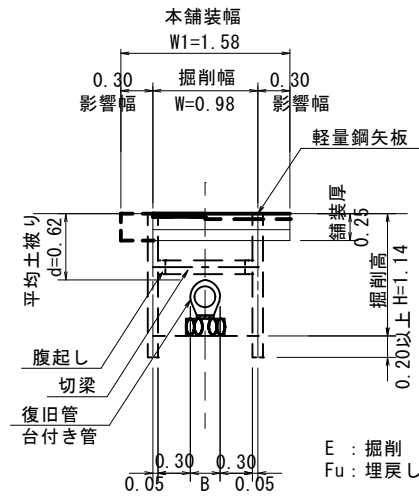
断面図

(A-A) S=1:100



標準断面図

S=1:50



位置図

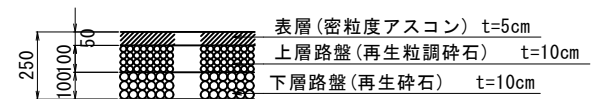
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

車道舗装



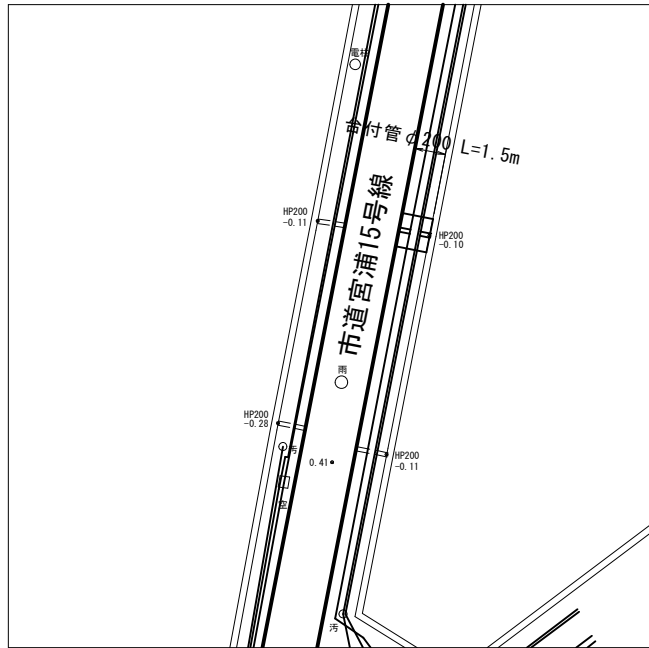
※( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 58
路線番号 : 1008986
右取付管2



平面図

S=1:250

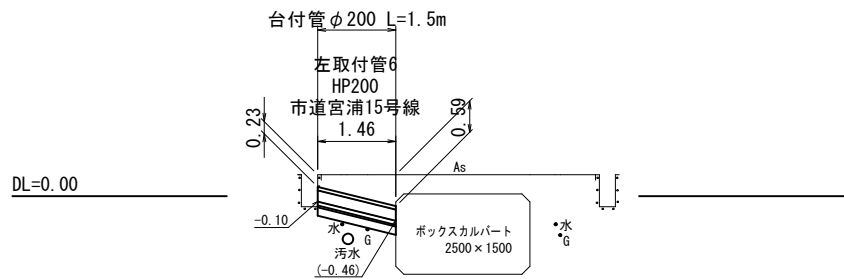


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

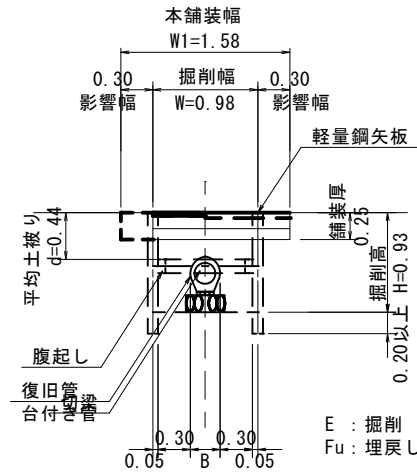
断面図

(A-A) S=1:100



標準断面図

S=1:50



位置図

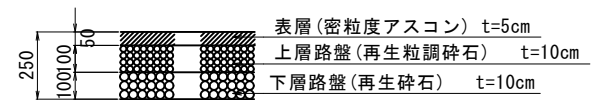
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

車道舗装



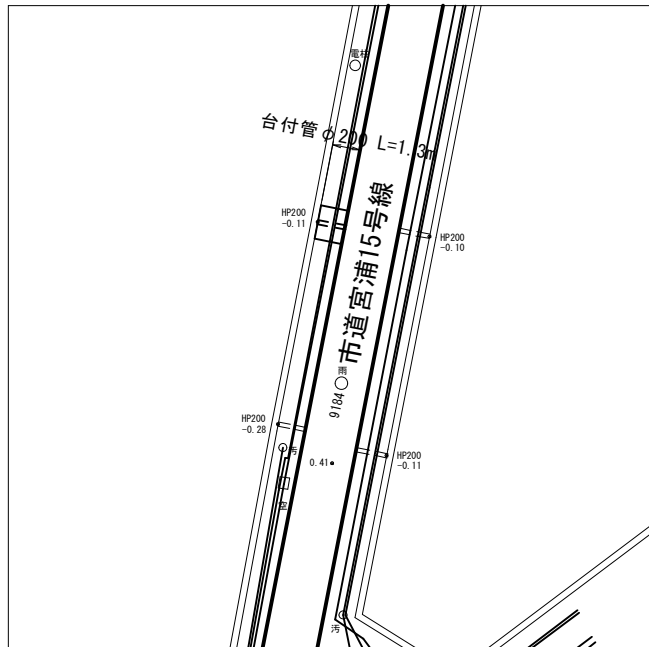
※( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 61
路線番号 : 1009274
左取付管 6



平面図

S=1:250

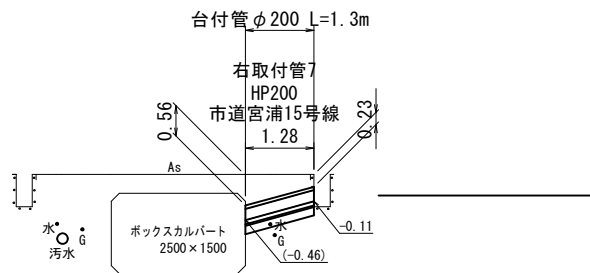


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

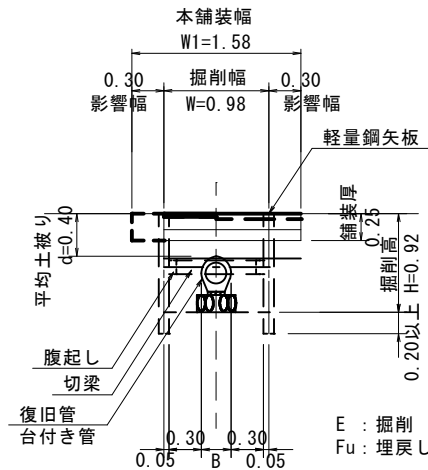
断面図

(A-A) S=1:100



標準断面図

S=1:50



位置図

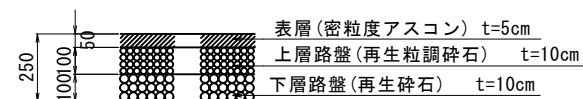
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

車道舗装



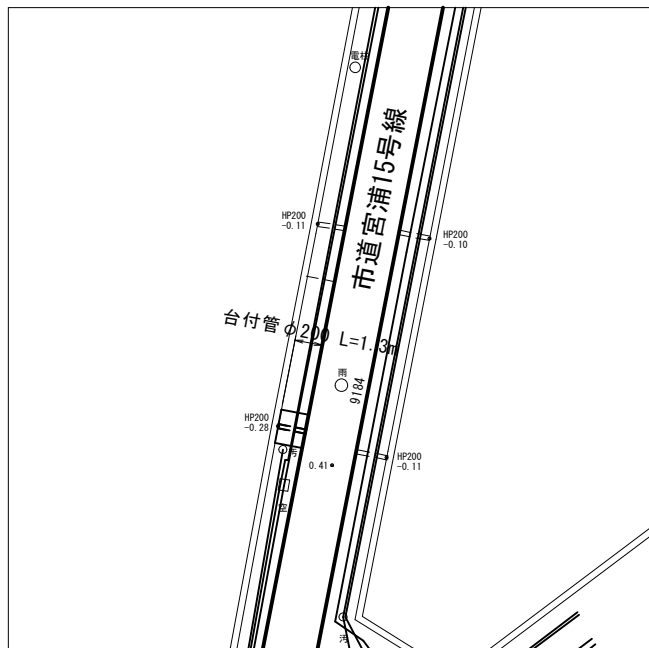
※( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 61
路線番号 : 1009274
右取付管 7



平面図

S=1:250

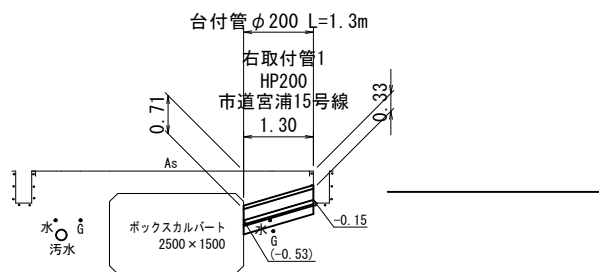


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

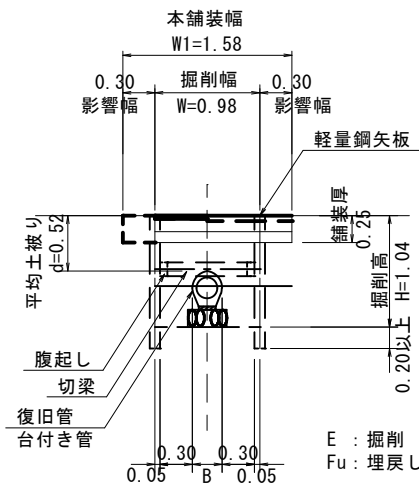
断面図

(A-A) S=1:100



標準断面図

S=1:50



位置図

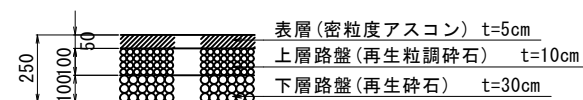
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

車道舗装



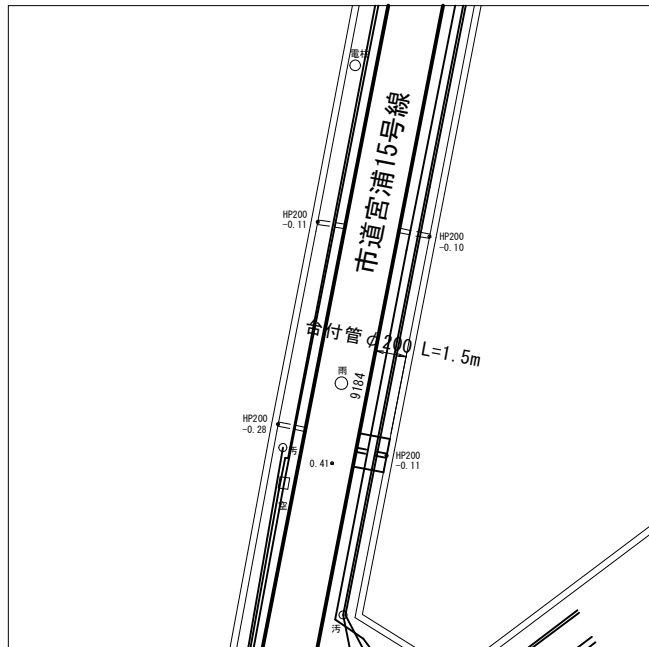
※( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 62
路線番号 : 1009275
~ 1009282
右取付管1



平面図

S=1:250

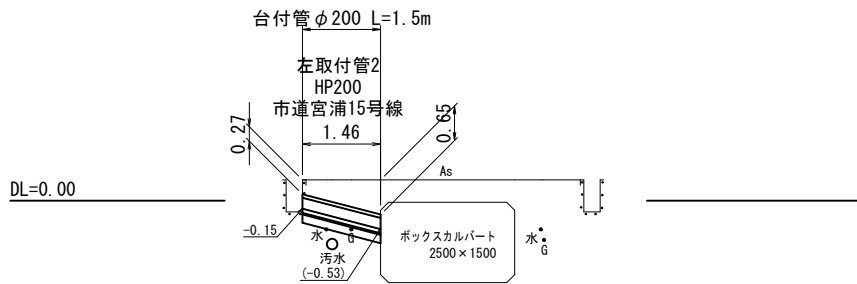


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

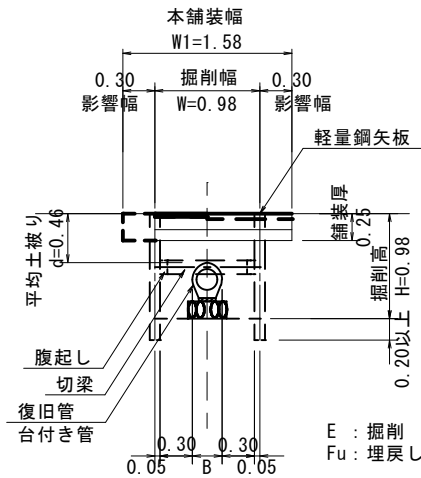
断面図

(A-A) S=1:100



標準断面図

S=1:50



位置図

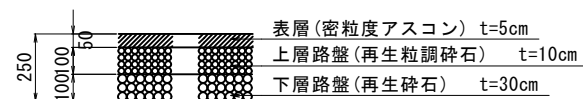
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

車道舗装



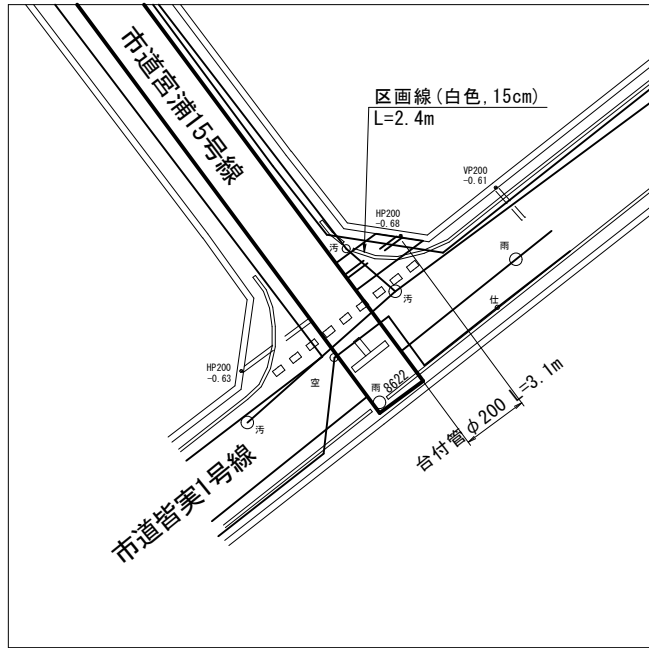
※ ( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 62
路線番号 : 1009275
~ 1009282
左取付管2



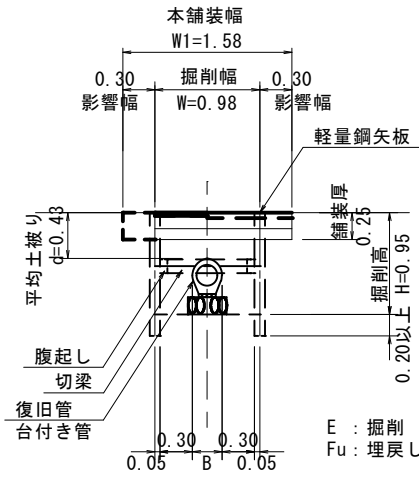
平面図

S=1:250



標準断面図

S=1:50



位置図

S=1:2500

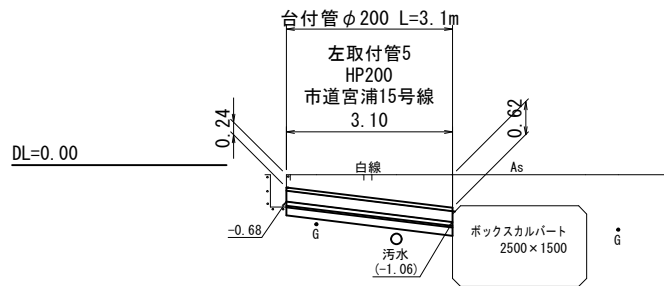


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

断面図

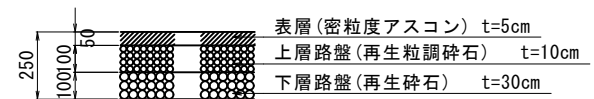
(A-A) S=1:100



舗装断面図

S=1:20

車道舗装



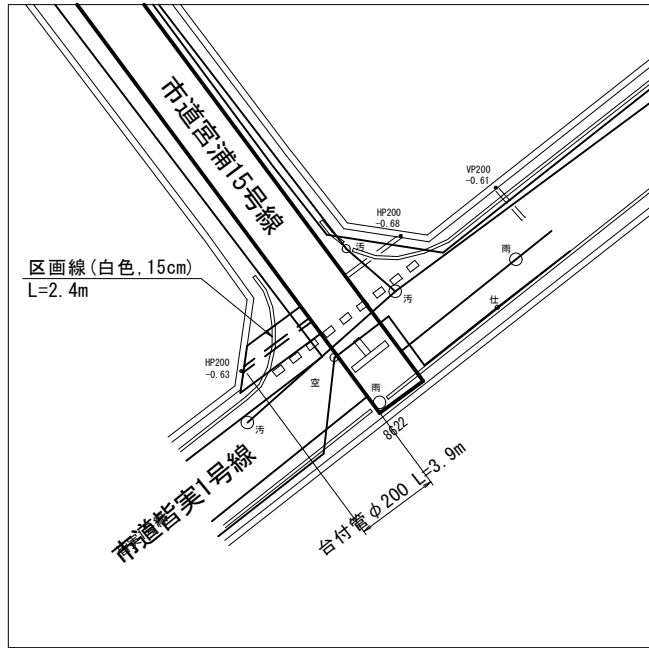
※( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 62
路線番号 : 1009275
~ 1009282
左取付管5



平面図

S=1:250

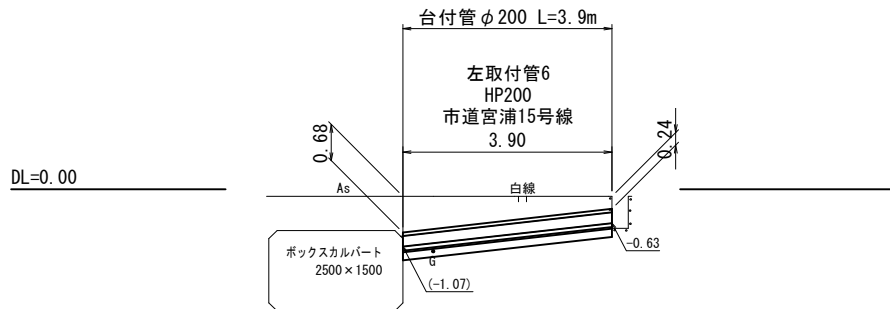


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

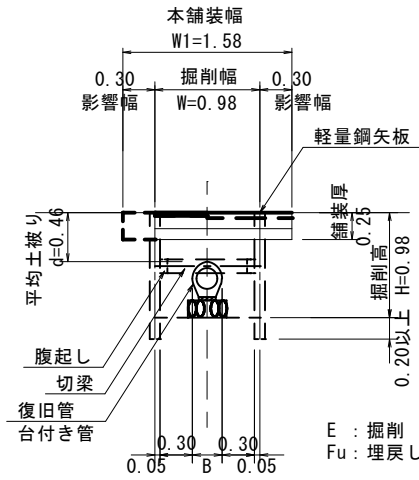
断面図

(A-A) S=1:100



標準断面図

S=1:50



位置図

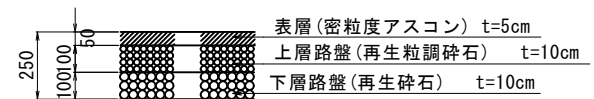
S=1:2500



舗装断面図

S=1:20

車道舗装



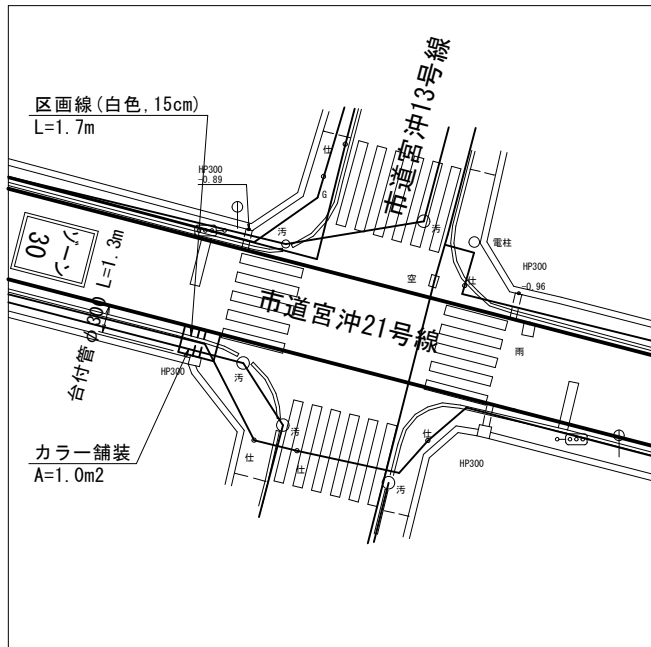
※( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 62
路線番号 : 1009275
~ 1009282
右取付管6



平面図

S=1:250

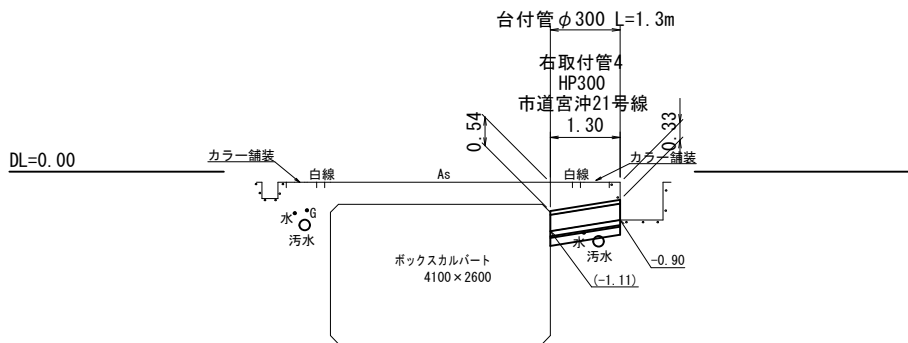


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

断面図

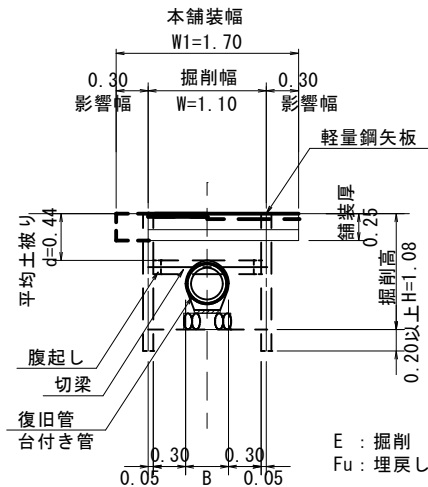
(A-A) S=1:100



※( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

標準断面図

S=1:50



位置図

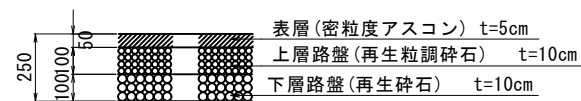
S=1:4000



舗装断面図

S=1:20

車道舗装

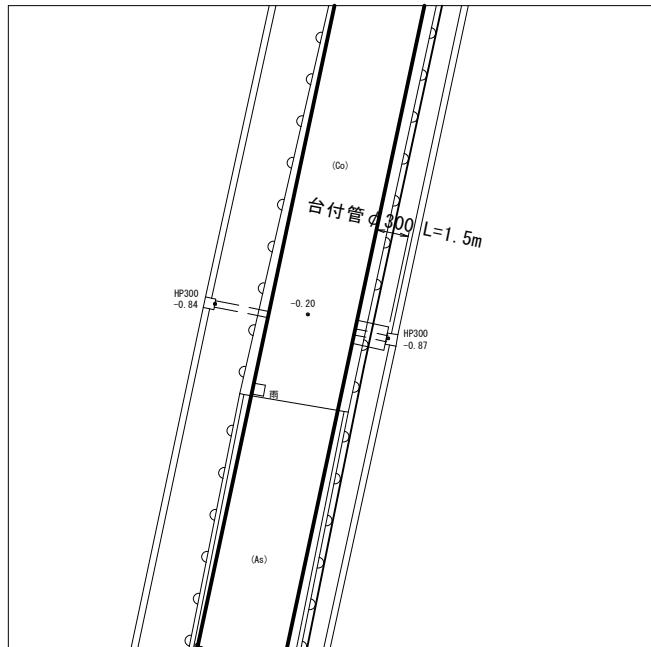


整理番号 : 74
路線番号 : 1010003
~ 1008814
右取付管4



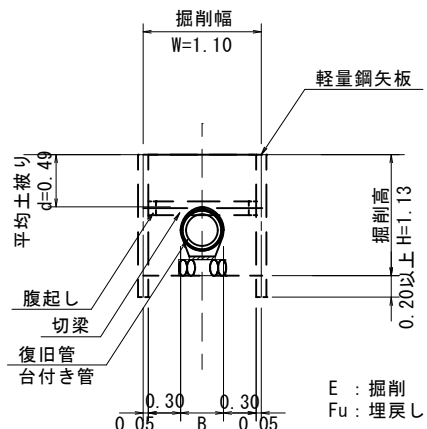
平面図

S=1:250



標準断面図

S=1:50



位置図

S=1:4000

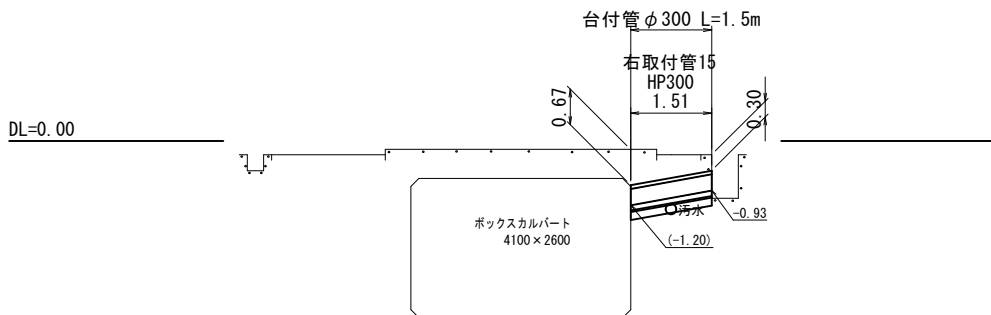


(地下埋設物 凡例)

—	水道	—	NTT
—	汚水	—	ガス
—	雨水	—	MCAT

断面図

(A-A) S=1:100



※( ) 標高は施設台帳を基に参考値として計画している。  
 施工(掘削)時には、他の施設埋設管も含めて、  
 施設管理者と確認のうえ、十分注意して対応すること。

整理番号 : 74
路線番号 : 1010003 ~1008814
右取付管 15

